福岡大学
入試ガイド
2026

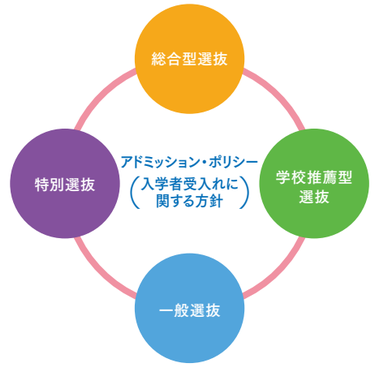
2025年9月発行

Fukuoka University Entrance Examination Guide

CONTENTS

募集人員表 …… 4
スケジュール …… 5
学部・学科から見る入試制度 …… 6
アドミッション・ポリシー …… 7
総合型選抜 …… 72
学校推薦型選抜 …… 83
一般選抜 …… 87
入試成績優秀者奨学金「FUスカラシップ」 …… 88
入学検定料割引「応援割」 …… 89
共通テストにおける英語の配点比率について …… 89
英語の資格・検定試験活用制度 …… 89
系統別日程 …… 90
前期日程 …… 96
前期日程・共通テスト併用型 …… 100
共通テスト利用型（Ⅰ期） …… 108
共通テスト利用型（Ⅱ期） …… 114
共通テスト利用型（Ⅲ期） …… 116
後期日程 …… 118
共通事項 …… 120
特別選抜 …… 121
共通事項 …… 128
出願の流れ …… 129
試験地と試験場 …… 130
受験上・修学上の配慮について …… 131
学費等納入金 …… 132
Q&A …… 133
入試カレンダー …… 134
データ …… 135
一般選抜「受験プラン」ワークシート …… 148
資料請求・入試要項 …… 150

入試ガイドのミカタ



1 まずは入試の全体像を知ろう！

福岡大学の入試制度 P4～6 参照
アドミッション・ポリシー P7～71 参照

2 入試制度の特徴を理解し、自分に合った入試制度を見つけよう！

チェックポイント

- 募集人員
- 出願資格
- スケジュール
- 試験地と試験場
- 選考方法
- 併願について
- 試験科目
- 受験例と解説
- 変更点

一般選抜　関連CONTENTS

①成績優秀者に向けた奨学金制度とは…
▸入試成績優秀者奨学金「FUスカラシップ」 P88 参照

②英検やGTECなど英語の資格を活かしたい人に…
▸英語の資格・検定試験活用制度 P89 参照

③受験プランを検討している人に…
▸一般選抜「受験プラン」ワークシート P148～149 参照

3 出願前に要チェック！

出願の流れ P129 参照
試験地と試験場 P130 参照
Q&A P133 参照

4 過去のデータも参考にしよう！ P135～147 参照

このパンフレットの記載事項は変更される可能性があります。詳しくは入試要項にて必ずご確認ください。

募集人員表

学部・学科		入学定員	総合型選抜		学校推薦型選抜	一般選抜						
			総合型選抜	アスリート特別選抜	A方式	系統別日程	前期日程	後期日程	前期日程・共通テスト併用型	共通テスト利用型（Ⅰ期）	共通テスト利用型（Ⅱ期）	共通テスト利用型（Ⅲ期）
人文学部	文化学科	100		4程度	14	5	40	5	10	5	3	
	歴史学科	70			7	5	30	2	8	4	3	
	日本語日本文学科	70			8	4	30	2	8	4	3	
	教育・臨床心理学科	110			16	5	45	3	10	3	3	
	英語学科	90			14	7	42	3	7	4	3	
	ドイツ語学科	50			3	3	20	2	4	3	2	
	フランス語学科	50			3	3	20	2	4	3	2	
	東アジア地域言語学科	65			8	3	29	3	3	3	2	
法学部	法律学科	430	15	7程度	40	30	185	15	37	18	15	
	経営法学科	200	7		10	17	85	7	13	8	5	
経済学部	経済学科	460	10	7程度	22	25	225	12	25	17	10	3
	産業経済学科	200	5		8	10	90	6	10	8	5	2
商学部	商学科	245	5	7程度	14	23	110	7	20	4	5	
	経営学科※	240	8		14	16	110	7	20	6	5	
	貿易学科	180	3		11	14	83	7	15	4	5	
商学部第二部	商学科※	165	7		12	15	85	15		5	5	
理学部	応用数学科※	65	2	2程度	8	3	36	2	2	2	2	
	物理科学科※	60	2		9	3	32	2	2	2	2	
	化学科※	65	2		9	5	35	2	2	2	2	
	地球圏科学科	60	2		8	4	34	2	2	2	2	
工学部	機械工学科	110	2	3程度	14	10	55	3	8	4	3	
	電気工学科	110	3		14	10	55	3	8	4	3	
	電子情報工学科	150	2		19	14	75	4	13	5	4	
	化学システム工学科	110	3		12	10	55	3	8	4	3	
	社会デザイン工学科	110	2		14	10	50	3	13	4	3	
	建築学科	110	2		14	10	50	3	13	4	3	
医学部	医学科※	110			40	60				10		
	看護学科	110			13	8	70	3	4	3	3	
薬学部	薬学科	230			25	15	105	7	7	7	7	3
スポーツ科学部※	スポーツ科学科	225	35	48	77	5	31	3	4	5	3	
	健康運動科学科	70	5	2	14	4	25	3	4	4	3	

募集人員について

1. 一般選抜（前期日程）には帰国生徒選抜、社会人選抜、スポーツ科学部特別募集、学部留学生選抜の募集人員を含みます。
   ただし、医学部医学科は一般選抜（系統別日程）に学部留学生選抜の募集人員を含みます。
2. 募集人員は志願状況等により多少変動することがあります。

※商学部・商学部第二部

経営学科の募集人員のうち、会計専門職プログラム（経営学科）として一般選抜（系統別日程）で2人、一般選抜（前期日程）で5人、一般選抜（後期日程）で若干人、共通テスト利用型（Ⅰ期）で2人、総合型選抜で3人を募集します。
商学部第二部の募集人員のうち、会計専門職プログラム（商二部）として一般選抜（系統別日程）で若干人、一般選抜（後期日程）で若干人、共通テスト利用型（Ⅰ期）で若干人、総合型選抜で2人を募集します。

※理学部

・インスティテュート
応用数学科の募集人員のうち、社会数理・情報インスティテュートとして、A方式推薦で2人、一般選抜（系統別日程）で若干人、一般選抜（前期日程）で11人、一般選抜（後期日程）で若干人、前期日程・共通テスト併用型で若干人、共通テスト利用型（Ⅰ期）で若干人、共通テスト利用型（Ⅱ期）で若干人、総合型選抜で若干人を募集します。
・物理科学科
物理科学科の一般選抜（前期日程）は、募集人員のうち10人を【物理重視型】で募集します。
・化学科
化学科の一般選抜（前期日程）は、募集人員のうち10人を【化学重視型】で募集します。

※医学部

医学部医学科のA方式推薦の募集人員（40人）は、地域枠推薦（10人）と附属校推薦（最大8人）の募集人員を含みます。

※薬学部

一般選抜（前期日程）は、募集人員のうち15人を【理科重視型】で募集します。

※スポーツ科学部

スポーツ科学科のA方式推薦の募集人員（77人）は、実技型（73人）の募集人員を含みます。
健康運動科学科のA方式推薦の募集人員（14人）は、実技型（4人）の募集人員を含みます。
スポーツ科学科の一般選抜（前期日程）は、【実技型】25人と【小論文型】6人で計31人を募集します。

スケジュール

各入試制度の出願から入学手続まで詳細な日程をまとめています。

入試制度		実施学部（学科等）	出願期間	試験日等	試験地	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜	総合型選抜	法、経済、工	9月1日(月)～9月8日(月)	一次選考　9月20日(土) 二次選考　10月11日(土)	本学(福岡)	一次合格　10月3日(金) 二次合格　11月1日(土)	入学申込金締切 12月19日(金) 入学手続締切 3月6日(金)
		商（会計専門職プログラム含む） 商二（会計専門職プログラム含む）		一次選考　10月1日(水) 二次選考　10月11日(土)	— 本学(福岡)		
		理		一次選考　9月30日(火) 二次選考　10月11日(土)	— 本学(福岡)		
		スポーツ科		一次選考　9月24日(水) 二次選考　10月10日(金)	— 本学(福岡)	一次合格　10月1日(水) 二次合格　11月1日(土)	
	アスリート特別選抜	人文、法、経済、商、商二、理、工、スポーツ科	9月22日(月)～10月2日(木)	一次選考　10月21日(火) 二次選考　11月4日(火)	— 本学(福岡)	一次合格 10月24日(金) 二次合格　11月7日(金)	入学申込金締切　1月5日(月) 入学手続締切　3月6日(金)
学校推薦型選抜	A方式	人文、法、経済、商、商二、理、工、医、薬、スポーツ科［科目型］	11月1日(土)～11月10日(月)	11月23日(日)	本学(福岡)	12月5日(金)	入学申込金締切 12月19日(金) 入学手続締切　3月6日(金)
		スポーツ科［実技型］		11月19日(水)			
	地域枠	医（医）		11月23日(日)			
一般選抜	系統別日程	人文、法、経済、商（会計専門職プログラム含む）、商二（会計専門職プログラム含む）、理、工、医（看護）、薬、スポーツ科	12月20日(土)～1月13日(火)	2月2日(月)	本学(福岡) 東京　広島　大分 名古屋 山口　宮崎 大阪　北九州 鹿児島 高松　長崎　那覇 松山　熊本	2月21日(土)	入学申込金締切 2月27日(金) 入学手続締切(※1) 3月6日(金)
		医（医）		一次選考　2月2日(月)	本学(福岡)・東京・名古屋・大阪	一次合格　2月9日(月)	
				二次選考　2月14日(土)	本学(福岡)	二次合格 2月21日(土)	
	前期日程	人文（教育・臨床心理、ドイツ語）、法（経営法）、商（商）、理（応用数、物理科［物理重視型］、化［化学重視型］、地球圏科）、薬	12月20日(土)～1月13日(火)	2月3日(火)	本学(福岡) 広　島 山　口 長　崎 熊　本 大　分 宮　崎 鹿児島	2月21日(土)	
		人文（歴史、フランス語）、法（法律）、商（貿易、会計専門職プログラム）、理（物理科、化、社会数理・情報インスティテュート）		2月4日(水)			
		人文（日本語日本文、英語）、経済（産業経済）、商（経営）、工（機械工、電子情報工、社会デザイン工）、薬［理科重視型］、スポーツ科（健康運動科）		2月5日(木)			
		人文（文化、東アジア地域言語）、経済（経済）、商二、工（電気工、化学システム工、建築）、医（看護）、スポーツ科（スポーツ科［小論文型］）		2月6日(金)			
		スポーツ科（スポーツ科［実技型］）		2月6日(金)・7日(土) 2月11日(水)・12日(木)	本学(福岡)		
		人文、法、経済、商（会計専門職プログラム含む）、商二、理、工、医（看護）、薬、スポーツ科（スポーツ科［小論文型］、健康運動科）		2月11日(水)	本学(福岡) 東京　山口　宮崎 大阪　北九州 鹿児島 高松　長崎　那覇 松山　熊本 広島　大分		
	前期日程・共通テスト併用型	人文、法、経済、商、理、工、医（看護）、薬、スポーツ科	12月20日(土)～1月13日(火)	前期日程 2月3日(火)～6日(金)・7日(土)、11日(水)・12日(木) 大学入学共通テスト 1月17日(土)・18日(日)	—	2月21日(土)	入学申込金締切　2月27日(金) 入学手続締切(※1)　3月6日(金)
	共通テスト利用型（Ⅰ期）	人文、法、経済、商（会計専門職プログラム含む）、商二（会計専門職プログラム含む）、理、工、医（看護）、薬、スポーツ科	12月20日(土)～1月13日(火)	大学入学共通テスト 1月17日(土)・18日(日)	—	2月21日(土)	入学申込金締切　2月27日(金) 入学手続締切(※1)　3月6日(金)
		医（医）		大学入学共通テスト 1月17日(土)・18日(日)	—	一次合格　2月9日(月)	
				二次選考　2月14日(土)	本学(福岡)	二次合格 2月21日(土)	
	共通テスト利用型（Ⅱ期）	人文、法、経済、商、商二、理、工、医（看護）、薬、スポーツ科	12月20日(土)～1月20日(火)	大学入学共通テスト 1月17日(土)・18日(日)	—	2月21日(土)	入学申込金締切　3月6日(金) 入学手続締切(※1)　3月6日(金)
	共通テスト利用型（Ⅲ期）	経済	2月15日(日)～2月25日(水)	大学入学共通テスト 1月17日(土)・18日(日)	—	3月14日(土)	3月23日(月)
		薬		大学入学共通テスト 1月17日(土)・18日(日)	—	一次合格　3月5日(木)	
				二次選考　3月9日(月)	本学(福岡)	二次合格 3月14日(土)	
	後期日程	人文、法、経済、商（会計専門職プログラム含む）、商二（会計専門職プログラム含む）、理、工、医（看護）、薬、スポーツ科	2月15日(日)～2月25日(水)	3月5日(木)	本学(福岡) 広　島 鹿児島	3月14日(土)	3月23日(月)
特別選抜	帰国生徒	人文(※2)、法、経済、商、商二、理、工、医（看護）、薬	11月1日(土)～11月7日(金)	11月16日(日)	本学(福岡)	12月5日(金)	入学申込金締切 12月19日(金) 入学手続締切　3月6日(金)
		スポーツ科		11月19日(水)			
	社会人 前期日程	人文(※2)、経済、商、商二、工（機械工、社会デザイン工）	11月1日(土)～11月7日(金)	11月16日(日)	本学(福岡)	12月5日(金)	入学申込金締切 12月19日(金) 入学手続締切　3月6日(金)
	社会人 後期日程	法、商、商二、薬、スポーツ科	2月2日(月)～2月10日(火)	3月2日(月)		3月14日(土)	3月23日(月)
	スポーツ科学部特別募集	スポーツ科（スポーツ科）	2月15日(日)～2月25日(水)	3月2日(月)	本学(福岡)	3月14日(土)	3月23日(月)
	編・転・学士	人文、法、経済、商、商二、理、工、スポーツ科	2月2日(月)～2月10日(火)	3月2日(月)	本学(福岡)	3月14日(土)	3月23日(月)
	学部留学生 前期日程	人文（日本語日本文、ドイツ語、フランス語）、経済、理、工	9月1日(月)～9月16日(火)	書類選考	—	11月1日(土)	入学申込金締切 12月19日(金) 入学手続締切　3月6日(金)
	学部留学生 後期日程	人文、法、経済、商、理、工、医、薬、スポーツ科	12月1日(月)～12月5日(金)	2月9日(月)	本学(福岡)	2月21日(土)	入学申込金締切　2月27日(金) 入学手続締切　3月6日(金)

（※1）「入学手続締切」について、他大学等を併願している方に限り、延納願を提出した場合、入学申込金以外の納入と手続書類の提出を3月23日まで延期することができます。
（※2）帰国生徒選抜、社会人選抜では人文学部教育・臨床心理学科の募集は行いません。

学部・学科から見る入試制度

学部・学科によって実施する入試制度は異なりますので、試験日とあわせて確認してください。

		総合型選抜		学校推薦型選抜		一般選抜										
		9月～		11月		1月			2月							3月
				23日		17・18日			2日	3日	4日	5日	6日	11日		5日
学部	学科等	総合型選抜	アスリート特別選抜	A方式推薦	地域枠推薦	共通テスト利用型（I期）	共通テスト利用型（II期）	共通テスト利用型（III期）	一般選抜 系統別日程			一般選抜 前期日程			前期日程・共通テスト併用型	一般選抜 後期日程
人文学部	文化学科		●	●		●	●		●				●	●	●	●
	歴史学科		●	●		●	●		●		●			●	●	●
	日本語日本文学科		●	●		●	●		●			●		●	●	●
	教育・臨床心理学科		●	●		●	●		●	●				●	●	●
	英語学科		●	●		●	●		●			●		●	●	●
	ドイツ語学科		●	●		●	●		●	●				●	●	●
	フランス語学科		●	●		●	●		●		●			●	●	●
	東アジア地域言語学科		●	●		●	●		●				●	●	●	●
法学部	法律学科	●	●	●		●	●		●		●			●	●	●
	経営法学科	●	●	●		●	●		●	●				●	●	●
経済学部	経済学科	●	●	●		●	●	●	●				●	●	●	●
	産業経済学科	●	●	●		●	●	●	●			●		●	●	●
商学部	商学科	●	●	●		●	●		●	●				●	●	●
	経営学科	●	●	●		●	●		●			●		●	●	●
	貿易学科	●	●	●		●	●		●		●			●	●	●
	会計専門職プログラム（経営）	●				●			●		●			●		●
商学部第二部	商学科	●	●	●		●	●		●				●	●		●
	会計専門職プログラム（商二）	●				●			●							●
理学部	応用数学科	●	●	●		●	●		●	●				●	●	●
	物理科学科	●	●	●		●	●		●	●	●			●	●	●
	化学科	●	●	●		●	●		●	●	●			●	●	●
	地球圏科学科	●	●	●		●	●		●	●				●	●	●
	社会数理・情報インスティテュート	●		●		●	●		●		●			●	●	●
工学部	機械工学科	●	●	●		●	●		●			●		●	●	●
	電気工学科	●	●	●		●	●		●				●	●	●	●
	電子情報工学科	●	●	●		●	●		●			●		●	●	●
	化学システム工学科	●	●	●		●	●		●				●	●	●	●
	社会デザイン工学科	●	●	●		●	●		●			●		●	●	●
	建築学科	●	●	●		●	●		●				●	●	●	●
医学部	医学科			●	●	●			●							
	看護学科			●		●	●		●				●	●	●	●
薬学部	薬学科			●		●	●	●	●	●		●		●	●	●
スポーツ※科学部	スポーツ科学科	●	●	●		●	●		●				●	●	●	●
	健康運動科学科	●	●	●		●	●		●			●		●	●	●

※ スポーツ科学部のA方式推薦［実技型］は11月19日に実施します。前期日程［実技型］は2月6・7日および2月11・12日に実施します。
＊ 帰国生徒選抜、社会人選抜、スポーツ科学部特別募集、学部留学生選抜、編・転・学士選抜については、121ページを参照してください。

アドミッション・ポリシー

アドミッション・ポリシーとは
入学者を受け入れるための
大学の考え方や方針をまとめたものです。
求める人材像（能力）や入学試験における
評価を確認してください。

人文学部 …… 8
法学部 …… 24
経済学部 …… 28
商学部 …… 32
商学部第二部 …… 38
理学部 …… 40
工学部 …… 50
医学部 …… 62
薬学部 …… 66
スポーツ科学部 …… 68

人文学部 文化学科

【学位（教育）プログラム名：文化学】

養成する人材像・教育課程の特色

多様な価値観が共存し、社会の複雑化が進む現代にあって、文化の多様性を良く理解し、広い視野と柔軟な発想力を身につけ活用する能力をもつ人を育てることがわれわれの目標です。そのため、基本的な学習態度を習得し、実り豊かな対話を行う力が身につくよう、1年次に基礎演習、2年次以後は文化学演習という少人数ゼミがおかれています。同時に、学生が、自分の志向に合わせて、多様な文化に関心を持ち、多角的・総合的に理解できるよう、哲学・宗教学・芸術学・社会学・心理学・地理学・文化人類学の各専門科目が置かれています。文化学科は、卒業生が文化の多様性を理解し固定観念にとらわれずに社会で活躍できるような教育を目指しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、文化の多様性を学ぶに十分な基礎学力を有している人

文化学科で学ぶ際に必要な前提の知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識があげられます。特に、多様な文化の現れを理解し、自分の言葉で表現する能力の基礎となる作文力や自分の意見をはっきり伝える力は入学するまでよく鍛えておいてください。また多様な文化の現れを正しく認識するためには、「観察力・洞察力」も必要です。その基礎を高校時代に育てておくためには、高校での学習に留まらず、日常生活で興味を持った事象についても積極的に調べて考えてみる習慣をつけておいてください。入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明できる人

文化というものは、人と人との交流から生まれ、人間の社会で育っていくものです。それを学び理解するには、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を取りまとめる力が求められます。それゆえ、母語としての日本語の読解力と表現力を高め、言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう、心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

本学科で学べる多様な文化の興味深さと有用性を理解し、その過程で得る知識や技能を社会のために積極的に活用したいと考えている人

テレビやラジオだけでなく、インターネットやSNSなど、現在、わたしたちの身の回りにはさまざまな情報があふれていますが、そうした大量の情報を良く吟味し正しく理解しなくては、他の人びとの生活や社会にさまざまな害を与えかねない時代となっています。文化学科では、社会に対する責任を自覚し、倫理観をもって、文化の多様さを理解した上で、社会に貢献しようとする強い意志をもった人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、社会に出てから働いていくうえで欠かせない自己研鑽をつむ基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽によって英語の資格を取得した人やスポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

現在の日本はグローバル化が進展しており、福岡でもさまざまな国からの訪問者を見かけることが珍しくなくなりました。そんな時代にあって、英語で他者とコミュニケーションをとることも日常的なものとなっています。さらに、入学後は英語で文献を読解することなども要求されます。それゆえ、話す・聞く・書く・読むといった英語の４技能を総合的に活用できることを高く評価しています。他方で、文化活動はわれわれの生活や日常に根付いた存在でもあります。それゆえ、学級や学年を離れてさまざまな人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、評価しています。

入学者選抜のねらい

文化学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、文化の多様性に興味を持ち、文化のさまざまな現れを深く学びたいという人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語の評定の平均または国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・国語の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部 歴史学科

【学位（教育）プログラム名：歴史学】

養成する人材像・教育課程の特色

古代以来、文明のクロスロードとして豊かな歴史をはぐくんできた九州の地域性に根ざしつつ、九州から日本史・世界史を見直す地域的な視点と、アジア、ヨーロッパ、アメリカなど世界を見据える国際的な視点とを併せ持つ教育と研究の推進を理念とします。歴史学科では、少人数教育を徹底しておこない、導入教育において大学生としての基本的能力を養い、さらに専門教育では、日本史、東洋史、西洋史、考古学の各分野において高い専門性と複眼的な幅広い視野をもつ人材の養成を目指します。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、歴史学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

歴史学科で歴史を学んでいく際に必要となるのは、歴史に関する知識ばかりではありません。高等学校における日本史や世界史の基礎知識は前提となりますが、本学科の授業には、英語などの外国語で書かれた史料や文献の講読があるため、英語や国語の基礎知識が不可欠です。また、歴史学や考古学の史・資料を分析の対象とする際には、歴史の知識や語学力に加え、その他の様々な知識も必要となりますので、入学試験に課されない科目をも含めた幅広い学びと深い理解を望んでいます。

B 技能

問題点を発見し、それを他者に分かりやすく説明することが出来る人

歴史学科では、少人数のゼミナール形式による授業が学びの中心となります。ここでは、参加する学生が自ら調査・研究した事柄を発表し、それを参加者全員で検討・議論して考察を深めていきます。その際には、調べた内容について簡潔に要点をまとめる能力、他者に分かりやすく説明する能力、さらに問題点を発見・発掘して提起する能力などが必要となります。これらの技能は、一朝一夕には身につかないため、日頃から読書やクラブ活動、ボランティア活動などを通して視野を広げ、他者との直接的対話によってコミュニケーションをとることが大切です。

C 態度・志向性

歴史学の高度な専門知識や幅広い教養を生かして社会で活躍したいと考える人

歴史学科では、日本史、東洋史、西洋史、考古学の各分野において高い専門性を身に付け、教員や博物館学芸員・文化財保護調査員など、学んだことを生かした職業で活躍したいと希望する人材を求めます。あわせて、専門分野の枠を超えて、幅広い知識と教養、広い視野を兼ね備えた、国際社会で活躍したいと希望する人材を求めます。

D その他の能力・資質

スポーツなどの課外活動で優秀な成績をおさめた人や英語の資格を取得した人

歴史学科では、少人数のゼミナール形式による授業において各人の能動的・積極的な取り組みが必須となります。問題点の発掘、調査・研究、発表、議論などで発揮されるであろう、スポーツその他の課外活動を通じて培った積極性やたゆまぬ努力を歴史学科では高く評価します。また、英語などの外国語で書かれた史料や文献の講読は、歴史学研究の大前提となりますので、英語の４技能（話す・聞く・書く・読む）を活用できる人を大いに歓迎します。

入学者選抜のねらい

歴史学科は、大学で学んだことを生かした職業で活躍したいと希望する意欲あふれる人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、これまでに習得した基礎学力、諸活動や経験を通じて培った能力などを多面的かつ総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・日本史探究、世界史探究のいずれかの評定の平均4.0以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 選択科目の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、歴史に関する基礎知識とともに総合的学力を評価する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100	●	●			
		面　接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、歴史に関する基礎知識とともに総合的学力を評価する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100	●	●			
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部
日本語日本文学科

【学位（教育）プログラム名：日本語日本文学】

養成する人材像・教育課程の特色

日本語日本文学科は、日本の文化や社会の根幹である日本語と、その結実としての日本文学を広く深く学びます。「日本語」「日本文学」という学科名称は、高校まで学んだ「国語」の内容を客観的に見つめなおし、学問を国際的な視点から捉えようとするものです。本学科では古典文学の素養を高める基礎教育に力を入れつつ、古代語から現代語までの日本語学、古典文学から現代文学までの日本文学、および外国文学と日本文学の比較文学を総合的に学ぶことで豊かな教養と深い洞察力を備えた人材を養成します。それによって日本語の高度なコミュニケーション能力を身に付けた広い視野を持つ人間を育み、国際化社会で活躍し得る人材、専門的知識によって地域社会に貢献し得る人材を養成することを目的としています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、日本語学・日本文学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

本学科で学ぶ際に必要となる前提的な知識は、高等学校までに学習する各教科・科目に関する基本的な知識です。特に日本語学や日本文学を学ぶ上で、国語力は重要な基礎となります。古典・現代文を問わず幅広く読書しておくことが国語力の支えになります。また「世界の中の日本」を意識して学ぶためには英語能力も欠かせません。文学を学ぶには地理や歴史・政治・経済等の社会科目の知識はもちろん、芸術や理科の知識も様々なジャンルの文章理解のための基礎となります。日本語を客観的に分析するには数学で身につける論理的思考能力も必要です。バランスの取れた人材になるために、入学試験に課されない科目も幅広く学んでいることが望まれます。

B 技能

学習や課外活動、幅広い読書経験をもとに、正確に物事を考え自らの言葉で表現できる人

日本語学・日本文学の研究は、まずは自分たちが日々使っている「言葉」と正面から向き合うことから始まります。日本語を客観的に分析することにしても、文学作品を深く理解することにしても、そのベースは自らの日本語力です。日本語力は読解力にしても表現力にしても、現実の生活経験や幅広い読書体験をもとに「自らの言葉」として身につけていくものです。読解力が身につけば的確に物事を考えられるようになりますし、自らの言葉を身につければ自分の伝えたいことを的確に言葉にすることができるようになります。特に表現力を身につけるには、机上の学習だけでなく人前で発言したり議論したりする練習も必要になります。

C 態度・志向性

自らの日本語能力と日本文学の素養をさらに向上させ、積極的に生かしていこうとする人

日本人であれば日本語を使えるのは当然のように思われますが、日本語を「使いこなす」レベルになるのは簡単なことではありません。また言葉は場面により、相手により、文章のタイプにより、様々な使い分けや配慮も必要です。そういう難しいことに尻込みせず、興味を持って自らの日本語力を日々向上させていこうとする人こそ本学科で求める人材です。さらに様々な形の読書体験を積んで日本文学の素養を向上させ、その能力を生活や人間関係、さらには仕事に何らかの形で積極的に生かしていこうとする人を歓迎します。日本語・日本文学は、教育などの専門的な仕事のほかにも様々な形で現実社会と関係があるのです。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

本学科が「日本語日本文学」という学科名になっているのは、外国語と対比させて日本語について客観的に考え、日本文学を外国文学との関係の中で学ぶという意味があります。そのため、英語について話す・聞く・書く・読むという４技能を身につけ、活用できることを高く評価します。
他方で、日本語・日本文学を学ぶには柔軟で細やかなコミュニケーション能力がその基礎となります。様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、コミュニケーション能力の点から評価しています。

入学者選抜のねらい

日本語日本文学科は、様々な時代の文学作品や日本語の多様な姿に関心を持って広く深く学ぼうとする意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況4.0以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 国語の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。 • 国語の得点を1.2倍、英語または数学の得点を0.8倍する。［傾斜配点］
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、日本語・日本文学の素養と興味のありかたを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、日本語・日本文学の素養と興味のありかたを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	650	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（2科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、日本語学・日本文学を学ぶうえで必要な基礎的知識や国語力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部
教育・臨床心理学科

【学位（教育）プログラム名：教育・臨床心理学】

養成する人材像・教育課程の特色

教育と臨床心理の２つの分野を統合的に学ぶことで、人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献することができる人間を育むことが目標です。そのために、メンタルヘルスやストレスマネジメント、自己理解や生涯学習、キャリア発達などについて、教育学と臨床心理学の両方の知識や技法を学んでいきます。２年次からは、「学校教員」、「公認心理師」、「キャリアデザイン」の３つの履修モデルにわかれて、将来の進路をみすえて、より専門的かつ実践的な理論と技能を重点的に学んでいきます。それぞれのモデルに応じて、学校現場、病院や福祉施設等の臨床心理の現場、一般企業やNPO等でのインターンシップ実習が用意されています。教育学と臨床心理学の知識や技法を用いて、総合的、実践的な力量を発揮しつつ、実社会の多様な場面で活躍できる人材の養成をめざします。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

教育学と臨床心理学の２つの分野を学ぶのに十分な基礎学力を有している人

教育学と臨床心理学の２つの分野を学ぶ際に前提となる知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識に加えて、私たちが暮らす社会全般に関する基礎的な知識があげられます。人間の心や行動、社会的事象を分析・説明するためには、多角的に物事を見て、考え、それを言語化できる力が不可欠です。その基礎として、国語や地理・歴史・公民等の学習に取り組み、言葉や社会に対する理解を深めてください。また、入試に課されない科目であっても、幅広く学んでいることを望みます。

B 技能

人と社会に向きあい、課題を発見し、解決にむけて他者と協力できる人

教育や臨床心理の知識を生かす現場では、チームとして仕事をすることが求められます。そこでは、自己研鑽を積んだ専門家同士が、相手の意見に耳を傾け、自分の考えを明確に表現しつつ、協力して最善の解決策を見出します。その基礎となるのが、多角的に物事や状況を読み解く力、他者の意見を聞く力、自分の意見を表現する力です。そのためには、人や社会の問題に関心を持ち、日頃から新聞やニュースに接し、友人や先生や家族との意見交換の機会を大切にし、学校の委員会活動や部活動などに積極的に取り組むよう心がけてください。

C 態度・志向性

人と社会に興味をもち、新しい学びや出会いに積極的な人

これからの社会を生きる私たちは、多様な人びとの考えを柔軟に受け入れられるかが問われます。教育と臨床心理の知識を生かす現場では、「その人らしさ」を尊重し、どうすれば、「その人らしさ」を生かすことができるのかを考えることが求められます。こうした態度を身に付けるためには、自分の考え方の偏りや特徴を客観的に把握することが大切です。高校時代から人と社会に興味を持ち、いろいろな人の意見や考えに触れてください。

D その他の能力・資質

自ら目標を立てて、英語の資格を習得した人や課外活動などで顕著な成果を挙げた人

教育や臨床心理の知識を生かす現場では、グローバル化が進展しており、他者と外国語によるコミュニケーションが求められる時代が到来します。それゆえ、たとえば、話す・聞く・書く・読むといった英語の４技能を総合的に活用できることを高く評価します。また、仕事をしていく中では、生涯にわたる自己研鑽が求められますので、自分で目標を立て、スポーツ活動や課外活動等で顕著な成果を挙げた受験生を高く評価します。

入学者選抜のねらい

本学科の目標は、教育と臨床心理の２つの分野を統合的に学ぶことで、人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献することができる人間を育むことにあります。そのためには、常に人と社会に興味をもち、多角的に物事を見て、考え、それを言語化できることが求められます。入学試験では、基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語または数学の学習成績の状況4.0以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・国語の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・科目	100	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 小論文は、自らの考えを適切な文章表現で論理的に展開できるかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。なお、面接内容には、将来のキャリアについての展望を含む。
		共通教育科目（小論文）	100		●			
		面　　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部 英語学科

【学位（教育）プログラム名：英語英米文学】

養成する人材像・教育課程の特色

広い教養と深い専門知識を身に付けグローバル社会に貢献できる国際人を育てることが我々の目標です。そのため国際社会に積極的に参加することができる英語運用能力を身につけ、高度なコミュニケーション能力が得られるようにカリキュラムを組んでいます。具体的な専門分野としては英語圏の文化・文学、英語・英語教育、グローバル・コミュニケーションが挙げられます。各専門分野での学びを通して異文化を理解し、情報を収集・分析・考察し、その結果を発信する力をつけることができます。また、学生のキャリア形成に役立つ授業も提供しています（グローバル・キャリア科目群）。このようなカリキュラムにより国際社会、地域社会における諸問題の解決に向けて他者と協力しながら貢献できる人材の養成を目指します。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を身につけており、さらに英語や関連分野の学習を深めてゆくのに十分な基礎学力を有している人

英語学科では、高度な英語運用能力を身につけるとともに、英語と関連分野の学術的専門知識を学びます。高等学校までに学ぶ日本語や英語の知識、そして授業や課外活動で身につけるコミュニケーション能力は、大学での学びの大切な基盤となります。国語や英語以外の授業での学びも、社会についての基礎知識を形成するために重要です。これらの基礎がしっかり身についている人ほどスムーズに、実践的な英語力、そしてグローバル社会の一員として活躍するために不可欠な知識やマインドセットを身につけることができます。大学入学前の日々の学びを大切にしてください。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

学びには情報を受け入れるだけでなく、それを分析・考察し、他者に伝えることも必要です。情報の信頼性を吟味し、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明するためには、まず母語の読解力と表現力を高めることや言葉に対する感覚を磨くことが大切です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読みましょう。そして社会の様々な事柄について、自身の意見を整理し、論理的に発信できるよう、心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

広い教養と深い専門知識を身に付けるための学びに主体的に取り組み、将来国際社会、地域社会に貢献したいと考えている人

グローバル化された現代社会において、我々は国内のことだけを考えて暮らしていくことはできません。我々の生活は密接に他国と結びついています。国内外に存在する様々な問題に関心を持ちましょう。そのような問題の解決に貢献できる人材になるには、自国と他国の文化に関心を持ち、他者を尊重する姿勢を持つことが大事です。異文化を学んで視野を広げ、教養と専門知識を用いて問題の解決方法を模索し、他者と協力して国際社会・地域社会に貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツをはじめとする課外活動などで顕著な成績をおさめた人

グローバル化の時代にあっても、コミュニケーションの手段として英語の優位性は揺らいでいません。国際社会の一員にふさわしい英語運用能力を身につけるための努力とその成果を高く評価します。また、スポーツなどの活動で培った積極性、協調性やたゆまず努力する姿勢も、コミュニケーションをとる上で大事な要素と考え、高く評価します。

入学者選抜のねらい

英語学科は、高等学校でしっかりと学び、さらに英語やその関連分野を広く深く学びたいという強い気持ちを持った人材、英語を使って情報を収集・分析・考察し、それを基に自分の考えを構築して発信できることを目指す人材、そして他者と協力して国際社会・地域社会に貢献しようと志す人材を受け入れます。

そのために、これまで培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語の評定の平均4.0以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。 • 英語の得点を1.2倍、国語または数学の得点を0.8倍する。［傾斜配点］
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部 ドイツ語学科

【学位（教育）プログラム名：ドイツ学】

養成する人材像・教育課程の特色

文化の差異に柔軟に対応し、外国人とも積極的に関わり、グローバル化する社会で活躍する人材を育てることがわれわれの目標です。そのための基礎学力や高度な専門能力が身に付くよう、初年度から学生の個性に合わせた**2つのコース**※を用意しています。①ドイツ語の集中的な学習を通じて、ドイツ文化に対する理解を深め、自分で考える力を養うドイツ語圏コース、②ドイツ語を中心に英語やフランス語を通してヨーロッパの文化を広く学び、総合的な視点から考える力を養うヨーロッパ特別コースです。両コース共に最新の研究成果を取り入れ、IT関連の授業も用意しつつ、社会の変化や情報技術の進化に対応する教育を目指しています。

※カリキュラム改正を検討しており、コース選択時期やコース名称等を変更する可能性があります。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習し、ドイツ語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人

ドイツ語学科で学ぶ際に必要となる前提的な知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に、ドイツ語圏の文化全般を学ぶうえで重要なツールとなる英語や、外国文化を理解するための基盤となる日本語の力を高めて、日本文化に対する理解を深めておいてください。また、ドイツ語圏の文化を深く理解するためには、歴史的な視野を持つことが必要です。そのための土台となる世界史の学習にも積極的に取り組んでください。知識が偏りすぎないようにするためにも、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

ドイツ語によるコミュニケーションでは、ドイツ文化に対する深い理解だけでなく、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を総合する力が求められます。それゆえ、母語としての日本語の読解力と表現力を高めることや言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう、心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

ドイツ文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

通信、移動技術の飛躍的な発展に伴い、私たちの生活は驚くほど便利で豊かなものになり、外国文化に触れる機会もますます多くなっています。その反面、相異なる文化間の摩擦や衝突が世界中で問題となっています。異文化コミュニケーションが失敗すれば、人々の生命や環境さえ破壊してしまう恐れがあります。それゆえ、ドイツ語学科では、専門知識にとどまらず、異文化への柔軟な視点を持ち、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、社会人として働いていくうえで欠かせない自己研鑽を積む上での基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

グローバル化が進展するこの社会にあって、他者と英語によるコミュニケーションをとることも当たり前となっています。さらに、入学後は英語で文献を読解することなども必要となる場合があります。それゆえ、話す・聞く・書く・読むといった英語の４技能を総合的に活用できることを、高く評価しています。他方で、外国の文化を学び異文化交流に貢献するためには、積極性、協調性が重要な資質になります。学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、評価しています。

入学者選抜のねらい

ドイツ語学科は、ドイツ語圏文化に興味を持って学ぼうとする意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・外国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・国語の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、論理的思考力を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、論理的思考力を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	650	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（2科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部 フランス語学科

【学位（教育）プログラム名：フランス語圏言語文化学】

養成する人材像・教育課程の特色

文化の差異に柔軟に対応し、外国人とも積極的に関わり、グローバル化する社会で活躍する人材を育てることがわれわれの目標です。そのための基礎学力や高度な専門能力が身に付くよう、初年度から学生の個性に合わせた**2つのコース**※を用意しています。①フランス語の集中的な学習を通じて、フランス文化に対する理解を深め、自分で考える力を養うフランス語圏コース、②フランス語を中心に英語やドイツ語を通してヨーロッパの文化を広く学び、総合的な視点から考える力を養うヨーロッパ特別コースです。両コース共に最新の研究成果を取り入れ、IT関連の授業も用意しつつ、社会の変化や情報技術の進化に対応する教育を目指しています。

※カリキュラム改正を検討しており、コース選択時期やコース名称等を変更する可能性があります。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習し、フランス語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人

フランス語学科で学ぶ際に必要となる前提的な知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に、フランス語圏の文化全般を学ぶうえで重要なツールとなる英語や、外国文化を理解するための基盤となる日本語の力を高めて、日本文化に対する理解を深めておいてください。また、フランス語圏の文化を深く理解するためには、歴史的な視野を持つことが必要です。そのための土台となる世界史の学習にも積極的に取り組んでください。知識が偏りすぎないようにするためにも、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

フランス語によるコミュニケーションでは、フランス文化に対する深い理解だけでなく、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を総合する力が求められます。それゆえ、母語としての日本語の読解力と表現力を高めることや言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう、心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

フランス文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

通信、移動技術の飛躍的な発展に伴い、私たちの生活は驚くほど便利で豊かなものになり、外国文化に触れる機会もますます多くなっています。その反面、相異なる文化間の摩擦や衝突が世界中で問題となっています。異文化コミュニケーションが失敗すれば、人々の生命や環境さえ破壊してしまう恐れがあります。それゆえ、フランス語学科では、専門知識にとどまらず、異文化への柔軟な視点を持ち、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、社会人として働いていくうえで欠かせない自己研鑽を積む上での基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

グローバル化が進展するこの社会にあって、他者と英語によるコミュニケーションをとることも当たり前となっています。さらに、入学後は英語で文献を読解することなども必要となる場合があります。それゆえ、話す・聞く・書く・読むといった英語の４技能を総合的に活用できることを、高く評価しています。他方で、外国の文化を学び異文化交流に貢献するためには、積極性、協調性が重要な資質になります。学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、評価しています。

入学者選抜のねらい

フランス語学科は、フランス語圏文化に興味を持って学ぼうとする意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・外国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・国語の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、論理的思考力を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、論理的思考力を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	650	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（2科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

人文学部
東アジア地域言語学科

【学位（教育）プログラム名：東アジア地域言語（中国・韓国）学】

養成する人材像・教育課程の特色

本学が位置する地域社会やそこに暮らす人々のニーズにこたえ、東アジア地域で主に活躍できる語学力と地域への洞察力を持った市民を育てることがわれわれの目標です。そのための基礎学力や高度な研究能力が身に付くよう、学生の志向に合わせた二つのコースを用意しています。①中国の言語文化・地域事情を学ぶための中国コース、②韓国の言語文化・地域事情を学ぶ韓国コースです。どちらのコースも当該地域の語学の運用力や地域研究の方法をしっかり学び、地域と連携しながら、地域社会の変化や国際交流を発展させていこうとする人材、および卒業後もその態度を維持し続けられる人材の養成を目指しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、中国や韓国を学ぶに十分な基礎学力を有している人

本学科で学ぶ際に必要となる前提的な知識は、高等学校までに学習する各教科・科目に関する基本的な知識です。特に、語学を学ぶ上で、国語力や英語力は外国語習得の基礎となります。また地域研究では、地理や歴史・政治・経済等の社会科目は地域の事情を知る上で基礎的な知識となります。その地域で起こる様々な文化事象を対象にしますので、芸術や理科といった科目を通して現象を観察する視点も身につけておいてください。なお、バランスの取れた人材になるために、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることが望まれます。

B 技能

自らの視点で物事を考え説明することができる人

外国語は実際の運用経験を経て自信がつきます。また地域研究は、現場に立って考える必要があります。その時、自分の考えをその地域の言葉でわかりやすく論理的に説明できること、また多様な意見を聞きまとめる力が求められます。その基礎は、母語としての日本語の聞き取り能力と読解力そして表現力です。高等学校での国語や英語を中心とする言葉の学習はもちろん、日頃から論理的な文章に親しみ、自身の意見を整理し、それを説得的に語ることができるよう心がけましょう。人前で発言できるトレーニングもしておきましょう。

C 態度・志向性

東アジア地域で活躍する国際市民になることをめざし、その力を地域社会のために積極的に活用したいと考えている人

情報伝達の飛躍的な発展で、私たちの交流は便利で速くなりましたが、その反面、間違った情報により国家や地域間の誤解も生じやすくなりました。これは私たちの暮らす東アジア地域でも言えることです。身近な、それゆえに影響も大きな互いの正確な理解は、現地の人々と実際に言葉を交わし、その様子を知ることから始まります。本学科は、専門知識にとどまらず、異文化が共生できる方法を考えたり地域社会間の交流へ貢献したいという強い使命感を持った人を歓迎します。このような志向は地域社会に生きる市民として社会の発展を目指す上での基盤となります。

D その他の能力・資質

主体的な活動により、英語や中国語・朝鮮語等の検定に合格した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人、または国際交流に積極的に参加した人

英語は国際的に必要とされる言語ですが、各地域ではグローバル化において多言語化、多文化化が進んでいます。それゆえ、英語力（話す・聞く・書く・読むの４技能）だけでなく、他の言語文化への理解も必要なのです。本学科では、中国語や朝鮮語を学びます。英語ばかりでなく中国語や朝鮮語の既習者も歓迎します。また、スポーツや各種競技会での活躍や国際交流事業への参加などは、地域交流に関わる上で有効な経験でもあります。それゆえ、学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し活躍した人についても、評価します。

入学者選抜のねらい

東アジア地域言語学科は、この地域に興味を持って学ぼうとする意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況が3.0以上・外国語の学習成績の状況が3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・国語の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、地域理解への意欲を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、地域貢献への意欲を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。本学科で学ぶ上で必要な基礎知識や国語力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

法学部 法律学科

【学位（教育）プログラム名：法律学及び政治学（法学）】

養成する人材像・教育課程の特色

弁護士などの法律専門家、公務員、企業や地域社会で中心となって活躍する人材を養成することが、われわれの目標です。法律学や政治学を学ぶための基礎を身につけた上で、将来の目標に向けて必要な専門科目を効率的に履修することができるようにするため、三つのコースを用意しています（2年次にコースを選択します）。①法律系資格の取得・法科大学院などの大学院への進学・一般企業への就職などを目指し、基本的な法律科目である憲法・民法・刑法などの六法科目を中心に、法律を総合的に学習する「法律総合コース」、②公務員・公共団体職員・外交官などを目指し、憲法・行政法・国際法など、公法科目を中心に学習する「公共法務コース」、③公務員・政策スタッフ・マスコミ・社会福祉団体職員・ＮＰＯなどを目指し、政治系・政策系・福祉系科目を中心に学習する「総合政策コース」があります。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、法律学や政治学を学ぶのに十分な基礎学力（読み書きの力を含む）を有している人

法律学や政治学の勉強では、社会で生じているさまざまな問題を理解することが求められます。そのため、高等学校までに学ぶ幅広い知識が前提知識として必要になります。また、法律学や政治学を学ぶ際には、法律・判例・契約書・文献を読み解き、文章で表現することが求められます。そのため、文章を読む力や書く力が必要です。この力は、講義科目での小テストや定期テストで不可欠となるほか、講義科目や演習科目で求められることがあるレポート作成などの際にも不可欠です。読み書きの力を十分に身につけておいてください。

B 技能

学んだ知識をもとに、問題解決のあり方を示すことができる人

法律学や政治学の勉強では、学んだ知識を活用し、法的思考力（リーガルマインド）や政策的思考力を身につけて、問題解決のあり方を示すことが求められます。日頃から、社会で生じているさまざまな問題に関心を持ってください。そして、新聞・ニュース・インターネットなどを通してそれらの内容を理解し、自分で考え、自分の意見をわかりやすく、論理的に伝える練習をしておいてください。このような心がけをもっていることが必要です。

C 態度・志向性

社会で生じているさまざまな問題を積極的に解決しようとする姿勢や、積極的に社会に貢献しようとする姿勢を持つ人

法学部の演習科目では、学生による報告発表・共同研究・討論など、学生が主体的に参加する授業が少人数で行われます。また、講義科目でも、受け身の授業ではなく、質疑応答・レポートの作成など、学生が自ら考え、参加する授業が行われます。どの学問にも当てはまることですが、受け身ではなく、主体的に取り組もうとする姿勢や他の学生と積極的に協力して学ぶ態度がなければなりません。特に、法律学・政治学の勉強では、社会で生じているさまざま問題について調べて、その解決のあり方を考えてみたり、社会に貢献しようとしたりする積極的な姿勢が必要になります。

D その他の能力・資質

英語の資格を取得した人や、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

英語を読む・聞く・話す・書くことができることで、外国の法制度や外国の政治についての理解を深めることができることになります。そのため、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを評価しています。
また、法律学・政治学の勉強では、広い視野を持ち、さまざまな角度から考えることが必要になります。スポーツ活動などの課外活動で顕著な成績をおさめた人も評価し、課外活動で得た経験も生かして、問題解決のあり方を示してほしいと思っています。

入学者選抜のねらい

法学部での勉強では、広い視野を持ち、さまざまな角度から考えることが必要になります。そのため、法学部では、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜のほか、特別選抜として、帰国生徒選抜、社会人選抜、学部留学生選抜、編・転・学士選抜などの多様な入学者選抜を実施し、さまざまな能力を持つ人材を国内外から広く受け入れています。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	50	●	●	●		• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）、小論文、グループディスカッションにより総合的に選考する。 • 志望理由書では、福岡大学法学部で学びたいという強い意欲が説得的に説明できているかを評価する。自己推薦書では、自己分析し、個性・特性等を説得的に説明できているかを評価する。調査書では、高校での学業成績を評価する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • グループディスカッションでは、他人の意見を適切に理解する力や自己の意見を論理的に述べる力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体的に学習に取り組む意欲、他者への思いやり等の豊かな心、チームワーク、リーダーシップ）を評価する。 • ［二次選考］面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	80	●	●			
		グループディスカッション	80		●	●		
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評	●	●			
		面接	総評		●	●		
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	40		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・国語の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100	●	●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100	●	●			
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は提出書類・評価項目に基づいて行う。また、学力把握や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。また、学力把握や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

法学部 経営法学科

【学位（教育）プログラム名：経営法学（法学）】

養成する人材像・教育課程の特色

企業法務に精通したビジネスパーソン、起業家・会社経営者、国際社会で中心となって活躍する人材を養成することが、われわれの目標です。経営法学（ビジネス・ロー）を学ぶための基礎を身につけた上で、将来の目標に向けて必要な専門科目を効率的に履修することができるようにするため、二つのコースを用意しています（2年次にコースを選択します）。①民間企業など産業界で活躍したい人や起業・会社経営などを目指す人のために、会社法などの企業法科目や経済法、知的財産法、税法などの企業法務に密接に関連する科目を学ぶ「企業法コース」、②貿易・国際取引、旅行・観光業、国際機関など国際社会で活躍したい人のために、国際法科目と外国法科目を中心に学ぶ「国際コース」があります。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、経営法学を学ぶのに十分な基礎学力（読み書きの力を含む）を有している人

経営法学の勉強では、社会で生じているさまざまな問題を理解することが求められます。そのため、高等学校までに学ぶ幅広い知識が前提知識として必要になります。また、法律学や政治学を学ぶ際には、法律・判例・契約書・文献を読み解き、文章で表現することが求められます。そのため、文章を読む力や書く力が必要です。この力は、講義科目での小テストや定期テストで不可欠となるほか、講義科目や演習科目で求められることがあるレポート作成などの際にも不可欠です。読み書きの力を十分に身につけておいてください。外国の法律や国際関係・国際取引に関わる問題を学ぶ際には、英文を読む力や書く力があると、いっそう望ましいでしょう。

B 技能

学んだ知識をもとに、問題解決のあり方を示すことができる人

経営法学の勉強では、学んだ知識を活用し、法的思考力（リーガルマインド）と国際的視野を身につけて、問題解決のあり方を示すことが求められます。日頃から、社会で生じているさまざまな問題に関心を持ってください。そして、新聞・ニュース・インターネットなどを通してそれらの内容を理解し、自分で考え、自分の意見をわかりやすく、論理的に伝えるように練習しておいてください。このような心がけをもっていることが必要です。

C 態度・志向性

自ら立案した企画の実現に向けて積極的に取り組もうとする姿勢や、世界の状況に積極的に対応しようとする姿勢を持つ人

法学部の演習科目では、学生による報告発表・共同研究・討論など、学生が主体的に参加する授業が少人数で行われます。また、講義科目でも、受け身の授業ではなく、質疑応答・レポートの作成など、学生が自ら考え、参加する授業が行われます。どの学問にも当てはまることですが、受け身ではなく、主体的に取り組もうとする姿勢や他の学生と積極的に協力して学ぶ態度がなければなりません。特に、経営法学の勉強では、企画を自ら立案し、その実現に向けて取り組もうとしたり、グローバル化する世界の状況に対応しようとしたりする積極的な姿勢が必要になります。

D その他の能力・資質

英語の資格を取得した人や、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

英語を読む・聞く・話す・書くことができることで、外国の法制度や国際関係・国際取引についての理解を深めることができることになります。そのため、読む・聞く・話す・書くといった英語の4技能を総合的に活用できることを評価しています。
また、経営法学の勉強では、広い視野を持ち、さまざまな角度から考えることが必要になります。スポーツ活動などの課外活動で顕著な成績をおさめた人も評価し、課外活動で得た経験も生かして、問題解決のあり方を示してほしいと思っています。

入学者選抜のねらい

法学部での勉強では、広い視野を持ち、さまざまな角度から考えることが必要になります。そのため、法学部では、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜のほか、特別選抜として、帰国生徒選抜、社会人選抜、学部留学生選抜、編・転・学士選抜などの多様な入学者選抜を実施し、さまざまな能力を持つ人材を国内外から広く受け入れています。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	50	●	●	●		• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）、小論文、グループディスカッションにより総合的に選考する。 • 志望理由書では、福岡大学法学部で学びたいという強い意欲が説得的に説明できているかを評価する。自己推薦書では、自己分析し、個性・特性等を説得的に説明できているかを評価する。調査書では、高校での学業成績を評価する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • グループディスカッションでは、他人の意見を適切に理解する力や自己の意見を論理的に述べる力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体的に学習に取り組む意欲、他者への思いやり等の豊かな心、チームワーク、リーダーシップ）を評価する。 • ［二次選考］面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	80	●	●			
		グループディスカッション	80		●	●		
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評	●	●			
		面接	総評		●	●		
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	40		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 国語・選択科目の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100	●	●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力や、論理的思考力等を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100	●	●			
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、学力把握や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。また、学力把握や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

経済学部
経済学科

【学位（教育）プログラム名：経済学（経済学科）】

養成する人材像・教育課程の特色

経済全般に対する理解力を有するゼネラリストを育成することが、経済学科の目標です。この目標のため、経済学の知識と論理的な思考力を重視した教育を行っています。教育課程の特色として、学生の皆さんの個性や将来の進路に合わせた「三つのコース」を用意していることが挙げられます。学生の皆さんは、それぞれのコースのテーマに沿いつつ、経済学の理論と応用、経済データの分析方法、昨今の経済情勢、経済の歴史的発展などに関して深く学んでいきます。どのコースも最新の研究成果を取り入れ、現代社会の要請に応える内容にあふれています。また、少人数制の演習（ゼミナール）も、経済学科の魅力です。演習では、教員の親身な指導を受けながら、学生の皆さん自らが設定した課題について分析や考察を行い、課題解決能力を高めていきます。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、経済学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

経済学科で学ぶ際の前提として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な理解が挙げられます。特に、経済学を学ぶうえで、「物事を筋道立てて考える能力」は重要です。経済学を学ぶ際の基礎となり、またそうした論理能力に関わる教科・科目（英語、国語、社会科全般、数学など）については、入学するまでに理解を深めておいて下さい。また、経済現象を正しく認識するためには、「観察力・洞察力」も必要です。こうした能力の土台となる実験や観察の要素が多い教科・科目にも、積極的に取り組んでください。バランスの取れた専門家となるために、入学試験に課されない教科・科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験に基づきながら、自らの意見を持ち、それを論理的に説明できる人

現代社会は、様々な分野の人々が色々な形で結びつき協力することで、発展を続けています。こうした協業において、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明する力や、多様で異なる意見を一つに取りまとめる力などが求められます。それゆえ、日本語の表現力を高めることや、言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

健全な社会性を有し、経済学科で得た専門知識を社会のために活用したいと考えている人

多方面における知識や技術の発展に伴い、私たちの生活は便利で豊かなものになっています。同時に、こうした知識や技術は、その使い方を誤ると人々の生活や自然環境まで破壊してしまう危険性を持っています。このことは、様々な経済政策の基礎となる「経済学」という学問を学ぶ者も、しっかりと自覚すべきことです。経済学科は、専門知識の修得にとどまらず、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、専門家として働いていくうえで欠かせない自己研鑽を積む上での基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

グローバル化の進展は、現代社会の最も大きな特徴の一つです。いつ、どこにおいても、他者と英語によるコミュニケーションをとることが当たり前となりつつあります。入学後の学習においても、英語を活用して文献を読解することなどが必要となります。このため、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを高く評価しています。また、経済学は人々の生活や文化に関連した学問です。このため、様々な人々と活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍をした人に対しても一定の評価をしています。

入学者選抜のねらい

経済学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	小論文	総評		●			• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（自己推薦書・調査書）、小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		提出書類	総評	●				
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語の評定の平均3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・選択科目の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅲ期	教科・科目	300	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力などを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	小論文	100		●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力などを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	850	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接（作文含む）では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評		●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		書類審査・面接	100		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

経済学部
産業経済学科

【学位（教育）プログラム名：経済学（産業経済学科）】

養成する人材像・教育課程の特色

現実社会において生じる様々な問題に対して、問題の本質を捉え、その原因を究明し、解決策を立案し実行できるスペシャリストを育成することが、産業経済学科の目標です。この目標のため、学際的な観点を重視しつつ、実学志向の教育を行っています。本学位（教育）プログラムの特色は、「起業家育成プログラム」と「地域イノベーションプログラム」という二つを軸とすることです。産業経済学科の学生は、これらを指針として、経済学に加え、起業や産業戦略に関する学習、地域社会のフィールドスタディなどを通じ、論理的な思考力やデータ分析能力など実践的な力を身につけていきます。少人数制の演習（ゼミナール）も、産業経済学科の魅力です。演習では、教員の親身な指導の下で、実践的な課題解決能力を高めていきます。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、経済学および関連諸学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

産業経済学科で学ぶ際の前提として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な理解が挙げられます。特に、経済学および関連諸学を学ぶうえで、「物事を筋道立てて考える能力」は重要です。経済学を学ぶ際の基礎となり、またそうした論理能力に関わる教科・科目（英語、国語、社会科全般、数学など）については、入学するまでに理解を深めておいて下さい。また、地域や企業が抱える課題を正しく認識するためには、「観察力・洞察力」も必要です。こうした能力の土台となる実験や観察の要素が多い教科・科目にも、積極的に取り組んでください。バランスの取れた専門家となるために、入学試験に課されない教科・科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験に基づきながら、自らの意見を持ち、それを論理的に説明できる人

現代社会は、様々な分野の人々が色々な形で結びつき協力することで、発展を続けています。こうした協業において、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明する力や、多様で異なる意見を一つに取りまとめる力などが求められます。それゆえ、日本語の表現力を高めることや、言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

健全な社会性を有し、産業経済学科で得た専門知識を社会のために活用したいと考えている人

多方面における知識や技術の発展に伴い、私たちの生活は便利で豊かなものになっています。同時に、こうした知識や技術は、その使い方を誤ると人々の生活や自然環境まで破壊してしまう危険性を持っています。このことは、様々な経済政策の基礎となる「経済学」やその他の関連諸学を学ぶ者も、しっかりと自覚すべきことです。産業経済学科は、実践的問題解決能力の修得にとどまらず、将来に挑戦する積極性、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、専門家として働いていくうえで欠かせない自己研鑽を積む上での基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

グローバル化の進展は、現代社会の最も大きな特徴の一つです。いつ、どこにおいても、他者と英語によるコミュニケーションをとることが当たり前となりつつあります。入学後の学習においても、英語を活用して文献を読解することなどが必要となります。このため、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを高く評価しています。また、経済学は人々の生活や文化に関連した学問です。このため、様々な人々と活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍をした人に対しても一定の評価をしています。

入学者選抜のねらい

産業経済学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続けることのできる、有能で意欲あふれる人材を国内外から広く受け入れます。
そのため、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲など、様々な観点から評価できるよう、多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	小論文	総評		●			• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（自己推薦書・調査書）、小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		提出書類	総評	●				
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語の評定の平均または数学の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・選択科目の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅲ期	教科・科目	300	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力などを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	小論文	100		●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力などを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	850	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接（作文含む）では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評		●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	100	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。面接では、自分の意見・主張を論理的に説明できる能力、自己研鑽への情熱や社会性などを評価する。
		書類審査・面接	100		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

商学部 商学科

【学位（教育）プログラム名：商学】

養成する人材像・教育課程の特色

商学科は、流通・マーケティング、情報・サービス、交通、金融・保険、商業史の広範な分野の理論を学ぶことを通して、時代の変化を多面的な視点から考察し、実務における基礎力を身に付けることで、社会や地域に貢献できる人材を養成することを目指しています。そのために、流通・マーケティング、情報・サービス、交通、金融・保険、商業史の分野ごとに入門科目を設けています。また、1年次生全員が受講できる基礎ゼミナールを用意しています。大学生としての第一歩となる足場を1年次に固めた後は、自分なりの興味・関心に応じて、専門科目、特別講義や小人数の専門ゼミナールを受講し、プロジェクト・課外活動に参加することで、「時代の変化を多面的な視点から考察する力」や「実務に対応できる基礎力」が修得できます。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、それらを社会や地域との関係を軸に考え解釈することに興味がある人

流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の知識は人文科学、社会科学および自然科学についての基本的な知識が基礎になっています。それは商学が、理論的・歴史的・実践的な知識を用いて、企業、産業、地域が置かれている経済社会状況を説明し、企業、産業、地域が取り組むべき課題や、企業、産業、地域が発展する方向について説明する学問領域だからです。また、社会や地域の現実の動きに対する興味や関心が商学には不可欠です。入試科目に囚われない幅広い知識欲や何かを理解したいと思う意志をもつ人を歓迎します。

B 技能

自分の興味・関心を起点に情報や他者の意見を集め、それらを素材に論理的に考え自分の意見を表現することができる人

商学科では、企業、産業、地域が取り組むべき課題を発見し解決するために、商学に関する理論的・歴史的・実践的な知識を応用したプロジェクトを企画、立案すること、他者と連携しチーム活動においてリーダーシップを発揮すること、情報技術等を用いて国内外の事例を収集し課題解決に必要な知見を抽出することが求められます。これらの活動の根っこにあるのは、自分の興味・関心を起点に、情報や他者の意見を集め、それらを素材に論理的に考え主張する力です。日頃から、「なぜだろう?」「どうして?」と自問し、本や文章からポイントを読み取る力を鍛錬してください。他者の話にじっくり耳を傾けることも大切です。

C 態度・志向性

社会の一員であることに自覚的で、社会や地域に貢献したいと思う使命感をもった人

商学科では、社会の一員として、社会や地域の発展に商学的な見地から貢献する姿勢をもっていること、社会や地域の発展に貢献するために自ら成長し、商学的な知識や多種多様な知識、見識を学び続けること、主体的・協調的に他者を巻き込む行動をとることが求められます。商学科は、そのような高い志を持った積極的な人を歓迎します。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人

商学を学ぶ上で大切なのは、地域や社会に対する自分なりの興味・関心です。そのため、社会や地域との接点をもっているか否かが評価の1つになります。課外活動、資格の取得、ボランティア活動、留学など社会や地域との接点を自主的、積極的に求める活動を評価します。

入学者選抜のねらい

商学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●			●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（資格取得証明書、活動歴報告書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接・小論文により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●		
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・選択科目の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	400	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	小論文	100		●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 小論文・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	面接	総評	●	●	●	●	• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに小論文を課すことがある。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

商学部 経営学科

【学位（教育）プログラム名：経営学】

養成する人材像・教育課程の特色

経営学科は、企業をはじめとする各種組織のマネジメントリーダーまたは職業会計人として、強い責任感を有し、問題発見および問題解決の能力を持ち、協働して社会に貢献できる人材を養成することを目的としています。そのため、経営学科では、経営学と会計学に関する科目を多く設置しています。いずれの学問領域も1年次から入門科目を置き、段階的かつ体系的に学ぶことができるようにしています。また、グループワークやコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高められるように、1年次から4年次まで小人数クラスのゼミナールを配置しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、社会・経済事象に強い関心をもっている人

経営学科では、経営学および会計学を中心に学びますが、その際、高等学校までに学習する幅広い知識が基礎知識として役立ちます。まず、学修のための基礎的能力として、文章の読解力および論理的思考力を養う科目である国語、英語、数学を深く学んでいることが不可欠です。さらに、経営学科の研究領域の対象となる社会・経済事象に関連する社会科の科目（現代社会、地理、世界史、日本史、政治・経済等）に関心をもち、学んでいることが望まれます。また、商業系の学校やコースでは、商業、マーケティング、簿記・会計などの基礎知識を身につけていることが求められます。

B 技能

学習や課外活動での経験によって、他者とのコミュニケーションがとれる人

経営学科は、各種組織のマネジメントリーダーまたは職業会計人となる人材の養成を目的としています。そこでは、他者と協働して課題発見・解決する能力が求められます。その際に不可欠なのは、他者とのコミュニケーション能力です。自らの考えを相手にできる限り正確に伝え、相手の考えをできる限り正確に理解する能力を高等学校における授業および課外活動で高めて下さい。

C 態度・志向性

マネジメントリーダーまたは職業会計人となる気概をもち、他者と協働して社会に貢献したいと考えている人

組織において、マネジメントリーダーになるのも職業会計人になるのも容易にできることではありません。したがって、まずはなろうとする強い意気込みが求められます。同時に、単に知識や技術だけでなく、責任感をもち、他者を思いやり、他者と協力して課題を解決することが組織、ひいては社会で求められます。経営学科は、そのような気概をもち人間性豊かな人を求めています。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人

近年、グローバル化の進展により、マネジメントリーダーにせよ職業会計人にせよ、その活動範囲は国内のみならず海外にも及んでいます。そこではしばしば英語によるコミュニケーションが求められます。したがって、経営学科では、英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）を高く評価しています。
また、経営学科では、向上心、向学心をもって高校在学中に様々な資格・検定試験に挑戦し、成果を出した人も高く評価しています。

入学者選抜のねらい

経営学科は、高い目標をもち、それを達成するために努力を惜しまない人材をはじめ、多様な価値観、能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。そのために、これまでに培われた基礎知識、活動や経験を通じて身に付けた技能、資質、志向性などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●			●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • [一次選考] 提出書類（資格取得証明書、活動歴報告書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考する。 • [二次選考] 面接・小論文により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評	●	●			
		面　　接	総評		●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●		• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • [一次選考] 提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • [二次選考] 小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評	●	●			
		面　　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 国語・選択科目の得点を1.5倍する。[傾斜配点]
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●	●	●	●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	400	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●	●	●	●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●	●	●	●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100	●	●			
		面　　接	総評		●	●	●	
	社会人	小 論 文	100	●	●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 小論文・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	面　　接	総評	●	●	●	●	• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに小論文を課すことがある。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

商学部 貿易学科

【学位（教育）プログラム名：国際貿易】

養成する人材像・教育課程の特色

貿易学科は、世界情勢の変化に適応し、これを先取りできるビジネスマインドを持った国際教養人を養成することを目的としています。すなわち、様々な個人、団体、組織による国際的な経済活動およびグローバルな展開を理解する能力を持ち、地域と世界をつなぐ能力を持った人材を養成することを目的としています。そのため、貿易学科では貿易実務・ビジネス英語、国際ビジネス、貿易論、国際金融、各国経済・地域に関する科目を多く設置しています。また、商学、経営学、会計学などの基本科目を配置し、商学・ビジネスの基礎を学習できるよう配慮しています。いずれの分野も1年次から入門科目を置き、段階的かつ体系的に学ぶことができます。さらに、文献・ビジネス情報の理解力およびプレゼンテーション能力などを高められるように、1年次から4年次まで小人数クラスのゼミナールを配置しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、商学・国際貿易を学ぶに十分な基礎学力を有している人

貿易実務、国際ビジネス、貿易論、国際金融、各国経済・地域をはじめとする国際貿易の知識は人文科学および社会科学についての基本的な知識が基礎になっています。また、今日の国際取引では人を介したコミュニケーションおよび文書において国際共通語である英語が使用されます。それゆえに貿易学科は英語の基礎学力を重視します。貿易学科では、企業・産業・地域などについて商学・経営学などの科目から学びますが、多くの専門分野は人、企業、産業などのグローバルな活動に関わるものなので、多様な関心から広く海外に目を向け、貪欲に学習する意欲を持った人を歓迎します。なお、高等学校の社会科の科目は特定の科目だけの学習に偏る傾向がみられますが、できるだけ多くの科目を学習することが大切です。

B 技能

学習や課外活動での経験によって、他者とのコミュニケーションがとれる人

貿易学科で学ぶ領域は商学・経営学・国際貿易の基礎から貿易実務・ビジネス英語、国際ビジネス、貿易論、国際金融、各国経済・地域および国際協力に至るまで広範に及びます。これらの領域に関わる専門科目を学ぶ上で、日本および海外の経済やビジネスだけでなく人々の暮らしや考え方、異文化・多文化の存在について高等学校までに様々な形で（たとえば、家業の手伝い、父母の経験を聞くこと、国内のボランティア活動、海外での研修および居住経験など）自ら触れることが大切です。そして、そこで必要なことは他者と進んでコミュニケーションがとれること、議論できる能力をもつことです。

C 態度・志向性

国際感覚を持ったビジネスリーダーを目指し、地域と世界をつなぐことによって社会に貢献したいと考えている人

貿易学科は、日本が貿易や投資の拡大を通じて国際社会の一員として頭角を現した時期に、国際化を担いうる人材を育成するために創設されました。今日、国際化、グローバル化という言葉は日常茶飯事のごとくよく使われますが、日本はいま人口減少、経済の低成長、および国際的諸課題など多くの課題に直面しています。これらの課題を真剣に考え、海外を含め自ら進んで海外の人々とのコミュニケーション能力を高めることに熱意を有する人を求めます。そのためにも足元の日本だけでなく近隣のアジア諸国さらには広く世界で日々生起する出来事にたいして新聞ほか各種情報をしっかり読み込み、理解する姿勢を望みます。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人

各種の英語検定資格、簿記会計資格および情報処理検定などを取得した人は貿易学科の学習を進めるうえでスムーズに、少し余裕をもって取り組むことができます。また、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人、さらに生徒会活動やさまざまなボランティア活動への参加経験などがある人は、学科の活発で明るい雰囲気をより高め、学生間および教員とのコミュニケーションを豊かにしてくれると確信します。

入学者選抜のねらい

貿易学科は、多様な背景を持ち、様々な能力を有し、ビジネスマインドを持った国際教養人をめざす人を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●			●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（資格取得証明書、活動歴報告書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接・小論文により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●		
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・選択科目の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●	●	●	●	
	共通テスト利用型 Ⅰ期	教科・科目	400	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●	●	●	●	
	共通テスト利用型 Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●	●	●	●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	小論文	100		●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 小論文・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		
	学部留学生（後期日程）	面接	総評	●	●	●		• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに小論文を課すことがある。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

商学部第二部
商学科

【学位（教育）プログラム名：商学（第二部）】

養成する人材像・教育課程の特色

商学部第二部商学科は、商学の広範な内容について学ぶことを通して、地域経済を動かすリーダーシップを備えた人材を養成することを目的としています。そのため、商学部第二部商学科では、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」「国際」の領域に関する科目を多く設置しています。いずれの学問領域も1年次から入門科目を置き、段階的かつ体系的に学ぶことができるようにしています。また、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高めると共に、専門領域の学習をより深めるために小人数クラスのゼミナールを1年次より配置しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、商学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の知識ならびに人文科学、社会科学および自然科学について基本的な知識を身につけるためには、高等学校の教育内容を幅広く学習していることが求められます。商学を学ぶ上で必要な社会科科目（現代社会、地理、日本史、世界史、政治・経済）はもとより、数学や現代文なども論理的思考力や理解力を身につける上で学んでいることが望ましい科目です。その上で、商学部第二部において修得した商学の知識を用いて企業や地域がおかれている経済的・社会的状況のみならず、企業や地域が解決すべき経済的・社会的課題を説明することに高い関心と意欲をもっていることが求められます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験やデータについて論理的に説明しようとする習慣を身につけている人

高等学校における学習や課題活動から得た経験やデータを理解するために、論理的に思考し説明しようとする習慣を身につけており、商学部第二部において学んだ知識を用いて企業および地域社会における問題を自ら発見し、それと関連する情報を蒐集するとともに、解決策を論理的に組み立てて提案できるようになることや、周囲の人と協働して問題解決にあたるためのコミュニケーション能力を活用できるようになることに高い関心と意欲をもっている人を求めます。

C 態度・志向性

経済社会の現実の諸問題の解決能力を身につけ、将来、地域経済のリーダーとなる意欲に溢れる人

高等学校における学習や課外活動に積極的に取り組む姿勢を身につけており、商学部第二部において学んだ知識を自らで発展させる主体的な姿勢をもち、周囲の人と協働して企業および地域社会の発展に積極的に取り組む強い責任感と高い志をもっている人を求めます。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語をはじめ各種の資格・検定試験に合格した人およびキャリア・アップを目指す社会人

現在はグローバル経済と情報化がますます進展していく中で、高い英語の運用能力や、ビジネスに関する高い専門的知識を身につけている人材に対する需要はこれまで以上に求められると考えられます。英語の各種検定試験・資格（英検、TOEIC、TOEFL等）の取得をめざしている人や、社会・経済関係の各種資格・検定試験（公認会計士、税理士、日商簿記等）をめざしている人、さらには、社会人としてキャリア・アップをめざしている人を求めます。

入学者選抜のねらい

商学部第二部は、経済社会の現実の諸問題に関心をもち、将来、地域経済のリーダーとして活躍する意欲に溢れる人材を広く受け入れます。

そのために、高等学校の教育内容で培われた基礎学力、課外活動から得た経験やデータを論理的に説明する習慣、資質、学習意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●			●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（資格取得証明書、活動歴報告書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接・小論文により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評	●	●			
		面接	総評		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・国語の学習成績の状況3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、趣旨を的確に理解できているか、文章を論理的に展開できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●		
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 国語・選択科目の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	400	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		
	社会人	小論文	100		●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 小論文・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	100	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（1科目）の得点・小論文・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに小論文を課すことがある。 • 小論文は、社会・経済事象に関して自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小論文	100		●			
		面接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

理学部
応用数学科

【学位（教育）プログラム名：応用数学】

養成する人材像・教育課程の特色

応用数学科は、探究心、向上心を持ち、数学の学修を通じて養われた柔軟な発想力、豊かな創造力のもと、社会で直面する諸問題を解決する力を備え、社会の健全な発展に寄与する人材を養成することを目的とします。そのために、数学・情報数理の専門知識、さらには数学のみならず、自然科学・人文科学・社会科学・語学の幅広い教養が身に付くように、カリキュラムが編成されています。講義はもちろん、数多く設置された演習・実習、あるいは3年次後期より始まるゼミナールを通じて、数学・情報数理の理論と応用を学び、計算や定理の証明を丹念に行い、粘り強く、必要に応じて視点を変えて考え抜くことにより、論理的な分析力、思考力を養うことを目指します。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

応用数学科で学んでいく上で必要な、高等学校における数学の十分な基礎学力がある人

応用数学科で学んでいく上で、高等学校における「数学 Ⅰ」、「数学 A」、「数学 Ⅱ」、「数学 B」（確率分布と統計的な推測の単元は除く）、「数学 Ⅲ」の知識があり、十分に理解していることが必要です。数学ではいろいろな公式が出てきますが、これらは丸覚えするのではなく、必ず導き方を理解するように努めて下さい。また、たとえば教科書では「図形の性質」で出てくる問題を「ベクトル」で解いてみる、というふうに、教科書の単元の間のつながりを意識して、1つの問題のいろいろな解き方を考えてみて下さい。もちろん、数学以外の入試科目についても、積極的に取り組んで下さい。

B 技能

自分の考え、知識を筋道立てて、論理的に説明することができる人

数学は定義（数学の約束）に基づいて、論理的に議論を積み重ねていく学問です。たとえば大学の入学試験の問題でも、少し難しめのものになれば、ああなって、こうなって、こうなる、というふうに、いくつかの段階を踏んで解いていくことになります。会話でコミュニケーションを取るときも、常に話の内容を論理的に構成するように心がけて下さい。

C 態度・志向性

数学に対する探究心・向上心・好奇心を持ち、主体的に学習する意欲を持っている人

大学に入学すると最初は、数学を学んでいく上での基礎的な内容の講義がほとんどですが、学年が上がっていくにつれて、専門的な数学の科目が増えてきます。これらの内容は、代数、幾何、解析、情報数理などそれぞれの専門分野に限っても、広く、深く、そのため、講義ですべての内容をカバーすることは不可能です。3年次後期より始まるゼミナールでは、講義で学んだことを取っ掛かりとして、講義の先にある内容を、主体的に学習していくことになります。数学に限らず様々な場面において、主体的に学ぶ姿勢を持つように心がけて下さい。

D その他の能力・資質

数学を通じてコミュニケーションが取れる人

みなさんの中には中学・高校で、数学が苦手な人に、わからないところを教えてあげた経験を持っている人も多いと思います。誰かに教えることで自身の理解が深まる、ということもあります。応用数学科では、講義・演習を通じて、グループで教えあって、1学年48名の学生が、仲良く、主体的に勉強する雰囲気作りを目指しています。なお、英語のコミュニケーション能力も求められていることから、前期日程・共通テスト併用型、共通テスト利用型 （ Ⅰ期、Ⅱ 期）では、英語の資格・検定試験活用制度があります。

入学者選抜のねらい

応用数学科は、数学や情報数理を学ぶ意欲にあふれる人材を、国内外から広く受け入れます。
そのために、これまでに培われた基礎学力を評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（数学の学習成績の状況3.8以上・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出動画および提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。動画の課題は入試要項に掲載する。 • ［二次選考］面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 面接では、課題（提出動画）および関連する高校数学の基礎的な内容についての理解度を確認するために口頭試問を行う。
		提出動画	総評	●	●			
		面　接	総評	●	●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語、数学、理科を履修し、英語の評定の平均および数学、理科の学習成績の状況が3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●		
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 数学の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 数学の得点を1.3倍、理科の得点を0.7倍する。［傾斜配点］
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型 Ⅰ期	教科・科目	650	●				• 大学入学共通テスト（7科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型 Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、数学の理解力を確認するための口頭試問を含む。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評	●	●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

理学部
社会数理・情報インスティテュート

【学位（教育）プログラム名：社会数理・情報】

養成する人材像・教育課程の特色

社会の問題の解決や分析に数理モデルを幅広く活用する能力をもち、社会や情報のシステム構築を通して活躍する人材を育てることを目指します。そのため、初年次から「基礎となる数学」と「数理モデルの構築や分析の方法」、「情報の理論や技術」を並行して学びます。活用する目的を意識して数学を学び、専門分野では身に付けた数学が効果的に活用される一体的な教育を用意しています。3年次からの2年間には、「総合力を身に付ける」ゼミナールを設け、それまでに身に付けた力を生かし、問題の解決や分析を目指した数理モデルの活用や効果的な方法を実現するための情報システムの構築を行う実践的なカリキュラムです。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、数学やその他の得意とする分野の基礎学力に優れた人

このカリキュラムで身に付ける数理モデルや情報技術を中心とする実践的な能力は、幅広い分野で役立つものです。それを学ぶためには高校までの数学が基礎になりますが、身に付けた実践的な能力を生かすには、数学以外の様々な分野にも興味や関心が広がっていることが望まれます。今は、数学とは関係がないように感じる分野であっても、得意な分野を育てていけば、分析できる問題意識に出会うことにつながります。

B 技能

身近な友達と協力しながら考えを深めたり、分担して作業をしたりすることが積極的にできる人

社会数理・情報インスティテュートの個性は、1学年17名という少人数で学ぶ環境に支えられています。ディスカッションを通じて理解を深めるときや初めて経験する技術を学ぶときには、これまでの学校生活を通じて身に付けた友達と協力して学ぶ力が求められます。また、実習やゼミナールではチームでの共同作業もあり、ここでもこの力が発揮されます。

C 態度・志向性

社会で使われている様々な仕組みや情報処理のシステムに興味・関心を持ち、身に付けた専門知識を生かして社会で活躍したいと考えている人

上位年次になると、より実践的な分析やシミュレーション、システム構築に取り組みます。これらの学習をより効果的なものにするためには、社会や情報分野で実際に使われている仕組みに関心や疑問を持った経験が必要になります。学んだことを生かしていこうとする姿勢が、社会数理・情報インスティテュートでの学びの価値を高めていきます。

D その他の能力・資質

自分の目標を持ち、その目標の実現のために計画的に取り組める人

大学での4年間で着実に成長してくれる人を求めます。いつも、今の自分にとっての課題を意識し、その課題に積極的に取り組む、これを積み重ねることで大きな成長につなげてください。また、グローバル化した現代社会では高いコミュニケーション能力が求められています。共通テスト利用型選抜等では、英語の資格も活用できます。

入学者選抜のねらい

社会数理・情報インスティテュートでは、専門分野の学びに自主的にとりくみ、身に付けた知識や技能を生かして社会で活躍したいと考えている人を求めています。

そのため、入学試験では数学を中心とする幅広い基礎学力と自分の目標に積極的にとりくむ姿勢や能力を総合的に評価します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（数学の学習成績の状況3.8以上・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出動画および提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。動画の課題は入試要項に掲載する。 • ［二次選考］面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 面接では、課題（提出動画）および関連する高校数学の基礎的な内容についての理解度を確認するために口頭試問を行う。
		提出動画	総評	●	●			
		面　接	総評	●	●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 数学の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	650	●				• 大学入学共通テスト（7科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	編・転・学士	教科・共通教育科目	200	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章で表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●	●	●	
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

理学部
物理科学科

【学位（教育）プログラム名：物理科学】

養成する人材像・教育課程の特色

物理学の目的は、自然現象を観察・分析して自然界に存在する法則を見つけ出し、自然の仕組みを合理的に理解することです。物理科学科では、力学・電磁気学・熱力学・量子力学などに代表される物理学と、宇宙・物質・生命などに関連する科学とその応用分野を学び、自然現象を幅広い視野から理解する力を養います。その学修を通じて、論理力、分析力および未知の現象を解明する力を身に付け、総合的な視野から知識を活用できる能力と、豊かな人間性、社会性および国際性を兼ね備えた人材を養成することを目指しています。そのため、幅広い学問分野を学ぶとともに、物理学を基礎から専門領域まで段階的に学ぶことができる教育課程を編成し、４年間一貫した少人数教育を行っています。中学・高校「理科」、高校「情報」の教員免許を取得できます。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、物理学を学ぶのに十分な基礎学力を有している人

物理科学科で学ぶためには、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識を身に付けておくことが必要です。特に専門となる物理学を深く理解するため、その基礎力として高校の理科（物理）の内容を十分に理解していることが必要不可欠です。また、物理学を記述・表現するための基礎として高校の数学を理解しておくこと、社会で活躍するための力を養っていくために外国語をはじめとする他の教科・科目の基礎を身に付けておくことは重要です。広範な科学と応用分野を学び、総合的な視野から知識を活用する能力を身に付けていくため、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や経験を踏まえて、物事や現象を順序立てて説明することができる人

物理学を学び、社会で活かしていくためには様々な分野の研究者や技術者と連携、協働していくことが必要になります。そのための基本的な能力として、実験や計算の結果を整理・考察して相手が理解できるように説明し、議論する力が求められます。またその際、物事を論理的に考える力、調査や実験で得られた情報を処理する力が必要になります。
高校の理科や数学の学習を通して論理的に考え、人に分かり易く説明するよう心がけてください。また、高校の国語や英語の学習だけでなく、科学の本や新聞記事等の文章に触れて読解力と表現力を高めておくことが大切です。

C 態度・志向性

知的好奇心を持ち、物理学の専門的知識と幅広い教養および国際性を身に付けて、社会に貢献したいと考えている人

物理学は科学技術分野の基礎であり、材料、エネルギー、環境など社会の広範な分野・領域の技術に応用・活用されています。物理科学科では、自然界や社会の様々な諸問題に関心を持ち、物理学を基礎とする科学の力で問題を解決に導く力を養います。そのため、知的好奇心にあふれ、将来物理学の知識や技術を修得して社会に貢献したいと考えている人を求めています。また、国内外の社会の諸問題に取り組むため、幅広い教養と国際性を身に付けたいと考えている人を歓迎します。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

グローバル化が進む社会において、他者と英語によるコミュニケーションをとることも必要になっています。また入学後は英語の書籍や文献を読む機会が多くなり、英語での発表に挑戦することもあります。それゆえ、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを、高く評価しています。また、学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、評価しています。

入学者選抜のねらい

物理科学科は、物理学や自然に強い関心を持ち、学びや諸活動に積極的に取り組み続ける意欲あふれる人材を求め、多様な背景をもち、様々な能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、それまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（物理の評定の平均、課外活動や探究活動の成果等に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］プレゼンテーションおよび面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 面接では、プレゼンテーションの内容や基礎学力を確認するために口頭試問を行う。
		プレゼンテーション	総評	●	●			
		面　接	総評	●	●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語、数学、理科を履修し、英語の評定の平均および数学、理科の学習成績の状況が3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 理科の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 2/3は、理科の得点を2倍、英語と数学の得点を0.5倍する。［傾斜配点］ 2/4及び2/11は、3科目各100点満点で選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（5科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

理学部 化学科

【学位（教育）プログラム名：化学】

養成する人材像・教育課程の特色

社会や人々の期待にこたえて、様々な課題に積極的に取り組み、化学で社会をデザインできる人を育てることがわれわれの目標です。そのため化学の専門家として活躍できるスペシャリスト教育と社会構造の変化に適応する力を持つジェネラリスト教育の両立を行っています。化学の基礎分野を軸にした最先端の専門知識とともに、能動学習や協調学習を通じて社会で役立つ問題解決能力や表現力を身につけて欲しいと考えています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、化学を学ぶのに十分な基礎学力を有している人

大学の化学を学ぶ際には、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識をもっている必要があります。化学だけでなく、化学現象を説明するために必要な数学や実験結果を定量的に解釈するための簡単な物理学をよく理解しておいてください。大学では化学現象を原子・分子構造に基づいて理解する方法を学ぶので「観察力や洞察力」も必要です。その素養となる国語・社会の基本的な知識を身につけていることが望まれます。また、先端的な化学研究を行うためには、基礎的な英語の素養も必要です。

B 技能

実験の結果を的確に解釈し、知識をもとに物事を論理的に説明することができる人

化学を社会の様々なところで実践的に用いるには、化学の基礎知識を実験や解析に応用し、実験から得られた結果を論理的に考察し、順序立てて説明する力が求められます。国語を中心とした学習で読解力や文章力を高めることに加え、日ごろから科学に関する本や新聞の記事などの文章に触れ、自身の意見を整理したうえで論理的に説明できる力をもっていることが求められます。また、大学では英語で化学に関する情報を収集するために、英語の長文読解力が必要です。

C 態度・志向性

日常生活や社会で起こる現象を、化学と結びつけて思考できる人

科学技術の発展によって私たちの日常生活は豊かになりました。たとえばスマートフォンのディスプレイに使われる素材や医薬品の生産技術、あるいは自然エネルギー開発や環境保全など、社会で起こる多くの事柄が化学と深くかかわっています。それらに関心をもつことは、大学での化学的知識を深めるためだけでなく、将来的に化学を用いて社会に貢献するときに大いに役立ちます。平易な言葉で化学と実社会を橋渡しできるように、各種メディアで発信される話題に関心をもっていることが望まれます。化学の専門家として社会に貢献したいという意欲をもっていることを期待します。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・社会貢献で顕著な成績を収めた人

現代社会の問題は複雑なものが多く、社会で活躍できる人材になるには、集団の中で個人の役割を理解し、自主的かつ協調性をもって行動することが大事です。そのためには、集団のなかの他者と意見を交換しながら、協力して課題に取り組んだ経験が役に立ちます。学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする部活動や課外活動に積極的に取り組んでいる人や、英語の読む・書く・話す・聞くという技能をもち意見交換のできる人も評価します。

入学者選抜のねらい

化学科は、自然に関心をもち、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人物や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人物を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（化学の評定の平均、課外活動や探究活動の成果等に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］セミナー（確認テストを含む）および面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 面接では、セミナーの振り返りや基礎学力を確認するために口頭試問を行う。
		セミナー	総評	●	●			
		面　接	総評	●	●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語、数学、理科を履修し、英語の評定の平均および数学、理科の学習成績の状況が3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 理科の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 2/3は、理科の得点を2倍、英語と数学の得点を0.5倍する。［傾斜配点］ 2/4及び2/11は、3科目各100点満点で選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（5科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

理学部
地球圏科学科

【学位（教育）プログラム名：地球圏科学】

養成する人材像・教育課程の特色

地球圏科学科は、大気圏、水圏、岩石圏、および生物圏からなる「地球圏」で起きている様々な現象について、科学的解析能力を養い、その成り立ちから未来展望に至る幅広い視野と知識を習得し、健全な未来社会の発展に貢献できる人材の育成をめざしています。その実現のためカリキュラムツリーに示すように、1年次では「地球圏とは何か」を学ぶ導入講義科目と、その内容に密接に結びついたアクティブラーニングを中心とした演習科目を根幹とし、自然科学の基礎となる数学、物理学、化学、生物学、地学の講義科目で知識の幅を拡げます。2，3年次では引き続き自然科学の基礎となる講義科目で知識の幅を拡げると共に、地球科学もしくは生物科学のいずれかを専門として選び、必修実験科目や特別研究、専門講義科目を通じて、高度で専門的な知識を修得します。4年次には大学での学びの集大成として、卒業研究で探求力、論理力、分析力、創造力、表現力、コミュニケーション能力を磨き、未知の現象を解明する力を結実させます。さらに語学や共通教育科目を通じて、グローバルに活躍できる人材の養成を目指しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学び、大学の学びに取り組める基礎学力を有する人

地球圏を構成する大気圏、水圏、岩石圏、生物圏で起きている身近な現象に興味がある人で、大学でさらに深く幅広く学ぶ意欲のある人が望まれます。そのために高等学校では理科に限らず幅広く学び、興味の裾野を広げておくことがよいと考えています。大学では自然科学の基礎を幅広く学びます。そのため理科と数学について基礎学力を有することが必要です。なお、高校で学んでいない理科の科目については、大学の基礎科目で幅広く学ぶことができます。地球の全域が学びの対象ですから、基礎的な英語力も必要です。

B 技能

理科の実験が好きで、観察した現象を科学的に順序だてて説明することができる人

地球圏で起きている多様な現象を観察し、実験・解析し、結果をわかりやすく説明する能力が、よりよい社会を実現するために必要とされています。そのため、身近な自然現象をじっくり観察したり、条件を変えるとどのような変化が起こるかを試したりすることが好きな人が望ましく、なぜそうなるのかを常に考え、現象と結果を明確に説明する能力を磨く必要があります。そのため高等学校の教育を通じて、言葉による表現力を磨くことが重要です。日ごろから新聞の論説記事などを幅広く読み、自分の意見を整理し、それを論理的に主張できる力をつけるよう心がけてください。

C 態度・志向性

自然現象を観察し、常になぜだろうと原因追究し、得られた専門知識をよりよい未来社会実現のために活用したいと考えている人

最近の地球表層の自然現象は、時には甚大な被害をもたらし、将来の環境変化に大きな影響をもたらす可能性も指摘されています。生物の行動や反応など時間をかけて観察することが必要な現象や、過去にさかのぼって変化の軌跡をたどる必要がある現象など、粘り強く自然を観察し実験解析する態度が求められます。さらに観察や実験の過程では常に原因を追究する態度が求められます。また、大学の学びで得た専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人が望ましいと考えています。理科を幅広く学べることから、中学や高校の理科教員や博物館学芸員を目指す人も適しています。

D その他の能力・資質

実験や観察を続ける忍耐力があり、地球的視野で自然現象を調べるために語学に興味がある人

地球圏で起こる現象については、野外で観察することも、過酷な環境で実験を行うこともあります。時間がかかる実験や観察には忍耐力と体力が必要です。高等学校の課外活動やスポーツ活動で顕著な成果を上げた人もその意味で評価します。また、地球圏の現象に国境はありません。地球規模の自然現象を国際協力で調査し、成果を公表することは当たり前になっています。大学では英語を中心に、海外での研究成果や観察された現象を文献で読解する語学力も必要です。課外活動で積極的にコミュニケーション能力を磨いた人や、語学を学ぶことに興味がある人も評価しています。

入学者選抜のねらい

地球圏科学科は、大気圏、水圏、岩石圏、生物圏でおこるさまざまな自然現象に興味を持ち、学びや諸活動を通じて常になぜだろうと考え、疑問に挑戦し続ける意欲あふれる人材や、表現力を含む多様な能力を有する人材を、国内外から幅広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、諸活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（理科の評定の平均・学術活動、技能や資格、課外活動の成果等に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］プレゼンテーションおよび面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 面接では、プレゼンテーションの内容や基礎学力を確認するために口頭試問を行う。
		プレゼンテーション	総評	●	●			
		面　接	総評	●	●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・英語、数学、理科を履修し、英語の評定の平均および数学、理科の学習成績の状況が3.5以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 理科の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型 Ⅰ期	教科・科目	650	●				• 大学入学共通テスト（7科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型 Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

工学部 機械工学科

【学位（教育）プログラム名：機械工学】

養成する人材像・教育課程の特色

機械工学科は、幅広い教養と高度な専門知識を備え、ものづくり（機械の創造）を通して実践的な応用力と豊かな創造力を発揮して、人類の幸福と社会の福祉に貢献できる技術者を養成することを教育研究の理念としています。そしてこの理念に基づき、確実な観察力を備え、幅広い知識により問題を的確に分析し、解決に向かって果敢に行動できる技術者を育てることを人材育成の目的としています。そのために一年次には、専門知識を学ぶために必要な基礎科目、さらに機械工学のセンスを養うための専門科目を学びます。専門科目は『材料力学』『流体力学』『熱工学』『機械設計・工作』『機械力学・制御』の主要五分野に分類され、学年が進むにつれて基礎から応用へと有機的・体系的に学んでいきます。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学び、十分な基礎学力を有している人

機械工学科で学ぶ際に必要となる知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に、工学全般を学ぶ上でその言語的役割を担うとも言える数学や「運動する機械や物体を設計するための基礎」となる物理（特に力学）で学ぶ内容は入学するまでに理解しておいてください。また、それらの運動に伴う様々な現象を正しく認識するためには観察力や洞察力も必要です。その土台となる実験や観察の要素が多い教科・科目（理科）にも積極的に取り組んでください。なお、様々な分野の知識についてバランスの取れた専門家となるために、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることが望まれます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

機械工学においては、設計、生産や管理などさまざまな分野のエンジニアとの協働によってものづくりが実現されていきます。その際、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を取りまとめる力が求められます。それゆえ、母語としての日本語の読解力と表現力を高めることや言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理した上でそれを論理的に主張できるよう心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

（C-1）機械工学に関する高度な専門知識と倫理観を身に付けた機械技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

科学技術の飛躍的な発展に伴い、私たちの生活は驚くほど便利で豊かなものになっています。しかしその反面、科学技術の使い方を誤ると人々の生命や環境さえ破壊してしまう危険性を持っています。このことは機械技術者にも強くいえることです。それゆえ機械工学科では、専門知識にとどまらず倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、将来のキャリアアップのために欠かせない自己研鑽の基盤となります。

（C-2）世の中にないものを作り出すことに興味がある人

機械工学では人々の生活を豊かにするものを創造していくことも使命としています。今現在ないものを創造するためには、現在あるものに満足できない、人と異なることをやってみたいといった気持ちが大切です。さらに、未知の問題について積極的に粘り強く取り組めることが必要になります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

機械技術者を取り巻く環境はグローバル化が進展しています。それゆえ、他者と英語によるコミュニケーションをとることも当たり前となっています。さらに、入学後は英語を活用して文献を読解することなども要求されます。それゆえ、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを高く評価しています。他方で、ものづくりは様々な人との協働によって実現されます。それゆえ、学級や学年が離れた様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し活躍した人についても評価しています。

入学者選抜のねらい

機械工学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	B	C-1	C-2	D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	50	●	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・ボランティア活動、課外活動、生徒会活動の成果等に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦／専門高校の工業に関する学科からの志願者は全体の学習成績の状況4.3以上・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）、小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接（基礎学力を確認するための口頭試問含む）により総合的に選考する。
		小 論 文	50		●				
		面　接	100	●	●	●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・数学、理科の履修要件あり・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		小 論 文	総評		●				
		面　接	総評	●	●	●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●					• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。また、基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	20	●	●	●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●					• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・数学の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●					• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●					• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●				●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	1000	●					• 大学入学共通テスト（8科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●				●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●					• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●				●	
	後期日程	教科・科目	200	●					• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●					• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	●	
	社会人	教科・科目	100	●	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		小 論 文	100		●				
		面　接	総評	●	●	●	●	●	
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●					• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●					• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●					• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。なお、面接内容には、専門素養を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

工学部 電気工学科

【学位（教育）プログラム名：電気工学】

養成する人材像・教育課程の特色

人類社会は自然との調和を保ちつつ発展してゆかねばなりません。電気工学科は、電気工学を通じてこれに貢献できる人材、すなわち、電気系の広範囲にわたる知識に加えて高い応用力と実務能力を身につけ、これらの力をふるう者としての社会的責任を自覚した電気技術者を養成することを目標としています。この目標を達成するため、教育課程は、まず、人文社会科学といった一般教養を高めるとともに、数学、物理、化学などの工学系の基礎を学ぶことから始め、それから徐々にエネルギー・電気材料・情報通信・自動制御など電気工学に係る専門知識の習得へと発展していきます。最後に、卒業研究を通してこれらの知識と技術を磨き上げます。時代の変化に合わせて教育内容を見直していますので、常に最新の知識を学ぶことができます。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

電気工学を学ぶに十分な基礎学力を高等学校において身に付けた人

電気工学科で学ぶためには、高等学校において十分な基礎学力を身につけておかなくてはなりません。特に、電気工学は、その基盤を物理学と数学に置いていますから、この２つの学問分野で学ぶ内容を理解しておくことは必須となります。また、入学後は英語文献を読解することが要求されることもあります。さまざまな学問分野は互いにつながって全体として大きな知の体系を作っています。人類社会と自然との調和を尊重できる幅広い視野と安定した判断力を持った電気技術者となるために、入学試験に課されない分野であっても幅広く学んでいることを望みます。

B 技能

言葉を正確に理解し、分かりやすく伝えることができる人

電気技術者として活動するに当たって、他者の意図をその言葉から正確に理解する能力、自分の意思を言葉によって他者に分かりやすく伝える能力は必須です。電気工学の専門家ではない人々に電気工学について理解してもらうように努めることは電気技術者の重要な使命の一つです。また、多数の電気技術者や別分野の技術者が関わる事業に参加して、そこで電気技術者としての能力を十全に発揮するためには、電気工学の知識を備えているだけでなく、他者を論理的に説得する能力や多様な意見をまとめていく技術が求められます。学業の場のみならず日常生活においても、言葉に対する感覚を鋭くし、正確に理解する、分かりやすく伝える能力が必要です。

C 態度・志向性

日々能力を高めていくための情熱と積極性を持つ人

19世紀以降の電気工学に代表される工学技術の飛躍的な進歩は、人類社会に豊かさをもたらす力となりましたが、同時にこの力は自然そのものを破壊してしまいかねないほど大きなものとなりました。現代の技術者には、力をふるう者としての社会的責任を自覚し、人類社会を自然との調和を尊重しつつ発展させてゆくことへの使命感と、それを可能にする創造性、課題探究心が必要です。技術者は日々自己研鑽を積み、能力を高めていかなくてはなりません。情熱と積極性がこれを支えるでしょう。

D その他の能力・資質

英語に関する資格を取得した人や競技会等で顕著な成績をおさめた人

グローバル化が進展している工学の世界においては、技術文書が英語によることはままあることですし、他者と英語でコミュニケーションを行うことも当然のこととなっています。自己研鑽によって英語力を向上させ、資格という形で客観的にこれを証明したことは高い評価の対象となります。また他方で、技術者として社会で活躍するにあたっては、様々な人と関係を結び、協力していかなくてはなりません。したがって、学校内での人間関係を離れて様々な人々と活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても評価しています。

入学者選抜のねらい

電気工学科は、電気工学に興味があり、積極的に専門知識を身に付けて人類社会の発展に貢献したいという意欲を持つ人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、学ぶための基礎学力、グローバル化に対応できる語学力と言葉を理解し伝える力、経験から得られた能力や学びに対する情熱などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	50	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・数学および理科の学習成績の状況・ボランティア活動、課外活動、生徒会活動の成果等に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦／専門高校の工業に関する学科からの志願者は全体の学習成績の状況4.3以上・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）・小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接（口頭試問含む）により総合的に選考する。
		小 論 文	50		●			
		面　接	100	●	●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・数学、理科の履修要件あり・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・数学の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	1000	●				• 大学入学共通テスト（8科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

工学部 電子情報工学科

【学位（教育）プログラム名：電子情報工学】

養成する人材像・教育課程の特色

電子情報通信技術者の使命は、社会や人々の要求にこたえる電子情報システムの開発・構築です。この使命を果たせる技術者を育てることがわれわれの目標です。現在の電子情報システムは、電子装置からソフトウェアまで多岐にわたる要素技術で構成されており、すべての専門知識を大学４年間で修得することは困難です。そこで、電子情報システムの中核となる基礎知識や専門知識を学生の適性に合わせて選択的に学べるように、電子情報工学科では三つのコースを用意しています。電子通信コースでは、電子装置や情報通信技術の専門知識を身に付けます。情報コースでは、情報工学の専門知識を身に付けます。情報システムコースでは、情報工学の専門知識に加えて、システム開発技術についても学びます。どのコースも最新の知識を取り入れて、技術の進歩に対応した教育を目指しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶために必要な基礎学力を有している人

電子情報工学科で専門知識を学ぶために必要な知識としては、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に、工学全般を学ぶときに、形式的記述の道具として用いられる数学や回路設計などで必要となる物理で学ぶ内容は入学するまでに理解しておいてください。また、この分野に限らず世界ではグローバル化が進んでおり、多くの技術文書は英語で書かれていますから、英文を理解する能力も必要になります。また、顧客が求める電子情報システムを開発するためには、顧客の要望を正しく理解して、作ろうとしているシステムの要件を正確にまとめる日本語の能力も必要になります。理科系の科目だけなく、英語や国語などの基礎学力も重要です。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

現在の複雑化して巨大になった電子情報システムの開発は、チームでの協働作業で行われます。また、その過程では顧客や他のチームのエンジニアと協議する場面も多く存在します。その際、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を取りまとめる力が求められます。それゆえ、母語としての日本語の読解力と表現力を高めることや言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自分の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるような人を歓迎します。

C 態度・志向性

電子情報システムに関する高度な専門知識と倫理観を身に付けた情報通信技術者になることを希望し、自主的･能動的に学習をする態度を身に付けている人

社会や組織の機能を情報化することにより、私たちの生活は驚くほど便利で、豊かなものになっていますが、それと同時に情報の漏洩や流出といった大きな危険性も持っています。そのため電子情報システムの構築に携わる技術者にも強い倫理観が求められます。電子情報工学科では専門知識にとどまらず、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。また、この分野の進歩は現在でも速いスピードで続いており、新しい技術やツールが次々に現れています。新しい技術を的確に修得して活用するためには、受け身ではなく自主的・能動的に学習をし続ける態度が重要になります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

工業技術に関する世界ではグローバル化が急速に進展しています。その環境では、他者と英語によるコミュニケーションをとることも当たり前となっています。さらに、入学後は英語を活用して文献を読解することなども要求されます。そのため、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを、高く評価しています。また、電子情報システムの構築は、文化や価値観が異なる多様な人たちとの関わりの中で進められます。そのため、学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、評価しています。

入学者選抜のねらい

電子情報工学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。
そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・高度な資格、文化、社会、スポーツにおける活動の成果に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦／専門高校の工業に関する学科からの志願者は全体の学習成績の状況4.3以上・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）、小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接（基礎学力を確認する口頭試問含む）により総合的に選考する。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	100		●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・数学、理科の履修要件あり・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・数学の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	1000	●				• 大学入学共通テスト（8科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

工学部 化学システム工学科

【学位（教育）プログラム名：化学システム工学】

養成する人材像・教育課程の特色

化学システム工学科は、国内外での化学技術・環境技術に関連する広い分野で活躍できる柔軟な思考力と総合力を兼ね備えた化学技術者を養成することを目標とします。そのため、化学工学や分子工学に関する基礎学力や高度な専門能力が身に付くよう、学生の興味や関心に合わせ、２年次より、化学工業で使用する機器・装置に関する基本的な原理や技術を修得する化学工学コース（日本技術者教育認定機構認定コース）、分子や結晶などの微視的な視点に基づき無機・有機・高分子・生体関連などの物質・材料に関する基礎や技術を修得する分子工学コースを用意しています。いずれのコースも最新の研究成果や実践的な内容を反映させ、情報技術や社会の変化に対応した教育を目指しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

化学システム工学科で学ぶ際に必要となる知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。化学の知識・理解はもちろんのこと、工学全般を学ぶ上で言語的役割を担う数学（指数関数や対数関数およびその微積分まで）や、化学物質の加熱や加圧などの操作やエネルギーの理解に必要な物理の基礎知識（特に力学・熱）は入学するまでにしっかり学習しておいて下さい。また、化学は物理や生物のどの分野とも関連しますので、理科の科目は積極的に取り組んで下さい。なお、バランスの取れた専門家となるために、入試科目に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

化学技術者は、様々な分野の研究者やエンジニアと協働して新規化学プロセスの開発やプラント建設に携わります。その際、明確な根拠に基づいて自分の考えを分かりやすく論理的に説明する能力、多様な意見を取りまとめる力が求められます。そのためには、まず日本語の読解力と表現力を高めること、言葉に対する感覚を磨くことが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞や書籍など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう、心がけてください。また、自分自身の考えを伝えるための対話能力も必要になります。

C 態度・志向性

化学や化学工学に関する専門知識と倫理観を身に付けた化学技術者や環境技術者を目指す人

現在、多くの化学物質・化学材料により、私たちの生活は驚くほど便利で豊かなものになっています。その反面、化学物質の扱い方や化学技術の使い方を誤ると人々の生命や環境さえ破壊する危険性を持っています。従って、化学技術者は安全に対する強い意識と責任感、倫理観を持つ必要があります。このため、化学システム工学科では、専門知識にとどまらず、安全に対する意識や倫理観を持ち、化学技術により積極的に社会へ貢献しようという強い志を持った人を歓迎します。

D その他の能力・資質

英語の資格を取得した人、課外活動（体育・文化・ボランティア）で顕著な成果を収めた人

化学技術者の活躍の場はグローバルです。それゆえ、他者と英語によるコミュニケーションを取ることは当たり前になっています。さらに、入学後は専門的な英語文献の読解も要求されます。そのため、英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を総合的に活用できる人を高く評価しています。また、一つのことに集中して高い能力を身に付けた人は様々な分野でリーダーになる素養があると評価されています。このため、体育や文化、ボランティアなどの課外活動に積極的に参加し、高い成績を収めた人、著しい成果をあげた人も高く評価しています。

入学者選抜のねらい

化学システム工学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた理科や数学を中心とする基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・数学の学習成績の状況、または物理の評定の平均、または化学の評定の平均に関する出願要件・課外活動、生徒会活動、ボランティア活動の成果等に関する出願要件などあり・専願制・自己推薦／専門高校の工業に関する学科からの志願者は全体の学習成績の状況4.3以上・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）、小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 口頭試問では、主に理系科目および化学システム工学に関する基礎を問う。受験生には口頭による説明だけではなく、ホワイトボードに数式などを書いて説明することも求める。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・数学、理科の履修要件あり・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小論文	総評		●			
		面接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・数学の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	1000	●				• 大学入学共通テスト（8科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●	●	
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

工学部 社会デザイン工学科

【学位（教育）プログラム名：社会デザイン工学】

養成する人材像・教育課程の特色

自然環境と調和した生活環境の創造に貢献する人材を養成することを目標としています。この目標に基づき、地球及び地域の環境問題を直視して自然と調和しながら地震や洪水などの災害に強い社会資本整備を行うための建設技術を習得し、強い責任感と倫理感を持って次世代に豊かな生活や文化を継承し続けられる社会のデザインに取り組み、社会で活躍できる人材養成を行います。これを実現するために、建設工学各分野（構造系、水理系、地盤系、計画系、材料・施工系、環境系）を学ぶプロセスでは、基礎的な知識を学ぶ導入科目から、より高度な専門知識まで体系的に学べるようになっています。また、多くの実践的な実験・実習科目も組み込まれており、専門的な知識の習得のみならず実社会で通用する土木技術者を養成するための教育課程となっています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

社会デザイン工学科で学ぶ際に必要となる知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に、工学全般を学ぶうえで、その言語的役割を担うとも言える数学や安全な構造物を設計するための基礎となる物理（特に力学）で学ぶ内容は入学するまでに理解しておいてください。また、社会基盤整備と社会の発展と環境への影響に関係する現象を正しく認識するためには「観察力・俯瞰力（幅広い視野で物事を捉える力）・洞察力」も必要です。バランスの取れた専門家となるために、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

社会の問題を自ら調べ倫理的思考に基づいて、自分の意見を論理的に説明することができる人

社会デザインは、計画、設計、建設、維持管理などさまざまな分野の技術者との協働によって実現されています。その際、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を取りまとめる力が求められます。それゆえ、日本語の読解力と表現力を高めることや専門用語を適切に扱えることが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を倫理的思考の上で整理し、それを論理的に主張できるよう、心がけてください。

C 態度・志向性

高度な専門知識と倫理観を身に付けた技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

科学技術の飛躍的な発展に伴い、私たちの生活は驚くほど便利で、豊かなものになっていますが、その反面、科学技術の使い方を誤ると人々の生命や環境さえ破壊してしまう危険性を持っています。このことは社会デザイン技術者にも強くいえることです。それゆえ、社会デザイン工学科では、専門知識にとどまらず、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、専門家として働いていくうえで欠かせない自己研鑽を積む上での基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により英語の資格を取得した人や課外活動等で顕著な成績をおさめた人

建設技術者を取り巻く環境はグローバル化が進展しています。それゆえ、他者と英語によるコミュニケーションをとることも当たり前となっています。さらに、入学後は英語を活用して文献を読解することなども要求されます。それゆえ、読む・聞く・話す・書くといった英語の４技能を総合的に活用できることを、高く評価しています。他方で、社会デザインは人々の文化や生活に根付いた存在です。それゆえ、学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても、評価しています。

入学者選抜のねらい

社会デザイン工学科では、建設工学に対する興味を持ち、『人々が、安全かつ快適に暮らせるための社会基盤整備を実現したい』との想いを持った入学者を求めています。

そこで、建設工学を学ぶために必要となる基礎学力はもちろんのこと、建設工学を学ぶ意欲や資質などからも受験者を評価し、多面的・総合的に入学者を選抜する多様な試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・数学または理科の学習成績の状況・ボランティア活動、課外活動、生徒会活動の成果等に関する出願要件あり・専願制・自己推薦／専門高校の工業に関する学科からの志願者は、全体の学習成績の状況4.3以上・数学または理科の学習成績の状況に関する出願要件あり・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）、小論文により総合的に選考する。 • ［二次選考］面接（口頭試問を含む）により総合的に選考する。 • 口頭試問では、志望動機、本学科で学びたいこと、卒業後の進路希望などを問う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	100		●	●		
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・数学、理科の履修要件あり・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・数学の得点を1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	1000	●				• 大学入学共通テスト（8科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

工学部 建築学科

【学位（教育）プログラム名：建築学科】

養成する人材像・教育課程の特色

建築学科は、美しく、快適かつ安全で、豊かな建築空間・都市空間を創造し、社会的・技術的ニーズに適切に応えられる建築技術者を育てることを目標とします。そのために教育課程では、人文社会科学や数学、物理などの基礎的な教養を深めた上で、［構造・材料］［環境・設備］［歴史・意匠］［計画・設計］の四分野において建築技術者に求められる幅広い総合的な知識を習得するとともに、学生の個性と将来目標に合わせて高度で実践的な専門能力を身に付けられるようになっています。4年次の卒業計画を含む高次の専門科目では最新の研究成果を取り入れ、地域と連携しながら、社会の変化や技術の進化に対応する教育を目指しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

建築学科で学ぶ際に必要となる知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に、工学全般を学ぶうえで、その言語的役割を担うとも言える数学や壊れにくい建物とするための基礎となる物理（特に力学）で学ぶ内容は入学までに理解しておいてください。また、建築物に関係する現象を正しく認識するためには、観察力や洞察力が必要です。そのためには、実験や観察によって事物・現象をとらえる理科や造形活動を通して表現力を養う美術にも積極的に取り組んでください。なお、バランスの取れた専門家となるために、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望みます。

B 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

建築は、建築家と構造や設備など様々な分野の技術者が協働し、各分野の技術や技能を一つの建物に統合することで実現されています。その際、確かな専門的知識に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明する力や多様な意見を取りまとめる力が求められます。それゆえ、母語としての日本語の読解力と表現力を高めることが必要です。高等学校での国語を中心とする学習はもちろん、日頃から、新聞の社説や論説など身近なところにある論理的な文章を読み、自身の意見を整理したうえで、それを論理的に主張できるよう心がけてください。また、友人や先生、家族との対話を大切にしてください。

C 態度・志向性

建築学に関する高度な専門知識と倫理観を身に付けた建築技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人

科学技術の飛躍的な発展に伴い、私たちの生活は驚くほど便利で、豊かなものになっていますが、その反面、科学技術の使い方を誤ると人々の生命や環境さえ破壊してしまう危険性を持っています。このことは建築技術者にも強くいえることです。それゆえ、建築学科では、専門知識にとどまらず、倫理観や社会へ貢献しようという強い使命感を持った人を歓迎します。このような倫理観や使命感は、専門家として働いていくうえで欠かせない自己研鑽を積む上での基盤ともなります。

D その他の能力・資質

自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・文化活動等で顕著な成績をおさめた人

建築技術者には他者を理解し協力して問題を解決するコミュニケーション能力が求められます。さらに、モノづくりに国境はなく英語による対話も必要となります。学生時代に学内外の様々な人たちと積極的に対話し交流することが大切です。それゆえ、建築学科では英語の資格を取得し、読む・聞く・話す・書くといった4技能を総合的に活用できることを高く評価します。また、学級や学年を離れて様々な人たちと活動を共にする課外活動に積極的に参加し、活躍した人についても評価します。

入学者選抜のねらい

建築学科は、技術者として社会で活躍する目標を抱き、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な学びの背景の中で様々な能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・数学または理科の学習成績の状況に関する要件・ボランティア活動、課外活動、生徒会活動の成果等に関する要件などあり・専願制・自己推薦／専門高校の工業に関する学科からの志願者は全体の学習成績の状況4.3以上・数学または理科の学習成績の状況に関する出願要件あり・専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］事前にスケッチの課題テーマを告知し、2次選考当日にスケッチの持参を要請する。面接（スケッチに関する口頭試問含む）により総合的に選考する。
		面　接	総評		●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・数学、理科の履修要件あり・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により総合的に選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 英語・数学の得点をそれぞれ1.5倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型 Ⅰ期	教科・科目	1000	●				• 大学入学共通テスト（8科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型 Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●		
	学部留学生（前期日程）	教科・科目	750	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 教科・科目については日本留学試験（3科目）の得点、提出書類については指定する英語外部試験の結果を含み、総合的に選考する。
		提出書類	総評	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●		
	編・転・学士	教科・共通教育科目	300	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 編・転入試は、個別試験（3科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 学士入試は、面接のほかに筆記試験を課すことがある。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。なお、面接内容には、専門的素養を含む。
		面　接	総評		●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

医学部 医学科

【学位（教育）プログラム名：医学】

養成する人材像・教育課程の特色

医療のプロフェッショナルとしての誇りと広い視野を持ち、患者に寄り添い、地域社会に貢献する医師の育成が医学科の目標です。基本的医療専門知識と技術を身に付けるための基礎・臨床医学教育科目を基盤に、低学年からの早期臨床医学体験、共通教育、研究室配属を通し、医療人としての幅広い教養、生命倫理の重要性、科学的探究心、論理的思考力を修得します。高いコミュニケーション能力、グローバルな視野で地域に貢献できるように英語での医療面接も行います。高学年の診療参加型実習で病歴聴取、身体診察・手技など診察技能や診察所見に基づく臨床推論能力の向上をめざし、多職種連携教育、健康行動科学の重要性を追求します。また、医学科では「人が人を治療する」という原点に立ち、高い倫理観と豊かな人間性を併せ持った医師・医学研究者の育成を目指します。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を学修し、医師になるための十分な基礎学力を有する人

医学科で学ぶ際に必要となる前提的な知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基礎的・応用可能な知識があげられます。特に医学科では科学的探求心と論理的思考力が必要となるので、『数学』と『理科』を入学までに十分に理解しておいてください。また、将来はグローバルな視点で医療に貢献できるよう、『英語』に積極的に取り組んでください。なお、バランスの取れた医師になるために、入学試験に課せられない科目であっても幅広く学んでいることを望んでいます。

B 技能

自らの視点で物事を解釈・表現し、他者と良好な関係を築く能力を有する人

医学科の学生は、卒業時に患者とその家族、医療者、関係機関と円滑なコミュニケーションを実践し、患者中心の医療、医療チームの一員としての自覚、多職種連携に取り組む必要があります。そのために日頃から自尊心と高い倫理観をもち、他者と信頼関係を積極的に築くように心がけてください。確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや、多様な意見を取りまとめる日本語の読解力や表現力を高めること、言葉に対する感覚を磨くことが必要です。

C 態度・志向性

高い倫理観を有し他者を尊重でき、自律学習能力と自己研鑽を継続できる人

医療における医師と患者関係は、かつての医師による一方的な医師主導型医療から、両者が納得いくまで話し合って最良の方法を選択し、協力して医療に当たる相互参加型医療、患者中心型医療へ変遷しています。したがって、これからの医師は、医学知識、医療技術だけでなく、多様な背景をもつ患者の自己決定権を尊重して状況に合わせて様々な提案を行うとともに、高い倫理観と豊かな人間性を併せ持たねばなりません。このような使命感を持った人を歓迎します。

D その他の能力・資質

国際的な医療制度に関心を持ち、公衆衛生学的見地から地域社会に貢献する人

医療のグローバル化により治療の対象となる人は国籍・人種も多様化しています。英語によるコミュニケーションをとるための読む・聞く・話す・書くといった英語の4技能を総合的に活用できることは重要です。将来、海外からの患者の診療、医療者との交流が行え、国際保健や医療制度等の社会的問題の情報を積極的に収集できる能力を持った人を歓迎します。卒業後、地域の医療機関、保健、福祉、行政と連携でき、地域医療に貢献する能力が必要です。

入学者選抜のねらい

医学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.7以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。 • 調査書等の提出書類は、面接評価に活用する。 • 受験生4～6人に対し、面接者3人のグループ面接（40分程度）を行い、医師としての適性（コミュニケーション能力、表現力、倫理観、使命感）を評価する。従って、個別試験（2科目）の得点の如何に関わらず不合格となることがある。 • 個人を特定し、質問や確認を行いたい場合に、個人面接を実施することがある。なお、個人面接では、グループ面接の評価を考慮したうえ、最終的な評価を行う。
		面　接	20		●	●	●	
	地域枠	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者・福岡大学で卒後研修を行う者・九州・山口各県内の出身者・全体の学習成績の状況3.7以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。 • 調査書等の提出書類は、面接評価に活用する。 • 受験生4～6人に対し、面接者3人のグループ面接（40分程度）を行い、医師としての適性（コミュニケーション能力、表現力、倫理観、使命感）を評価する。従って、個別試験（2科目）の得点の如何に関わらず不合格となることがある。 • 個人を特定し、質問や確認を行いたい場合に、個人面接を実施することがある。なお、個人面接では、グループ面接の評価を考慮したうえ、最終的な評価を行う。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• ［一次選考］個別試験（4科目）の得点により、選考する。 • ［二次選考］一次選考（個別試験4科目）の得点と面接の評価点により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。 • 調査書等の提出書類・小論文は、面接評価に活用する。なお、小論文は一次選考日に課す。 • 受験生4～6人に対し、面接者3人のグループ面接（40分程度）を行い、医師としての適性（コミュニケーション能力、表現力、倫理観、使命感）を評価する。従って、一次選考の得点の如何に関わらず不合格となることがある。 • 個人を特定し、質問や確認を行いたい場合に、個人面接を実施することがある。なお、個人面接では、グループ面接の評価を考慮したうえ、最終的な評価を行う。
		面　接	50		●	●	●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	700	●				• ［一次選考］大学入学共通テスト（6科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。 • ［二次選考］一次選考（大学入学共通テスト6科目）の得点と面接の評価点により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。 • 調査書等の提出書類は、面接評価に活用する。 • 受験生4～6人に対し、面接者3人のグループ面接（40分程度）を行い、医師としての適性（コミュニケーション能力、表現力、倫理観、使命感）を評価する。従って、一次選考の得点の如何に関わらず不合格となることがある。 • 個人を特定し、質問や確認を行いたい場合に、個人面接を実施することがある。なお、個人面接では、グループ面接の評価を考慮したうえ、最終的な評価を行う。
		（英語資格）	★	●			●	
		面　接	50		●	●	●	
特別選抜	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●	●			• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、日本語能力を評価する。 • 面接は、個人面接で医師としての適性（コミュニケーション能力、表現力、倫理観、使命感）を評価する。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

医学部 看護学科

【学位（教育）プログラム名：看護学】

養成する人材像・教育課程の特色

人々の健康を保持増進し、病気を持ちながら生活する人々に寄り添い、その人らしく生きることを支え、さらに地域・国際社会に貢献できる看護専門職者を育てることが私達の目標です。そのために、総合大学としての特徴を生かし、幅広い教養と知識を修得するための科目や、看護の基盤となる人間・健康・環境について多角的に理解する科目を配置しています。また、多様な場で看護を実践する能力を身につけるために、大学病院等で臨地実習を行っています。さらに、看護専門職者として幅広い活躍の場が得られるように、選択制で保健師履修コースと養護教諭一種・高等学校教諭一種（看護）の教職課程を設置しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学習しており、看護学を学ぶために十分な基礎学力を有している人

看護学科で学ぶ際に必要となる前提的な知識として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基本的な知識が挙げられます。特に看護学全般を学ぶ上で、実社会で活用できる「国語」の学習を踏まえて、文章や資料等を的確に理解する能力や人間の生命現象や物質について理解するための基本となる「生物」や「化学」、「数学」は入学までに理解しておいてください。なお、看護専門職者を目指すためには、入学試験に課されない科目であっても幅広く学んでいることを望みます。

B 技能

自らの視点で物事を順序立てて説明し、他者と良好な人間関係を築くことができる人

看護は、人と人とのかかわりの中で実践されます。日ごろから良好な人間関係を築くことのできるコミュニケーション能力が求められます。また、看護実践では、様々な分野の医療専門職者との協働が不可欠であり、その際、確かな根拠に基づいて自分の考えをわかりやすく論理的に説明することや多様な意見を取りまとめる力が求められます。特に日本語の読解力や表現力を高めること、言葉に対する感覚を磨くことが必要です。自分を大切にするとともに家族、友人などの他者を理解し、日頃から周囲の人や場に応じて積極的な交流を心がけてください。

C 態度・志向性

人々の健康と生活を支える看護専門職を目指す高い志と倫理観をもち、自ら学び、自己の成長を目指し、挑戦しようとする人

医療技術の進歩・少子高齢社会を迎え、病院や地域・家庭で病気や障がいをもちながらも、その人らしく生活する人々が増加しています。このような社会の状況に対応するために、生命や人間の権利を尊重できる高い倫理観をもち、社会に貢献しようという強い使命感をもった人を歓迎します。倫理観や使命感は、看護専門職者として働いていくうえで欠かせない信頼関係形成の基盤となります。

D その他の能力・資質

英語の資格を取得した人や課外活動・ボランティア活動に積極的・継続的に参加し活躍した人

社会のグローバル化に伴い、看護の対象となる人は国籍・人種も多様化しています。英語によるコミュニケーションをとるための読む・聞く・話す・書くといった4技能を総合的に活用できることは重要です。また、看護の対象は胎児から高齢者まであらゆる発達の段階にある人です。さらに、災害時などあらゆる場面で、看護専門職者の果たす役割は大きくなってきています。それゆえ、さまざまな人たちと活動を共にする課外活動や地域のボランティアに積極的・継続的に参加し、活動している人について高く評価します。

入学者選抜のねらい

看護学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、人とのかかわりを大切にできるさまざまな能力を有する人材を広く受け入れます。
そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 理科の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	420	●				• 大学入学共通テスト（5科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	100	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文では、文章を読む力や書く力といった基礎学力と論理的思考力を評価する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	100		●			
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●	●			• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・個別試験（1科目）の得点・提出書類・小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、日本語能力を評価する。 • 面接は、個人面接で看護師としての適性（コミュニケーション能力、表現力、倫理観、使命感）を評価する。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

薬学部 薬学科

【学位（教育）プログラム名：薬学】

養成する人材像・教育課程の特色

薬学部薬学科は、『医薬品の開発や安全使用に関する基礎的、臨床的先端研究の推進をもって国民の健康と福祉に貢献すること』を教育研究の理念としています。この理念に基づき、『基礎科学の総合を基盤としながら、医療人としての倫理観、使命感そして責任感を十分に理解し、高度な薬学の知識・技能を身につけ、生涯にわたり自己成長できる薬剤師、並びに教育・研究者の養成』を目指しています。このための教育課程は、少人数教育を基本とし、低学年時に基礎的な薬学科目を、高学年時により薬剤師として必要とされる臨床的技能を含めた専門性の高い薬学科目を配置することで、確かな学力・技能の向上に配慮しています。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修しており、探究心旺盛で科学に関する素養を有する人

薬学科の講義を理解するためには、高等学校までに学習する教科の基本的な知識は重要です。特に、生物・化学・物理の知識は薬学において必要不可欠なので、入学までに十分習得しておくことが望まれます。物事の現象に対して、『なぜ？』と疑問に思うことが学問の前提です。高校生の間に、身の回りの様々な疑問・問題点を自分自身で積極的に調査し、その答えを導き出す姿勢、つまり探究心を育てておくことが重要です。なお、薬学科では将来優れた医療人となるために、入学試験に課されていない科目であっても幅広くしっかりと学んでおくことを望んでいます。

B 技能

患者ならびに医師をはじめとする医療関係者と適切に連携できるコミュニケーション能力を備えている人

医療は、医師をはじめとする多くの医療関係者との密接な連携により実現されています。その際、確かな根拠に基づいた自分の考えを、相手にわかりやすく簡潔に説明することが重要です。また、患者やその家族に対して薬や症状の情報を説明する際においても同様です。それゆえ、日本語の読解力や表現力を高めることが必要であり、高等学校での国語を中心とした教科により習得する能力は薬学科でも不可欠になります。日頃から、友人や先生、家族と積極的にコミュニケーションをとり、他人の考えを的確に理解し、自分の考えを論理的に主張できるよう心がけておくことを望んでいます。

C 態度・志向性

思いやり、倫理観、使命感そして強い責任感を備えている人

将来の医療人として、他人の考えや気持ちに思いを寄せることができるようになって下さい。また薬学科を卒業すると、将来的に人の命に携わる職業に就く可能性が高いでしょう。薬剤師や薬学研究者は、少しでも使い方を誤ると人の生死も左右してしまうような薬物を扱う仕事です。それゆえ、常に相手のことを考え行動する高い倫理観、自らが患者の治療に携わっているとの使命感や責任感を持つことが重要です。これらの多くは高等学校の授業で直接的に習うものではないので、部活動などの学校生活や日常の生活を通して身につけておくことを望んでいます。

D その他の能力・資質

医療業界のグローバル化に対応するため英語の資格を取得した人やスポーツや生活習慣を通じて、心身の健康維持・増進を目指す姿勢を持っている人

医療業界を取り巻く環境は、グローバル化が進んでいます。患者も日本人のみとは限らず外国人も増えています。また、医療関係の最新論文の多くは英語で書かれています。それゆえ、薬学科では英語の4技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に活用できる人を望んでいます。加えて将来医療人になる者が自身の健康に無関心では、患者に対して説得力のある医療を遂行できるとは思えません。よって、薬学科では普段から自身の健康維持・向上に心がけている人を望んでいます。

入学者選抜のねらい

薬学部薬学科は、基礎科学の総合を基盤としながら、将来医療人になるべく倫理観、使命感そして責任感を十分に理解できる人材を国内外から広く受け入れます。そのために、これまでに培われた基礎学力、活動や経験を通じて身につけた能力、技能、学ぶ意欲を、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
学校推薦型選抜	A方式	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上、専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 理科の得点を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	300	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 2/5は理科の得点を2倍、英語と数学の得点を0.5倍する。［傾斜配点］ 2/3及び2/11は、3科目各100点満点で選考する。
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	600	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	650	●				• 大学入学共通テスト（7科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	500	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅲ期	教科・科目	400	●				• ［一次選考］大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。 • ［二次選考］一次選考（大学入学共通テスト3科目）の得点と面接の評価点により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。 • 調査書等の提出書類は、面接評価に活用する。 • 受験生1人に対し、面接者3人の個人面接（10分程度）を行い、医療人である薬剤師としての適性（コミュニケーション能力、倫理観、使命感）を評価する。従って、一次選考の得点の如何に関わらず不合格となることがある。
		（英語資格）	★	●			●	
		面　接	50		●	●	●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点により、選考する。
特別選抜	帰国生徒	教科・科目	200	●				• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。また、理科に関する知識や基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	社会人	教科・科目	100	●				• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。また、理科に関する知識や基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		小 論 文	100		●			
		面　接	100	●	●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	教科・科目	100	●				• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験と個別試験（1科目）の得点・提出書類・小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、自己の意見を明確に日本語の文章にて表現できているかを評価する。 • 面接は、提出書類や評価項目に基づいて行う。また、理科に関する知識や基礎学力を確認するための口頭試問を含む。
		小 論 文	総評		●			
		面　接	総評	●	●	●		

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

スポーツ科学部
スポーツ科学科

【学位（教育）プログラム名：スポーツ科学】

養成する人材像・教育課程の特色

スポーツ科学科は、競技力や運動能力の向上を目指したスポーツ医科学分野の知識を有し、適切なスポーツの実践と論理的指導ができる人材を養成することを目的としています。そのために、スポーツ・運動に関する理論と実践を統合した教育科目を体系的に配し、学生の興味・関心及び卒業後の進路に対応した**4つのコース**※を用意しています。自身の競技力向上とアスリートやコーチを目指すためのアスリート・コーチコース、アスリートのサポートを担うためのトレーナーコース、現役で中学校・高等学校の保健体育教員採用試験合格を目指すための保健体育教員コース、地域社会における幅広いスポーツ指導者として活躍するための生涯スポーツ教育コースがあり、多様な社会ニーズに対応したスポーツ科学の在り方を探求しています。

※カリキュラム改正を検討しており、コース名称等を変更する可能性があります。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

競技スポーツを科学的に捉えるための基礎学力を有している人

競技力や運動能力を向上させるためには、ただ一生懸命頑張って練習するだけでは限界があり、スポーツを科学的に捉える必要があります。例えば、解剖学や力学、生理学などの知識をベースに、どうすればより理想的な動作に近づけるか、けがを予防しながら高いパフォーマンスを発揮できるか科学的検証を行います。また、海外の文献からヒントを得たり、文化的側面を学ぶことも必要でしょう。このように、競技スポーツの実践は、高等学校までに学んだ幅広い知識（数学・理科・社会・英語）と身体運動の融合が必要不可欠なのです。よって、競技スポーツの経験はもちろんのこと、試験科目に課されていない科目であっても幅広く学んでいる人を歓迎します。

B 技能

競技スポーツの経験を有し、競技力向上のために科学的に課題を分析できる人

高等学校までは指導者の助言に従い、競技スポーツを実践してきた人が多いかもしれません。しかし、大学では、学生自身が、競技に関する知識と分析に基づいて、主体的に競技力向上を目指していきます。よって、スポーツ科学科に配した多くの教育科目を通じて、主体的に知識を獲得し分析できる素養を持った人を求めます。また、指導者に助言を求めるにしても、自身の今の状態や課題について分析（解釈）したことを、的確に伝える表現力が必要です。このように、スポーツを単なる身体活動や能力と捉えず、自身の身体と日々向かいながら感じ考え実践できる、日常での取り組みを大切にする人を歓迎します。

C 態度・志向性

スポーツの場面以外でも、スポーツの精神を体現化し、スポーツの素晴らしさを伝えたいと考える人

スポーツ選手には、競技場面だけでなく日常生活の中でも他の人々の模範となる態度が期待されます。そのため、高度な競技実績を有するスポーツ選手は、常に社会の目を意識する必要があります。日常生活でもスポーツが持つ公平性や公正さ、誠実さを実践する態度を強く求めます。また、教育としてのスポーツは、このような態度を育むことができると考えられています。よって、大学卒業後もスポーツを通じて身につけた倫理観や指導力を発揮し、スポーツの素晴らしさを広く社会に伝えたいと考える人を歓迎します。

D その他の能力・資質

学校生活全般でリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人や英語資格の取得等に努めた人

スポーツの場面では、集団を支え導くようなリーダーシップ能力や、様々な意見や考えを人に伝えるコミュニケーション能力が必要です。また、これらの能力は、日本代表選手やプロスポーツ選手、トレーナーや保健体育教員、スポーツ指導者や公務員や企業人、いかなる立場においても役立ちます。よって、スポーツの場面に限らず、生徒会活動や学校行事、日常の学校生活においてリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人を高く評価します。また、スポーツ界は国際化が進展していることから、英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）を総合的に活用できる人も評価します。

入学者選抜のねらい

スポーツ科学科では、競技スポーツの実践経験と高等学校までの学びを融合させ、競技力向上を目的とするスポーツ科学の発展に寄与しようとする人材を広く受け入れます。

そのため、これまでに培われた学力、活動や経験を通じて身につけた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●			• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書・スポーツ実績証明書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）及び面接（自己PRを含む）により総合的に選考する。 • 体力・運動能力試験では5種目のうち記録上位の3種目を評価の対象とし、専門競技における競技歴についても考慮する。 • 面接は提出書類・評価項目に基づいて行う。
		体育実技	100		●	●		
		面　接	総評		●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・全体の学習成績の状況3.0以上・専願制・自己推薦、クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、論理的思考力・表現力を評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評	●	●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式［科目型］	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
	A方式［実技型］	体育実技	100		●	●		• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.0以上・専願制・学校長推薦） • 面接・体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）により総合的に選考する。 • 体力・運動能力試験では5種目のうち記録上位の3種目を評価の対象とし、専門競技における競技歴についても考慮する。 • 面接は提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20	●	●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 3科目のうち、最高得点の1科目を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程［実技型］	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）と体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）の得点により、選考する。 • 専門実技試験では専門競技における競技歴も考慮したうえ、専門競技の基礎力を評価する。 • 体力・運動能力試験では5種目のうち記録上位の3種目を評価の対象とし、専門競技における競技歴についても考慮する。
		体育実技	100		●	●		
	前期日程［小論文型］	教科・科目	200	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 小論文は、論理的思考力・表現力を評価する。また、調査書の評価も含む。
		小 論 文	100	●	●			
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	400	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点と調査書により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点を点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
		提出書類	100		●			
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点を点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点と調査書により、選考する。
		提出書類	50		●			
特別選抜	帰国生徒	体育実技	100		●	●		• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	社会人	体育実技	100		●	●		• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	体育実技	100		●	●		• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	スポーツ特別募集	体育実技	100		●	●		• 全国規模の大会等で優秀な実績を示した者または日本代表として選抜された者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.0以上） • 調査書・面接（50分程度の作文含む）・体育実技（専門実技試験）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	編・転・学士	教科・科目	100	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 個別試験（1科目）の得点・体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）・面接・提出書類により総合的に選考する。
		体育実技	100		●	●	●	
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

スポーツ科学部
健康運動科学科

【学位（教育）プログラム名：健康運動科学】

養成する人材像・教育課程の特色

健康運動科学科は、心身の健康の回復や保持増進を目指した医科学分野の知識を有し、創造的・実践的な指導ができる人材を養成することを目的としています。そのために、健康運動・レクリエーションに関する理論と実践を統合した教育科目を体系的に配し、学生の興味・関心及び卒業後の進路に対応した**3つのコース**※を用意しています。健康運動関連資格取得を目指す健康運動指導者コース、現役で中学校・高等学校の保健体育教員採用試験合格を目指すための保健体育教員コース、地域社会における幅広いスポーツ指導者として活躍するための生涯スポーツ教育コースがあり、多様な社会ニーズに対応した健康運動科学の在り方を探求しています。

※カリキュラム改正を検討しており、コース名称等を変更する可能性があります。

求める人材像（求める能力）

A 知識・理解

生涯スポーツを科学的に捉えるための基礎学力を有している人

心身の健康の回復や保持増進を目的とする健康運動やレクリエーションにおいては、有効性に関する科学的検証が重視されます。例えば、解剖学や力学、生理学などの知識をベースに、対象者（体力レベル）にあわせた安全で効果的な運動や指導法を検証し実践します。また、海外の文献からヒントを得たり、文化的側面を学ぶことも必要でしょう。このように、生涯スポーツの実践は、高等学校までに学んだ幅広い知識（数学・理科・社会・英語）と身体運動の融合が必要不可欠なのです。よって、生涯スポーツに対する興味・関心はもちろんのこと、試験科目に課されていない科目であっても幅広く学んでいる人を歓迎します。

B 技能

生涯スポーツの経験を有し、健康の回復や保持増進について科学的に分析できる人

高等学校までは受動的な学びでも成長出来るかもしれません。しかし、大学では学生自身が、健康につながる生涯スポーツに関する知識と分析に基づいて、主体的に健康の回復や保持増進のための運動の在り方を研究します。よって、健康運動科学科に配した多くの教育科目を通じて、主体的に知識を獲得し分析できる素養を持った人を求めます。また、教員に助言を求めるにしても、自身の具体的な疑問や分析（解釈）したことを、的確に伝える表現力が必要です。このように、スポーツを単なる身体活動と捉えず、心身の健康との関わりについて感じ考え実践できる、日常での取り組みを大切にする人を歓迎します。

C 態度・志向性

スポーツの場面以外でも、スポーツの精神を体現化し、スポーツの素晴らしさを伝えたいと考える人

スポーツと関わる人には、スポーツの場面だけでなく日常生活の中でも他の人々の模範となる態度が期待されます。そのため、日常生活でもスポーツが持つ公平性や公正さ、誠実さを実践する態度を強く求めます。また、教育としてのスポーツは、このような態度を育むことができると考えられています。よって、大学卒業後もスポーツを通じて身につけた倫理観や指導力を発揮し、スポーツの素晴らしさを広く社会に伝えたいと考える人を歓迎します。

D その他の能力・資質

学校生活全般でリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人や英語資格の取得等に努めた人

スポーツの場面では、集団を支え導くようなリーダーシップ能力や、様々な意見や考えを人に伝えるコミュニケーション能力が必要です。また、これらの能力は、日本代表選手やプロスポーツ選手、トレーナーや保健体育教員、スポーツ指導者や公務員や企業人、いかなる立場においても役立ちます。よって、スポーツの場面に限らず、生徒会活動や学校行事、日常の学校生活においてリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人を高く評価します。また、スポーツ界は国際化が進展していることから、英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）を総合的に活用できる人も評価します。

入学者選抜のねらい

健康運動科学科では、生涯スポーツの実践経験と高等学校までの学びを融合させ、健康の回復や保持増進を目的とするスポーツ科学の発展に寄与しようとする人材を広く受け入れます。

そのため、これまでに培われた学力、活動や経験を通じて身につけた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。

入学試験での評価

入試制度		選考方法	配点	評価項目 A	評価項目 B	評価項目 C	評価項目 D	合否判定の方法
総合型選抜	総合型	提出書類	総評	●	●			• 入学を強く希望する者を対象とする。（専願制・自己推薦） • ［一次選考］提出書類（志望理由書・自己推薦書・調査書）により総合的に選考する。 • ［二次選考］グループディスカッション及び面接（自己PRを含む）により総合的に選考する。 • 面接は提出書類・評価項目に基づいて行う。
		グループディスカッション	総評		●	●	●	
		面　接	総評		●	●	●	
	アスリート特別	提出書類	総評	●	●	●	●	• 入学を強く希望する者を対象とする。（競技成績に関する基準あり・学習成績の状況3.0以上・専願制・自己推薦・クラブ部長等推薦） • ［一次選考］提出書類（調査書・自己推薦書・推薦状・競技歴証明資料）により選考する。 • ［二次選考］小論文・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、論理的思考力・表現力を評価する。 • 面接は、提出書類・小論文・評価項目に基づいて行う。
		小 論 文	総評	●	●			
		面　接	総評		●	●	●	
学校推薦型選抜	A方式［科目型］	教科・科目	100	●				• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.5以上・専願制・学校長推薦） • 個別試験（2科目）の得点・面接により総合的に選考する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20		●	●	●	
	A方式［実技型］	体育実技	100		●	●		• 入学を強く希望する者を対象とする。（全体の学習成績の状況3.0以上・専願制・学校長推薦） • 面接・体育実技（体力・運動能力試験）により総合的に選考する。 • 体力・運動能力試験では5種目のうち記録上位の3種目を評価の対象とし、専門競技における競技歴についても考慮する。 • 面接は提出書類・評価項目に基づいて行い、段階評価したうえ点数化する。
		面　接	20	●	●	●	●	
一般選抜	系統別日程	教科・科目	400	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 3科目のうち、最高得点の1科目を2倍する。［傾斜配点］
	前期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（3科目）の得点により、選考する。 • 小論文は、論理的思考力・表現力を評価する。また、調査書の評価も含む。
		小 論 文	100	●	●			
	前期日程・共通テスト併用型	教科・科目	400	●				• 個別試験（前期日程2科目）と大学入学共通テスト（2科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅰ期	教科・科目	400	●				• 大学入学共通テスト（4科目）の得点と調査書により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		提出書類	100		●			
		（英語資格）	★	●			●	
	共通テスト利用型Ⅱ期	教科・科目	600	●				• 大学入学共通テスト（3科目）の得点により、選考する。 ★指定する英語の資格・検定試験の資格・得点は点数化し、大学入学共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点する。
		（英語資格）	★	●			●	
	後期日程	教科・科目	200	●				• 個別試験（2科目）の得点と調査書により、選考する。
		提出書類	50		●			
特別選抜	帰国生徒	小 論 文	100	●	●			• 日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校で学んだ者を対象とする。 • 個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、簡単な英文和訳を含み、論理的思考力・表現力を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	社会人	小 論 文	100	●	●			• 社会人としての活動や経験を有した者を対象とする。 • 個別試験（1科目）の得点・提出書類・面接により総合的に選考する。 • 小論文は、簡単な英文和訳を含み、論理的思考力・表現力を評価する。 • 面接は、提出書類・評価項目に基づいて行う。
		面　接	総評		●	●	●	
	学部留学生（後期日程）	体育実技	100		●	●		• 外国の国籍のみを有し、日本国内外を問わず12年の課程を修了（見込み）の者またはこれに準ずる者を対象とする。ただし、日本の高校を卒業した者は、学校教育法に基づく小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の在籍期間が通算3年以内である者。 • 日本留学試験・体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）・提出書類・面接（作文含む）により総合的に選考する。 • 面接（作文含む）は、提出書類・評価項目に基づいて行う。また、基礎学力や日本語運用能力を確認するための口頭試問を含む。
		面　接	総評	●	●	●	●	
	編・転・学士	教科・科目	100	●				• 短期大学卒業（見込み）の者、専修学校の専門課程修了（見込み）の者、他大学に継続して2年以上在学したことがある（見込みの）者、学士の学位を有する（見込みの）者を対象とする。 • 個別試験（2科目）の得点・面接・提出書類により総合的に選考する。
		体育理論	100	●				
		面　接	総評		●	●	●	

評価項目　A：知識・理解／B：技能／C：態度・志向性／D：その他の能力・資質
●：重点を置いて評価している／総評：点数化はしないが、段階評価し、総合的に評価している

総合型選抜

福岡大学で学びたいという
意欲や強い意志を多面的に評価する
自己推薦による入試制度です。

法学部 …… 73
経済学部 …… 74
商学部・商学部第二部 …… 75
理学部 …… 76
工学部 …… 78
スポーツ科学部 …… 80
アスリート特別選抜 …… 81

法学部

試験日 一次選考 9/20(土) 二次選考 10/11(土)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
法	法律	430	15
	経営法	200	7

出願資格

専願制 各学科を第一志望とする者で、合格の場合は**必ず入学することを条件**とします。

以下のいずれかに該当する者

1 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者

2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者

3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
(1)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
(2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
(3)専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
(4)文部科学大臣の指定した者
(5)高等学校卒業程度認定試験(旧規程による大学入学資格検定を含む)に合格した者および令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
(6)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者(希望する者は、事前に本学入学センターに問い合わせること)

総合型選抜の流れ

1 出願 9/1(月)~9/8(月)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類(出願確認票、志望理由書、自己推薦書、調査書)を郵送してください。
一次検定料…10,000円

2 一次選考 9/20(土)

小論文(80点)、グループディスカッション(80点)、提出書類[志望理由書・自己推薦書・調査書(50点)]により総合的に選考します。

3 一次選考合格発表 10/3(金)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

4 二次選考 10/11(土)

面接を行い、提出書類を含め総合的な評価に基づいて選考します。

5 二次選考合格発表 11/1(土)

経済学部

試験日 一次選考 9/20(土) 二次選考 10/11(土)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
経済	経済	460	10
	産業経済	200	5

出願資格

専願制 各学科を第一志望とする者で、合格の場合は**必ず入学することを条件**とします。

以下に該当する者

1 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者

総合型選抜の流れ

1 出願 9/1(月)~9/8(月)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類（出願確認票、自己推薦書、調査書）を郵送してください。
一次検定料…10,000円

2 一次選考 9/20(土)

小論文（60分）、提出書類（自己推薦書、調査書）により、総合的に選考します。なお、小論文は段階評価をします。

3 一次選考合格発表 10/3(金)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

4 二次選考 10/11(土)

面接を行い、提出書類を含め総合的な評価に基づいて選考します。

5 二次選考合格発表 11/1(土)

商学部・商学部第二部

試験日 一次選考 10/1(水) 二次選考 10/11(土)

募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	5
	経営	240	5
	会計専門職プログラム（経営）		3
	貿易	180	3
商二	商	165	5
	会計専門職プログラム（商二）		2

出願資格

専願制 合格の場合は**必ず入学することを条件**とします。

次の1, 2の各要件を満たす者

商学科・経営学科・貿易学科・会計専門職プログラム（経営）

1 高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者
2 公的資格一覧の（1）～（15）のうちいずれかを保有する者

商学部第二部商学科

1 高等学校または中等教育学校を令和4年3月以降に卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者
2 公的資格一覧の（1）～（17）のうちいずれかを保有する者

会計専門職プログラム（商二）

1 高等学校または中等教育学校を令和4年3月以降に卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者
2 公的資格一覧の（1）～（15）のうちいずれかを保有する者

公的資格一覧

（1）全商 財務諸表分析、財務会計、管理会計検定試験（全商会計実務検定試験を含む）合格者
（2）日本商工会議所簿記検定試験1・2・3級、全経簿記能力検定試験上級、全国商業高等学校協会簿記実務検定試験1級合格者
（3）リテールマーケティング（販売士）検定試験1・2・3級、全国商業高等学校協会商業経済検定試験1級合格者
（4）応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、全国商業高等学校協会情報処理検定試験1級、情報セキュリティマネジメント試験合格者
（5）実用英語技能検定1・準1・2・準2プラス・準2級、全国商業高等学校協会英語検定試験1級合格者
（6）GTEC 680点以上の得点者（オフィシャルスコアに限る）
（7）TOEFL Internet-based test 48点以上の得点者
（8）TOEIC L&R 520点以上の得点者（IPテストを除く）
（9）IELTS4.5点以上の得点者
（10）国連英検C級以上の合格者
（11）日商PC（文書作成）検定試験1・2級合格者
（12）日本漢字能力検定1・準1・2級合格者
（13）日本商工会議所珠算能力検定試験1・2級合格者
（14）秘書検定1・準1級合格者
（15）実用数学技能検定1・準1・2級合格者
（16）全商ビジネス計算実務検定試験ビジネス計算部門1級（全商珠算・電卓実務検定試験ビジネス計算部門1級を含む）合格者
（17）全商ビジネス文書実務検定試験ビジネス文書部門1級合格者

総合型選抜の流れ

1 出願 9/1(月)~9/8(月)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類（出願確認票、資格取得証明書、活動歴報告書、自己推薦書、調査書）を郵送してください。
一次検定料…10,000円

2 一次選考 10/1(水)

資格取得証明書（客観的資料）、活動歴報告書、自己推薦書、調査書などにより総合的に選考します。（来学の必要はありません）

※出願資格の公的資格に加え、生徒会会長、皆勤出席者、課外活動（文化系・体育系）における全国レベルの大会・コンクール等への出場や入賞歴など、提出された公的資料はすべて評価の対象とします。

3 一次選考合格発表 10/3(金)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

4 二次選考 10/11(土)

面接と小論文（50分）を行い、総合的な評価に基づいて選考します。

5 二次選考合格発表 11/1(土)

第二・第三志望について

商学部・商学部第二部は下表のとおり第二志望として出願することができます。さらに、商学部第二部商学科に限り第三志望として出願することができます。

第一志望＼第二志望	商学科	経営学科	貿易学科	会計専門職プログラム（経営）	商学部第二部商学科	会計専門職プログラム（商二）
商学科	–	○	○	×	○	×
経営学科	○	–	○	×	○	×
貿易学科	○	○	–	×	○	×
会計専門職プログラム（経営）	×	○	×	–	○	○
会計専門職プログラム（商二）	×	○※	×	○※	○	–

※会計専門職プログラム（商二）を第一志望として、経営学科または会計専門職プログラム（経営）を第二志望として出願できるのは、高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者に限ります。

理学部

試験日　一次選考 9/30(火)　二次選考 10/11(土)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
理	応用数	65	2
	社会数理・情報INST		若干人
	物理科	60	2
	化	65	2
	地球圏科	60	2

出願資格

専願制　各学科を第一志望とする者で、合格の場合は**必ず入学することを条件**とします。

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュート

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、数学の学習成績の状況が3.8以上の者

理学部 物理科学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件を満たす者

1 物理基礎および物理（理数物理を含む）の評定の平均が3.8以上の者
2 課外活動・探究活動等（理数系に限る）で主体的・能動的に取り組んだ経験を有する者
※上記2に該当する者は、経験を証明するための客観的資料または証明書等を出願時に提出してください。
（客観的資料または証明書等の例）
・国際科学オリンピック予選の結果通知の写し
・公募コンクール、学内外の研究発表会の要旨やポスターの縮刷など
・科学系クラブ等での活動内容をまとめた資料
・大学等で行われた科学実験教室で学んだことをまとめた資料
・各種協会等の証明書、新聞や雑誌の記事、表彰状の写しなど
・その他、志願者の主体性・能動性が認められる活動の内容をまとめた資料

理学部 化学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件を満たす者

1 化学基礎および化学（理数化学を含む）の評定の平均が3.8以上の者
2 課外活動・探究活動等（理数系に限る）で主体的・能動的に取り組んだ経験を有する者
※上記2に該当する者は、経験を証明するための客観的資料または証明書等を出願時に提出してください。
（客観的資料または証明書等の例）
・国際科学オリンピック予選の結果通知の写し
・公募コンクール、学内外の研究発表会の要旨やポスターの縮刷など
・科学系クラブ等での活動内容をまとめた資料
・大学等で行われた科学実験教室で学んだことをまとめた資料
・各種協会等の証明書、新聞や雑誌の記事、表彰状の写しなど
・その他、志願者の主体性・能動性が認められる活動の内容をまとめた資料

理学部 地球圏科学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件を満たす者

1 指定する理科の評定の平均が3.8以上の者
2 指定する理科の評定の平均が3.5以上の者で、課外活動・探究活動等（理数系に限る）で主体的・能動的に取り組んだ経験を有する者
※上記1、2における理科の評定の平均については、次の(1)～(5)のうちの1つまたはそれ以上の科目の評定を用いて計算してください。
(1)物理基礎および物理の評定
(2)化学基礎および化学の評定
(3)生物基礎および生物の評定
(4)地学基礎および地学の評定
(5)地学基礎の評定（在籍する高等学校で地学を選択できない場合のみ）
※上記2に該当する者は、経験を証明するための客観的資料または証明書等を出願時に提出してください。
（客観的資料または証明書等の例）
・国際科学オリンピック予選の結果通知の写し
・公募コンクール、学内外の研究発表会の要旨やポスターの縮刷など
・科学系クラブ等での活動内容をまとめた資料
・環境保全活動への参加を証明する書類、またはその活動の内容をまとめた資料
・各種協会等の証明書、新聞や雑誌の記事、表彰状の写しなど
・その他、志願者の主体性・能動性が認められる活動の内容をまとめた資料

総合型選抜の流れ

1　出願　9/1(月)～9/8(月)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。登録完了後、入学検定料を納入し提出書類（出願確認票、志望理由書、自己推薦書、調査書）を郵送してください。

※**応用数学科、社会数理・情報インスティテュート志願者**
提出書類（出願確認票、志望理由書、自己推薦書、調査書）の郵送および課題動画*を提出してください。
*課題動画の詳細については、入試要項を確認してください。

一次検定料…10,000円

2　一次選考　9/30(火)

応用数学科、社会数理・情報インスティテュート（来学の必要はありません）
課題動画および提出書類（志望理由書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考します。

物理科学科、化学科、地球圏科学科（来学の必要はありません）
提出書類（志望理由書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考します。

3　一次選考合格発表　10/3(金)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

※**物理科学科、地球圏科学科**
合格者には、一次選考合格通知とともに二次選考のプレゼンテーションの問題をお知らせします。

4　二次選考　10/11(土)

応用数学科、社会数理・情報インスティテュート
面接（口頭試問を含む）を行い、総合的に評価して選考します。（口頭試問では、課題動画および関連する高校数学の基礎的な内容について問います。）

物理科学科
プレゼンテーションおよび面接（口頭試問を含む）を行い、総合的に評価して選考します。（口頭試問では、プレゼンテーションの内容や物理の基礎学力を問います。）

化学科
化学に関するセミナーとその理解度を問う確認テストおよび面接（口頭試問を含む）を行い、総合的に評価して選考します。（口頭試問では、セミナーの振り返りや化学の基礎学力を問います。）

地球圏科学科
プレゼンテーションおよび面接（口頭試問を含む）を行い、総合的に評価して選考します。（口頭試問では、プレゼンテーションの内容や基礎学力を問います。）

※プレゼンテーション、面接（口頭試問を含む）では、ホワイトボードや黒板に書いて説明することを求める場合があります。

5　二次選考合格発表　11/1(土)

工学部

試験日　一次選考 9/20(土)　二次選考 10/11(土)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	2
	電気工	110	3
	電子情報工	150	2
	化学システム工	110	3
	社会デザイン工	110	2
	建築	110	2

出願資格

専願制　各学科を第一志望とする者で、合格の場合は**必ず入学することを条件**とします。

工学部 機械工学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件（専門高校の工業に関する学科からの志願者については2、それ以外は1）を満たす者

1 全体の学習成績の状況3.5以上の者で以下のいずれかに該当する者
①ボランティア活動に従事し、著しい成果をあげた者
②課外活動（文化系・体育系）において、都道府県レベル以上の各種コンクール、コンテスト、展覧会、大会等で上位の成績を収めた者
③課外活動（文化系・体育系）または生徒会活動において著しくリーダーシップを発揮した者
※1の①～③のことを証明するため、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入し、客観的資料または証明書を出願時に提出してください。
2 全体の学習成績の状況4.3以上の者

工学部 電気工学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件（専門高校の工業に関する学科からの志願者については2、それ以外は1）を満たす者

1 全体の学習成績の状況3.5以上の者で以下のいずれかに該当する者
①数学、理科の学習成績の状況が4.0以上の者
②ボランティア活動に従事し、著しい成果をあげた者
③課外活動（文化系・体育系）において、都道府県レベル以上の各種コンクール、コンテスト、展覧会、大会等で上位の成績を収めた者
④課外活動（文化系・体育系）または生徒会活動において著しくリーダーシップを発揮した者
※1の②～④のことを証明するため、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入し、客観的資料または証明書を出願時に提出してください。
①で出願する場合も、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入してください。
2 全体の学習成績の状況4.3以上の者

工学部 電子情報工学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件（専門高校の工業に関する学科からの志願者については2、それ以外は1）を満たす者

1 全体の学習成績の状況3.5以上の者で以下のいずれかに該当する者
①自己研鑽によって、客観的資料により証明できる、高度な資格を取得した者や文化、社会、スポーツにおける活動・競技会等で顕著な成績を収めた者
②TOEIC L&R 550点以上のスコアを持つ者（IPテストを除く）
③実用英語技能検定2級以上の合格者
※1の①～③のことを証明するため、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入し、客観的資料または証明書を出願時に提出してください。
2 全体の学習成績の状況4.3以上の者

工学部 化学システム工学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件（専門高校の工業に関する学科からの志願者については2、それ以外は1）を満たす者

1 全体の学習成績の状況3.5以上の者で以下のいずれかに該当する者
①数学の学習成績の状況、または物理の評定の平均、または化学の評定の平均が4.0以上の者
②課外活動（文化系・体育系）において、都道府県レベル以上の各種コンクール、コンテスト、展覧会、大会等で上位の成績を収めた者
③課外活動（文化系・体育系）または生徒会活動において著しくリーダーシップを発揮した者
④ボランティア活動に従事し、著しい成果をあげた者
※1の②～④のことを証明するため、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入し、客観的資料または証明書を出願時に提出してください。
①で出願する場合も、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入してください。
2 全体の学習成績の状況4.3以上の者

工学部 社会デザイン工学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件（専門高校の工業に関する学科からの志願者については2、それ以外は1）を満たす者

1 全体の学習成績の状況3.5以上の者で以下のいずれかに該当する者
①数学または理科の学習成績の状況が3.5以上の者
②ボランティア活動に従事し、著しい成果をあげた者
③課外活動（文化系・体育系）において、都道府県レベル以上の各種コンクール、コンテスト、展覧会、大会等で上位の成績を収めた者
④課外活動（文化系・体育系）または生徒会活動において著しくリーダーシップを発揮した者
※1の②～④のことを証明するため、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入し、客観的資料または証明書を出願時に提出してください。
①で出願する場合も、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入してください。
2 全体の学習成績の状況4.3以上の者で以下のいずれかに該当する者
①数学の学習成績の状況が4.3以上の者
②理科の学習成績の状況が4.3以上の者

工学部 建築学科

高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者および令和7年3月に卒業した者で、次のいずれかの要件（専門高校の工業に関する学科からの志願者については2、それ以外は1）を満たす者

1 全体の学習成績の状況3.5以上の者で以下のいずれかに該当する者
①数学の学習成績の状況が3.5以上の者
②理科の学習成績の状況が3.5以上の者
③ボランティア活動に従事し、著しい成果をあげた者
④課外活動（文化系・体育系）において、都道府県レベル以上の各種コンクール、コンテスト、展覧会、大会等で上位の成績を収めた者
⑤課外活動（文化系・体育系）または生徒会活動において著しくリーダーシップを発揮した者
※1の③～⑤のことを証明するため、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入し、客観的資料または証明書を出願時に提出してください。
①、②で出願する場合も、自己推薦書（本学所定用紙）に具体的な事項を詳細に記入してください。
2 全体の学習成績の状況4.3以上の者で以下のいずれかに該当する者
①数学の学習成績の状況が4.3以上の者
②理科の学習成績の状況が4.3以上の者

総合型選抜の流れ

1　出願　9/1(月)～9/8(月)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類（出願確認票、志望理由書、自己推薦書、調査書）を郵送してください。
一次検定料…10,000円

2　一次選考　9/20(土)

機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科
小論文（60分、字数は800字程度）および提出書類（志望理由書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考します。

建築学科（来学の必要はありません）
提出書類（志望理由書、自己推薦書、調査書）により総合的に選考します。

3　一次選考合格発表　10/3(金)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

※建築学科…合格者には、一次選考合格通知とともにスケッチ*の課題テーマをお知らせします。スケッチは二次選考の時に持参してください。
＊文章・表・図・イラスト等を自由にレイアウトした課題テーマの説明資料

4　二次選考　10/11(土)

機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、社会デザイン工学科
面接（口頭試問を含む）を行い、総合的な評価に基づいて選考します。

化学システム工学科
面接（口頭試問を含む）を行い、総合的な評価に基づいて選考します。（口頭試問では、主に理科系科目および化学システム工学に関する基礎を問います。口頭による説明だけでなく、ホワイトボードに数式などを書いて、説明することも求められます。）

建築学科
面接（スケッチに関する口頭試問を含む）を行い、総合的な評価に基づいて選考します。

5　二次選考合格発表　11/1(土)

スポーツ科学部

試験日 一次選考 9/24(水) 二次選考 10/10(金)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
スポーツ科	スポーツ科	225	35
	健康運動科	70	5

出願資格

専願制 各学科を第一志望とする者で、合格の場合は**必ず入学することを条件**とします。
アスリート特別選抜との併願はできません。

次の1～3の各要件を満たす者

1 高校時代あるいは社会人時代などに競技スポーツ活動に積極的に取り組んだ者

2 以下のいずれかに該当する者
(1)競技スポーツの普及発展に大きく貢献する指導者を目指す者
(2)スポーツ科学の研究を目指す者
(3)地域、産業、医療・福祉、保健の分野でのレクリエーション指導者と健康づくり運動指導者を目指す者
(4)優れた競技力を有し、専門の競技スポーツの継続・向上を目指す者

3 以下のいずれかに該当する者
(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者
(3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
④文部科学大臣の指定した者
⑤高等学校卒業程度認定試験(旧規程による大学入学資格検定を含む)に合格した者および令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
⑥本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
(希望する者は、事前に本学入学センターに問い合わせること)

※スポーツ科学科入学者は、学友会活動などで競技力をさらに高めるものとします。

総合型選抜の流れ

1 出願 9/1(月)～9/8(月)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類(出願確認票、自己推薦書、スポーツ実績証明書※、志望理由書、調査書)を郵送してください。
※スポーツ実績証明書は、スポーツ科学科志願者のみ提出
一次検定料…10,000円

2 一次選考 9/24(水)

提出書類(自己推薦書、スポーツ実績証明書※、志望理由書、調査書)により総合的に選考します。(来学の必要はありません)
※スポーツ実績証明書は、スポーツ科学科志願者のみ提出

3 一次選考合格発表 10/1(水)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。
登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

4 二次選考 10/10(金)

スポーツ科学科

体育実技における競技力、面接(自己PRを含む)により総合的に選考します。

〈体育実技について〉
専門実技試験または体力・運動能力試験

体育実技

〈専門実技試験(16競技種目から1種目選択)〉
陸上競技、体操競技、水泳、新体操、柔道、剣道、レスリング、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球

〈体力・運動能力試験(5種目)〉
50m走、ハンドボール投、立ち幅跳、反復横跳、20mシャトルラン(往復持久走)
※5種目すべてを受験してください。なお、評価の対象は5種目のうち記録上位の3種目とし、専門競技における競技歴も考慮します。

健康運動科学科

グループディスカッション、面接(自己PRを含む)により総合的に選考します。

5 二次選考合格発表 11/1(土)

アスリート特別選抜

試験日 一次選考 10/21(火) 二次選考 11/4(火)

募集人員

学部	募集人員
人文	4程度
法	7程度
経済	7程度

学部	募集人員
商(商二含む)	7程度
理	2程度
工	3程度

学科	募集人員
スポーツ科	48
健康運動科	2

競技種目について

陸上競技、体操競技、水泳、新体操競技、柔道、剣道、レスリング、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、バドミントン、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、ソフトボール、硬式野球、ヨット、準硬式野球、アイスホッケー、空手道、重量挙、スケート、水上スキー、なぎなたの26競技種目
※ 募集するスポーツ競技種目以外の者の出願については、学生課にお問い合わせください。

出願資格

専願制 合格の場合、**必ず入学することを条件**とします。

次のすべてに該当する者
(1)原則として令和8年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者
(2)志望する学部での勉学を強く希望する者で、本学在学中は学友会体育部会に所属し、当該スポーツ活動を継続して行う意志と能力を持つ者
(3)以下の学業成績と競技成績の両方の基準を満たす者

1 学業成績に関する基準

次の各学部(学科)の要件を満たす者
(全体の学習成績の状況は令和7年9月1日以降発行で最新のもの)

■人文学部
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、次の要件を満たす者
- 文化学科は英語の評定の平均または国語の学習成績の状況3.5以上の者
- 歴史学科は日本史探究、世界史探究のいずれかの評定の平均4.0以上の者
- 日本語日本文学科は国語の学習成績の状況4.0以上の者
- 教育・臨床心理学科は国語または数学の学習成績の状況4.0以上の者
- 英語学科は英語の評定の平均4.0以上の者
- ドイツ語学科は外国語の学習成績の状況3.5以上の者
- フランス語学科は外国語の学習成績の状況3.5以上の者
- 東アジア地域言語学科は外国語の学習成績の状況3.5以上の者

■法学部
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、国語の学習成績の状況3.5以上の者

■経済学部
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、次の要件を満たす者
- 経済学科は英語の評定の平均3.5以上の者
- 産業経済学科は英語の評定の平均または数学の学習成績の状況3.5以上の者

■商学部／商学部第二部
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、国語の学習成績の状況3.5以上の者

■理学部
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ),数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)、理科(物理基礎,物理または化学基礎,化学)を履修し、英語の評定の平均および数学、理科の学習成績の状況が3.5以上の者

■工学部
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)、理科(物理基礎,物理または化学基礎,化学)を履修し、数学および理科の学習成績の状況が3.5以上の者

■スポーツ科学部
全体の学習成績の状況3.0以上の者

2 競技成績に関する基準

〈硬式・準硬式野球・ソフトボールを除く競技種目〉
全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民スポーツ大会(旧:国民体育大会)、ジュニアオリンピックカップおよびアスリート特別選抜委員会がそれらに相当すると認定した大会において、ベスト16以内、地区(九州大会規模)高等学校総合体育大会、地区(九州大会規模)高等学校選手権大会、地区(九州大会規模)高等学校選抜大会または高等学校新人選手権大会、地区(九州大会規模)国民スポーツ大会(旧:国民体育大会)およびアスリート特別選抜委員会がそれらに相当すると認定した大会において、ベスト4以内の個人および団体に所属し、試合に出場していた正選手。なお、団体競技については、全日本代表・同候補、全日本高等学校代表(全日本ジュニアを含む)、地区(九州大会規模)の強化指定選手、選抜選手も対象とする。
ただし、陸上競技については、次の競技基準を満たした選手も対象とする。
- 男子 前年の10月1日以降に5,000m14分45秒以内、または1,500m3分57秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者。もしくは、前年の10月1日以降に全国高校駅伝およびその地区予選を含む日本陸上競技連盟公認コースの10kmロードレースにおいて31分00秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者
- 女子 前年の10月1日以降に3,000m9分45秒以内、または1,500m4分45秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者。もしくは、前年の10月1日以降に全国高校駅伝およびその地区予選を含む日本陸上競技連盟公認コースの5kmロードレースにおいて16分45秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者

〈硬式・準硬式野球・ソフトボール〉
次の1、2いずれかを満たす者とする。
1. 全国大会のベスト16以内、地区大会(九州大会規模)ベスト4以内のチームに所属し、試合に出場していた正選手
2. 県予選において、参加校100校以上の場合はベスト8以内、100校未満の場合はベスト4以内の成績を収めたチームの正選手で、50m走6秒2(ソフトボール女子は7秒8)以内、遠投80m(ソフトボール男子は65m、女子は55m)以上(ただし投手はこの限りではない)の者のうち、3年間の次の大会を通して投手は30イニング以上で防御率3.0以内、野手は30打席以上で打率2割8分以上の成績を有する者

■対象大会は3年間の次の大会とする。
①秋季地区大会(九州大会規模)の県予選および大会
②春季地区大会(九州大会規模)の県予選および大会
③全国高等学校野球選手権大会の県予選
④全国高等学校軟式野球選手権大会の県予選・地方予選および大会

問い合わせ 募集するスポーツ競技種目、競技成績に関する基準および令和8年3月高等学校卒業見込み以外の者の出願については学生課にお問い合わせください。

アスリート特別選抜の流れ

1 出願　9/22(月)～10/2(木)

入試要項を「受験生サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類（出願確認票、調査書、自己推薦書、推薦状（高等学校クラブ部長等）、競技歴証明資料）を郵送してください。なお、届け出た志望学部・学科志望順位により受験学部・学科を決定しますが、募集人員の関係で、希望にそえないこともあります。
一次検定料…10,000円

2 一次選考　10/21(火)

提出書類（調査書、自己推薦書、推薦状（高等学校クラブ部長等）、競技歴証明資料）により選考します。
（来学の必要はありません）

3 一次選考合格発表　10/24(金)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。
登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

4 二次選考　11/4(火)

学部ごとに小論文（60分、字数は800字程度）および面接を行い、選考します。

5 二次選考合格発表　11/7(金)

MEMO

学校推薦型選抜

高等学校長の推薦を必要とする公募型入試制度です。
高校での学習や課外活動等の成果を
総合的に評価します。

A方式推薦 …… 84
地域枠推薦 …… 86

主な変更点

●**学校推薦型選抜（地域枠推薦）**
医学部医学科の面接の配点を50点から20点に変更します。

Keyword 学校長推薦／専願制／公募型

A方式推薦

試験日 11/23(日) スポーツ科学部(実技型) 11/19(水)

入学検定料

医学科以外	32,000円
医学科	60,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	14
	歴史	70	7
	日本語日本文	70	8
	教育・臨床心理	110	16
	英語	90	14
	ドイツ語	50	3
	フランス語	50	3
	東アジア地域言語	65	8
法	法律	430	40
	経営法	200	10
経済	経済	460	22
	産業経済	200	8

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	14
	経営	240	14
	貿易	180	11
商二	商	165	12
理	応用数	65	6
	社会数理・情報INST		2
	物理科	60	9
	化	65	9
	地球圏科	60	8

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	14
	電気工	110	14
	電子情報工	150	19
	化学システム工	110	12
	社会デザイン工	110	14
	建築	110	14
医	医	110	40※1
	看護	110	13
薬	薬	230	25
スポーツ科※2	スポーツ科	225	77
	健康運動科	70	14

※1 地域枠推薦(10人)と附属校推薦(最大8人)の募集人員を含みます。
※2 スポーツ科の募集人員(77人)は実技型(73人)を含み、健康運動科の募集人員(14人)は実技型(4人)を含みます。
表記について：商二…商学部第二部の略、INST…インスティテュートの略

出願資格

専願制 合格の場合、**必ず入学することを条件**(商学部第二部を除く)とします。

次の1～3の各要件を満たす者
1. 日本国内に所在する高等学校または中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者、および商学部第二部・理学部・工学部・医学部医学科・薬学部・スポーツ科学部は令和7年3月卒業者(ただし、前年度に工学部の総合型選抜・学校推薦型選抜(A方式)を受験した者は、同じ学科には出願できない)
2. 出身高等学校長が学業成績・人物ともに優秀と認めて推薦する者
3. 以下の学部(学科)の要件を満たす者

学部・学科		要件
法		全体の学習成績の状況3.5以上の者
医	医	全体の学習成績の状況3.7以上の者
	看護	全体の学習成績の状況3.5以上の者
薬		全体の学習成績の状況3.5以上の者

※人文・経済・商・商二・理・工学部については学習成績の状況の要件はありません。
※留学を経た出願について：高等学校長の許可を得て外国に留学した方は、出願前に本学入学センターに確認してください。

学部	要件
スポーツ科[科目型]	全体の学習成績の状況3.5以上の者 ※入学者はスポーツ・健康運動に関心を持ち、その専門性を高めることに努めなければならない。
スポーツ科[実技型]	全体の学習成績の状況3.0以上の者で、スポーツにおいて優れた能力を有する者 ※入学者はその専門性を高めるため、原則として**学友会運動部に入部**するものとします。

スケジュール

出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
インターネット出願 11/1(土)～11/10(月)	11/23(日) スポーツ科学部(実技型) 11/19(水)	12/5(金)	入学申込金締切 12/19(金) 入学手続締切 3/6(金)

POINT

選考方法 面接および試験2科目の総点(100点満点)で総合的に選考します。

☑ スポーツ科学部

以下に挙げる①または②のいずれかに出願することができます。
ただし、①、②の併願はできません。

①面接＋試験2科目
②面接＋体育実技

☑ 面接について

複数の面接官で面接を実施します。提出書類は、面接評価に活用します。
令和7年度入試においては、以下の要領で面接を実施しました。

医学科	：受験生4～6人に対し面接者3人のグループ面接で40分程度 ※面接の詳細は、P.63を参照してください。
その他の学科	：受験生1人に対して面接者2人で7分程度

試験科目・時間・配点

学部	学科等		科目	試験時間	配点	
人文	文化、歴史、日本語日本文、教育・臨床心理、英語、ドイツ語、フランス語、東アジア地域言語		「外国語(英語)」と「国語」	2科目60分	各科目50点	面接* ・法学部を除く学部 20点 ・法学部 40点
法	法律、経営法					
商	商、経営、貿易					
商二	商					
経済	経済、産業経済		「外国語(英語)」と「国語または数学」			
理	応用数、社会数理・情報インスティテュート		「外国語(英語)」と「数学」			
	物理科		「理科(物理)」と「外国語(英語)または数学」			
	化		「理科(化学)」と「外国語(英語)または数学」			
	地球圏科		「外国語(英語)」「数学」「理科(物理、化学、生物、地学から1科目)」から2科目選択			
工	機械工、化学システム工、建築		「外国語(英語)」「数学」「理科(物理または化学)」から2科目選択			
	電気工、電子情報工		「外国語(英語)」「数学」「理科(物理)」から2科目選択			
	社会デザイン工		「外国語(英語)または国語」「数学」「理科(物理または化学)」から2科目選択			
医	医		「外国語(英語)」と「数学」			
	看護		「外国語(英語)」と「国語」			
薬	薬		「外国語(英語)」「数学」「理科(化学)」から2科目選択			
スポーツ科	[科目型]スポーツ科、健康運動科		「外国語(英語)」と「国語または数学」			
	[実技型]	スポーツ科	体育実技(専門実技試験または体力・運動能力試験)	—	100点	
		健康運動科	体育実技(体力・運動能力試験)			

*調査書等の提出書類は面接評価に活用します。

科目の詳細

教科	学部	科目
外国語	共通	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)
国語		国語(現代の国語,言語文化*)
数学	経済・スポーツ科学部	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)
	理(化、社会数理・情報インスティテュートを除く)・工・医学部	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)
	理(化、社会数理・情報インスティテュート)・薬学部	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)
理科	理・工学部	物理(物理基礎,物理)
	理・工・薬学部	化学(化学基礎,化学〔物質の状態と平衡,物質の変化と平衡,無機物質,有機化合物〕)
	理学部	生物(生物基礎,生物〔生物の進化,生命現象と物質,遺伝情報の発現と発生,生物の環境応答〕)
		地学(地学基礎)
保健体育	スポーツ科学部	体育実技 〈専門実技試験(以下の17競技種目から1種目選択)〉 (1)陸上競技、(2)体操競技、(3)水泳、(4)新体操、(5)柔道、(6)剣道、(7)レスリング、(8)バスケットボール、(9)バレーボール、(10)ハンドボール、(11)サッカー、(12)ラグビー、(13)卓球、(14)硬式テニス、(15)ソフトテニス、(16)硬式野球、(17)ヨット 〈体力・運動能力試験(5種目)〉 50m走、ハンドボール投、立ち幅跳、反復横跳、20mシャトルラン(往復持久走) ※5種目すべてを受験してください。なお、評価の対象は5種目のうち記録上位の3種目とし、専門競技における競技歴も考慮します。

*言語文化について、漢文の独立問題は出題しません。

特別考慮について

以下の要件に該当する者については、特別の考慮をします。
- ●高等学校の職業に関する専門学科(総合学科で職業に関する教科・科目を20単位以上履修している者を含む)からの志願者(医学部・薬学部・スポーツ科学部を除く)で全体の学習成績の状況4.0以上の者は、特別の考慮をします。
- ●建築学科志願者で、都道府県、またはそれに準ずるレベル以上の建築設計競技、美術展等において入選した者は、特別の考慮をします。
  ※該当する者は、特別の能力・業績(入賞・検定合格等)を示す客観的資料(写)を必ず提出してください。
- ●商学部第二部志願者で、出願時に大学所定の「在職証明書」を提出する者(就職内定者を含む)は、特別の考慮をします。

Keyword 学校長推薦／専願制／公募型

入学検定料
60,000円

地域枠推薦

試験日 11/23(日)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
医	医	110	10

出願資格

専願制 合格の場合、**必ず入学することを条件**とします。

次の1～5の各要件を満たす者

1. 全体の学習成績の状況3.7以上の者
2. 出身高等学校長が学業成績・人物ともに優秀と認めて推薦する者
3. 九州（沖縄を含む）・山口各県内の離島・僻地医療および地域医療に貢献したいという強い意志をもち、①在学中の実習および研修・②福岡大学での卒後臨床研修プログラム（初期臨床研修2年間および後期臨床研修3年間）への参加を確約できる者（在学中の実習・研修において交通費等の自己負担があります）
4. 次のいずれかに該当する者
   ①九州（沖縄を含む）・山口各県内に所在する高等学校または中等教育学校の出身者
   ②出願時において、本人または保護者（親など）が九州（沖縄を含む）・山口各県内に居住する者
5. 日本国内に所在する高等学校または中等教育学校を令和7年3月に卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者

選考方法

面接および試験2科目の総点（100点満点）により総合的に選考します。
※調査書等の提出書類は面接評価に活用します。
※面接の詳細は、P.63を参照してください。

試験科目・時間・配点

教科	科目	試験時間	配点
外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）	2科目 60分	各科目 50点
数学	数学（数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕）		
面接	注）調査書等の提出書類は面接評価に活用します。	－	20点

面接について（前年度参考）

令和7年度入試においては、以下の要領で実施しました。

受験生4～6人に対し面接者3人のグループ面接で40分程度

スケジュール

出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
インターネット出願 11/1(土)～11/10(月)	11/23(日)	12/5(金)	入学申込金締切 12/19(金) 入学手続締切 3/6(金)

一般選抜

主に学力試験によって合否を判定する入試制度です。

系統別日程 …… 90
前期日程 …… 96
前期日程・共通テスト併用型 …… 100
共通テスト利用型（Ⅰ期） …… 108
共通テスト利用型（Ⅱ期） …… 114
共通テスト利用型（Ⅲ期） …… 116
後期日程 …… 118
共通事項 …… 120

▶ チェック情報
入試成績優秀者奨学金「FUスカラシップ」 …… 88
英語の資格・検定試験活用制度 …… 89
一般選抜「受験プラン」ワークシート …… 148

主な変更点

●前期日程
薬学部［理科重視型］の科目および配点を変更します。
英語100点、理科2科目200点→英語50点、数学50点、理科1科目200点

●前期日程・共通テスト併用型
薬学部の科目・配点を変更します。
前期日程200点・共通テスト300点
→前期日程200点・共通テスト400点

●共通テスト利用型（Ⅲ期）
経済学部で新たに実施します。

一般選抜関連トピックス

入試成績優秀者奨学金「FUスカラシップ」

対象の入試制度：一般選抜※（前期日程）／共通テスト利用型（Ⅰ期）

※医学部医学科・商学部第二部（会計専門職プログラム）は、一般選抜（系統別日程）

対象の入試制度において優秀な成績を収め入学した学生を「FUスカラシップ生」として採用する奨学金制度です。
FUスカラシップ生は最長4年間（医学部医学科・薬学部は最長6年間）授業料の半額を免除します。
※入試の成績により「FUスカラシップ生」採用候補者を選考し通知します。当該学部・学科への入学をもって正式採用となります。（入試の成績と入学手続きの状況により採用となりますので、本奨学金への個別の申込みは不要です。）

POINT

対象の入試制度：一般選抜（前期日程）※1、共通テスト利用型（Ⅰ期）

全学部・全学科対象　　**授業料の半額を減免※2**　　**採用候補者約800名※3**

※1 医学部医学科・商学部第二部（会計専門職プログラム）は、一般選抜（系統別日程）

※2 学費等納入金・減免額イメージ

（単位：円）

項目 ＼ 学部（学科）	人文・法・経済・商	商二	理・工	医（医）	医（看）	薬	スポーツ科
1年次 入学時納入金 入学申込金（入学金）①	200,000	100,000	200,000	1,000,000	200,000	200,000	200,000
1年次 入学時納入金 学費等納入金 第一期分 授業料	385,000	165,000	525,000	1,956,000	550,000	685,000	420,000
1年次 入学時納入金 学費等納入金 第一期分 特別教育充実費	—	—	—	3,000,000	—	—	—
1年次 入学時納入金 学費等納入金 第一期分 教育充実費	95,000	45,000	200,000	344,000	250,000	150,000	185,000
1年次 入学時納入金 学費等納入金 第一期分 委託徴収費	26,710	22,370	26,710	26,710	26,710	26,710	26,710
1年次 入学時納入金 第一期分 ②	506,710	232,370	751,710	5,326,710	826,710	861,710	631,710
1年次 入学時納入金 ①+②	706,710	332,370	951,710	6,326,710	1,026,710	1,061,710	831,710
1年次 第二期払込分 学費等納入金 第二期分 授業料	385,000	165,000	525,000	1,956,000	550,000	685,000	420,000
1年次 第二期払込分 学費等納入金 第二期分 教育充実費	95,000	45,000	200,000	344,000	250,000	150,000	185,000
1年次 第二期分 計③	480,000	210,000	725,000	2,300,000	800,000	835,000	605,000
1年次 初年度納入金（合計）①+②+③	1,186,710	542,370	1,676,710	8,626,710	1,826,710	1,896,710	1,436,710
▲奨学金（減免額）④	▲385,000	▲165,000	▲525,000	▲1,956,000	▲550,000	▲685,000	▲420,000
減免後初年度納入金（合計）①+②+③+④	801,710	377,370	1,151,710	6,670,710	1,276,710	1,211,710	1,016,710
参考）継続採用の場合							
卒業までの授業料減免額	▲1,540,000	▲660,000	▲2,100,000	▲11,736,000	▲2,200,000	▲4,110,000	▲1,680,000

※3 採用候補者数（予定）

学部	採用候補者数
人文	125
法	125
経済	125
商	125
商二	15
理	60
工	150
医（医）	15
医（看）	15
薬	25
スポーツ科	25
合計	約800

● 他の奨学金との併給

原則、他の奨学金との併給も可能です。なお、他の授業料減免型奨学金の対象となる場合は、本制度により減免適用した授業料残額から他の制度による減免を行います。また、奨学金団体によっては、併給を認めない場合がありますので、事前にご確認ください。

● 継続採用基準

2年次以降に継続採用されるためには、以下の成績基準を満たす必要があります。
- 修業年限内で卒業すること。
- 既に修得している単位数の合計が標準単位数※4 の6割以上であること。（医学部医学科除く）
- 医学部医学科は次の学年に進級できること。

※4（卒業要件単位数／修業年限）×在学年数

● スカラシップチャレンジ

総合型選抜や学校推薦型選抜等、他の入試で合格している場合でも対象入試制度への出願が可能です（ただし、合格した学部・学科に限ります）。出願のうえ受験（スカラシップチャレンジ）し、本制度の対象者となれば、授業料の半額減免が適用されます。
※一般選抜の結果（合否や点数）によって、既に合格した学部・学科の入学の権利を失うことはありません。
※対象入試制度の入学検定料は別途必要となります。

入学検定料割引「応援割」（同一学科併願割引）

対象の入試制度：一般選抜（前期日程※）

※物理科学科、化学科、薬学科、スポーツ科学科は、同一方式の併願が対象となります。（P.98参照）

「応援割」は、一般選抜（前期日程）において同一学科を併願する場合（同じ学科を2回受験する際の2回目）に限り適用される入学検定料割引制度です。第一志望学科の合格を目指して、同一学科併願を希望する受験生を後押しします。

「同一学科併願」と「応援割」
前期日程は複数の試験日を設定しており、各試験日に1学科出願できます。前期日程において同一学科を2回受験することも可能で、これを**「同一学科併願」**と呼んでいます。例えば、看護学科は2月6日と2月11日が試験日ですが、試験日が異なるので、両日とも受験することが可能です。同一学科併願した場合は**総点の高い方**で合否判定します。
入学検定料は、2月6日が32,000円、2月11日が7,000円（応援割適用）となり、2月11日については割安な入学検定料で併願することが可能です。

共通テストにおける英語の配点比率について

対象の入試制度：前期日程・共通テスト併用型／共通テスト利用型（Ⅰ期）／共通テスト利用型（Ⅱ期）／共通テスト利用型（Ⅲ期）

共通テストにおける英語の配点は、「リーディング（100点）」、「リスニング（100点）」の1:1の配点比率となっていますが、本学では、英語の配点を「リーディング（160点）」、「リスニング（40点）」の4:1の配点比率に換算して、判定に使用します。

英語の資格・検定試験活用制度

対象の入試制度：前期日程・共通テスト併用型／共通テスト利用型（Ⅰ期）／共通テスト利用型（Ⅱ期）／共通テスト利用型（Ⅲ期）

共通テストの得点を利用する入試制度において、各種検定試験（4技能に限る）の成績を加点表に基づき、共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点します。リーディング（共通テストにおける配点100点）は160点満点に、リスニング（共通テストにおける配点100点）は40点満点になるように換算したうえで、加点を行い、さらに各学部学科が定める配点に換算して、判定に使用します。

POINT

● 各種検定試験（4技能に限る）において以下の級あるいはスコアを満たす場合は、共通テストの英語（リーディング・リスニング）の得点に加点します！

※加点後の得点が、満点（200点）を超える場合は、満点を上限とします。

対象検定と加点表

加点	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定（英検）	GTEC	IELTS（Academic）	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/TOEIC S&W
40点	160以上	準1級・1級合格	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1095以上
20点	140-159	2級合格	930-1179	4.0-5.0	225-308	420-595	42-71	790-1090

（注1）級及びスコア等は2023年4月実施以降の4技能すべてを受験しているものを有効とします。
（注2）「外国語」において英語以外の言語を指定科目として選択した場合でも、外国語に関する能力の証明とみなし、当制度を利用できます。詳細は、入試要項を確認してください。
（注3）GTECはオフィシャルスコアに限ります。
（注4）ケンブリッジ英語検定4技能CBT Linguaskill、IELTS OnlineおよびTOEFL iBT® Home Editionは除きます。
（注5）TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、合算したスコアで判定します。また、IPテストは除きます。
（注6）出願書類として、各種検定試験の級の合格あるいはスコア等の証明書が必要です。証明書や提出時の注意事項については、入試要項を確認してください。※証明書の返却不可

Keyword 併願可／各地受験　出願資格 P.120参照

系統別日程 | 試験日 2/2(月)

入学検定料　併願割
1学科出願　32,000円［医学科は60,000円］
2学科目以降　10,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	5
	歴史	70	5
	日本語日本文	70	4
	教育・臨床心理	110	5
	英語	90	7
	ドイツ語	50	3
	フランス語	50	3
	東アジア地域言語	65	3
法	法律	430	30
	経営法	200	17
経済	経済	460	25
	産業経済	200	10

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	23
	経営	240	14
	会計専門職PGM（経営）		2
	貿易	180	14
商二	商	165	15
	会計専門職PGM（商二）		若干人
理	応用数	65	3
	社会数理・情報INST		若干人
	物理科	60	3
	化	65	5
	地球圏科	60	4

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	10
	電気工	110	10
	電子情報工	150	14
	化学システム工	110	10
	社会デザイン工	110	10
	建築	110	10
医	医	110	60
	看護	110	8
薬	薬	230	15
スポーツ科	スポーツ科	225	5
	健康運動科	70	4

表記について：商二…商学部第二部の略
PGM…プログラムの略
INST…インスティテュートの略

スケジュール

出願期間
インターネット出願
12/20(土)～1/13(火)

試験日
2/2(月)
［医学科　一次選考 2/2(月)　二次選考 2/14(土)］

合格発表
2/21(土)
［医学科　一次合格 2/9(月)　二次合格 2/21(土)］

入学手続締切日
入学申込金締切 2/27(金)
入学手続締切 3/6(金)

他大学等を併願している方に限り、3月23日(月)まで学費等納入金の振込（入学手続書類の提出含む）を延期することができます。

POINT

選考方法
3科目の総点（400点満点）で選考します。
特定科目の配点が高い傾斜配点方式※を採用！［医学科除く］

得意科目を活かせます！

※特定科目の配点に一定の倍率をかけ、他の科目より比重を重くします。
例えば、配点が200点科目の場合、100点満点で採点した後に得点を2倍します。

併願OK
全9学部を5つの学問系統に分類！
同一系統の学科については1回の試験で複数学科を併願できます。
（例：理学・工学系統の学科　最大10併願）

第一志望学科と第二志望学科をまとめて受験できます！

☑ 医学科は二段階選抜

一次選考 2/2(月)　英語・数学・理科2科目（400点満点）　試験場：福岡・東京・名古屋・大阪

二次選考 2/14(土)　一次選考（400点満点）＋面接（50点満点）　試験場：福岡

※調査書等の提出書類・小論文は、面接評価に活用します。
なお、小論文は一次選考日（2月2日）に実施します。
※面接の詳細は、P.63を参照してください。

☑ 全国15会場で試験を実施

福岡・東京・名古屋・大阪・高松・松山・広島・山口・北九州・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・那覇
試験場 > P.130参照

試験科目・配点

「系統」と「科目・配点」を確認しよう。

系統	学部	学科	必須科目 外国語	必須科目 国語	選択科目 公共、政治・経済	選択科目 日本史	選択科目 世界史	選択科目 地理	選択科目 数学	総点
人文科学	人文	文化	150	150	100					400
		歴史	100	100	—	200			—	400
		日本語日本文	100	200	100					400
		教育・臨床心理	150	150	100					400
		英語	200	100	100					400
		ドイツ語	150	150	100					400
		フランス語	150	150	100					400
		東アジア地域言語	150	150	100					400

系統	学部	学科等	必須科目 外国語	必須科目 国語	選択科目 公共、政治・経済	選択科目 日本史	選択科目 世界史	選択科目 地理	選択科目 数学	選択科目 簿記・会計	総点
社会科学	法	法律	150	150	100						400
		経営法	100	150	150						400
	経済	経済	150	100	150						400
		産業経済	150	100	150						400
	商	商	150	100	150						400
		経営	100	150	150						400
		貿易	150	100	150						400
		会計専門職プログラム（経営）	100	150	150						400
	商二	商	100	150	150						400
		会計専門職プログラム（商二）	100	150	150						400

系統	学部	学科等	必須科目 外国語	必須科目 数学	理科 物理	理科 化学	理科 生物	理科 地学	総点
理学・工学	理	応用数	100	200	100				400
		社会数理・情報インスティテュート	100	200	100				400
		物理科	100	100	200	—	—	—	400
		化	100	100	—	200	—	—	400
		地球圏科	100	100	200				400
	工	機械工	150	150	100	—	—	—	400
		電気工	150	150	100		—	—	400
		電子情報工	150	150	100		—	—	400
		化学システム工	150	150	100			—	400
		社会デザイン工	150	150	100				400
		建築	150	150	100		—	—	400

系統	学部	学科	必須科目 外国語	必須科目 数学	理科 物理	理科 化学	理科 生物	総点	医学科について
医療・保健	医	医（一次選考）	100	100	1科目100点×2科目			400	注1）二次選考（面接）は50点満点。調査書等の提出書類・小論文は、面接評価に活用する。
		看護	100	100	—	200		400	医学科から看護学科及び薬学部を併願した場合の理科は、高得点の1科目を採用し、200点に換算。
	薬	薬	100	100	200			400	

系統	学部	学科	必須科目 外国語	必須科目 国語	選択科目 公共、政治・経済	選択科目 日本史	選択科目 世界史	選択科目 地理	選択科目 数学	総点
注2）スポーツ科学	スポーツ科	スポーツ科	(100)	(100)	(100)					400
		健康運動科	(100)	(100)	(100)					400

注1）調査書等の提出書類・小論文は、面接評価に活用します。なお、小論文は一次選考日に実施します。
注2）スポーツ科学系統は、3科目のうち最高得点の1科目を200点に換算し、合計400点満点とします。

試験科目の詳細・時間

系統	学部	教科・科目 ＊の科目については注2)を参照してください。			時間(分)
人文科学	人文	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70
		国語	国語(現代の国語,言語文化*)		70
		選択科目	文化,日本語日本文,教育・臨床心理,英語,ドイツ語,フランス語,東アジア地域言語学科	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)から1科目選択	70
			歴史学科	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究)から1科目選択	
社会科学	法 経済 商 商二	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70
		国語	国語(現代の国語,言語文化*)		70
		選択科目	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕),簿記・会計から1科目選択		70
理学・工学	理	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70
		数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)		90
		理科	応用数,社会数理・情報インスティテュート,地球圏科学科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学)から1科目選択	70
			物理科学科	物理(物理基礎,物理)	
			化学科	化学(化学基礎,化学)	
	工	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70
		数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)		90
		理科	機械工学科	物理(物理基礎,物理)	70
			電気工,電子情報工,建築学科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学)から1科目選択	
			化学システム工学科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択	
			社会デザイン工学科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学)から1科目選択	
医療・保健	医	外国語	医学科(一次選考)	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70
		数学		数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)	90
		理科		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から2科目選択	120
		面接	(二次選考)	2月14日に面接を実施します。調査書等の提出書類・小論文は面接評価に活用します。なお、小論文は一次選考日(2月2日、時間50分)に実施します。	—
		外国語	看護学科	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70
		数学		数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)	70
		理科		化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択	70
	薬	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70
		数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)		70
		理科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択		70
スポーツ科学	スポーツ科	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70
		国語	国語(現代の国語,言語文化*)		70
		選択科目	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)から1科目選択		70

注1) 傾斜配点を採用し、3教科3科目400点満点とします(医学科を除く)。
注2) 言語文化について、漢文の独立問題は出題しません。
注3) 医療・保健系統における医学科の数学については、看護学科・薬学部の数学と出題範囲が異なりますが、併願する場合、考慮しません。

受験科目から見る併願パターン

同一系統の学科でも受験する科目によっては、併願することができません。入学検定料の併願割引とあわせて要チェック!

系統	学部	学科	必須科目 英語・国語		入学検定料
			選択科目 日本史,世界史,地理	選択科目 公共、政治・経済,数学	
人文科学	人文	文化	○	○	単　願：32,000円 2併願：42,000円 3併願：52,000円 ⋮ 併願はプラス10,000円
		歴史	○	×	
		日本語日本文	○	○	
		教育・臨床心理	○	○	
		英語	○	○	
		ドイツ語	○	○	
		フランス語	○	○	
		東アジア地域言語	○	○	

最大8併願　最大7併願

系統	学部	学科等	必須科目 英語・国語	入学検定料
			選択科目 公共、政治・経済,日本史,世界史,地理,数学,簿記・会計	
社会科学	法	法律	○	単　願：32,000円 2併願：42,000円 3併願：52,000円 ⋮ 併願はプラス10,000円
		経営法	○	
	経済	経済	○	
		産業経済	○	
	商	商	○	
		経営	○	
		貿易	○	
		会計専門職プログラム(経営)	○	
	商二	商	○	
		会計専門職プログラム(商二)	○	

最大10併願

系統	学部	学科等	必須科目 英語・数学				入学検定料
			理科 物理	理科 化学	理科 生物	理科 地学	
理学・工学	理	応用数	○	○	○	○	単　願：32,000円 2併願：42,000円 3併願：52,000円 ⋮ 併願はプラス10,000円
		社会数理・情報インスティテュート	○	○	○	○	
		物理科	○	×	×	×	
		化	×	○	×	×	
		地球圏科	○	○	○	○	
	工	機械工	○	×	×	×	
		電気工	○	○	×	×	
		電子情報工	○	○	×	×	
		化学システム工	○	○	○	×	
		社会デザイン工	○	○	○	○	
		建築	○	○	×	×	

最大10併願　最大9併願　最大5併願　最大4併願

系統	学部	学科	必須科目 英語・数学・(小論文)	入学検定料	必須科目 英語・数学			入学検定料
			理科2科目 物理,化学,生物		理科 物理	理科 化学	理科 生物	
医療・保健	医	医(一次選考)	○	単　願：60,000円 2併願：70,000円 3併願：80,000円	×	×	×	単　願：32,000円 2併願：42,000円
		看護	○		×	○	○	
	薬	薬	○		○	○	○	

最大3併願　単願　最大2併願　最大2併願

系統	学部	学科	必須科目 英語・国語	入学検定料
			選択科目 公共、政治・経済,日本史,世界史,地理,数学	
スポーツ科学	スポーツ科	スポーツ科	○	単　願：32,000円 2併願：42,000円
		健康運動科	○	

最大2併願

受験例と解説①［単願］

例 応用数学科（理学部）を受験する ～数学が得意なAさんの場合～

1 「系統」と「科目・配点」の確認

科目＼系統	理学・工学系統
	応用数学科（配点）
英　語	100点（1.0倍）
数　学	200点（2.0倍）
理　科	100点（1.0倍）
総点（満点）	400点

数学の配点が高い

解説
まずは「系統」と「科目・配点」を確認しよう。

出願・受験

2 試験結果（得点）

試験日 2/2

採点

数学が得意！

英　語	65点／100点中
数　学	83点／100点中
化　学	62点／100点中
Aさんの総点	210点／300点中

解説
試験は100点満点で採点します。

換算

3 Aさんの換算後の点数

科目＼系統	理学・工学系統
	応用数学科
英　語（65点）	×1.0倍＝ 65点／100点中
数　学（83点）	×2.0倍＝166点／200点中
化　学（62点）	×1.0倍＝ 62点／100点中
総点（210点）	293点／400点中

解説
配点に応じて得点を換算します。
高得点の数学が2.0倍！

合否判定

4 合否結果

科目＼系統	理学・工学系統
	応用数学科
Aさんの総点	293点 高い
合格最低点※	284点
合否（結果）	合格

解説
換算後の総点が合格最低点を上回っているので、合格です！
得意な「数学」を最大限に活かした結果と言えます。

※合格最低点は一例であり、過去の実績点ではありません。

受験例と解説②［併願］

例 経済学科（経済学部）と経営学科（商学部）を併願する ～2つの学科を希望しているBさんの場合～

1 「系統」と「科目・配点」の確認

科目＼系統	社会科学系統	
	経済学科（配点）	経営学科（配点）
英　語	150点（1.5倍）	100点（1.0倍）
国　語	100点（1.0倍）	150点（1.5倍）
選択科目	150点（1.5倍）	150点（1.5倍）
総点（満点）	400点	400点

解説
同一系統（社会科学）の学科なので併願OK！
ただし、配点は異なります。

出願・受験

2 試験結果（得点）

試験日 2/2

採点

国語が苦手…

英　語	66点／100点中
国　語	50点／100点中
日本史	72点／100点中
Bさんの総点	188点／300点中

解説
試験は100点満点で採点します。

換算

3 Bさんの換算後の点数

科目＼系統	社会科学系統	
	経済学科	経営学科
英　語（66点）	×1.5倍＝ 99点／150点中	×1.0倍＝ 66点／100点中
国　語（50点）	×1.0倍＝ 50点／100点中	×1.5倍＝ 75点／150点中
日本史（72点）	×1.5倍＝108点／150点中	×1.5倍＝108点／150点中
総点（188点）	257点／400点中	249点／400点中

解説
経済学科と経営学科それぞれの配点に応じて得点を換算します。
配点が異なるので、換算後の点数も異なっています。

合否判定

4 合否結果

科目＼系統	社会科学系統	
	経済学科	経営学科
Bさんの総点	257点 高い	249点 高い
合格最低点※	240点	247点
合否（結果）	合格	合格

苦手な国語を配点の高い英語でカバーできています。

苦手な国語を配点の高い日本史でカバーできています。

解説
換算後の総点が合格最低点を上回っているので両方で合格です。
「配点」と「合格最低点」が合否を分けるポイントです。

※合格最低点は一例であり、過去の実績点ではありません。

Keyword 併願可／各地受験　出願資格 P.120参照

前期日程

試験日 2/3(火)、2/4(水)、2/5(木)、2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)

入学検定料　応援割
1学科[1日]出願につき 32,000円
同一学科併願時(2月11日) 7,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	40
	歴史	70	30
	日本語日本文	70	30
	教育・臨床心理	110	45
	英語	90	42
	ドイツ語	50	20
	フランス語	50	20
	東アジア地域言語	65	29
法	法律	430	185
	経営法	200	85
経済	経済	460	225
	産業経済	200	90

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	110
	経営	240	105
	会計専門職PGM(経営)		5
	貿易	180	83
商二	商	165	85
理	応用数	65	25
	社会数理・情報INST		11
	物理科	60	32※1
	化	65	35※2
	地球圏科	60	34

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	55
	電気工	110	55
	電子情報工	150	75
	化学システム工	110	55
	社会デザイン工	110	50
	建築	110	50
医	看護	110	70
薬	薬	230	105※3
スポーツ科	スポーツ科	225	31※4
	健康運動科	70	25

※1　募集人員のうち10人を【物理重視型】で募集
※2　募集人員のうち10人を【化学重視型】で募集
※3　募集人員のうち15人を【理科重視型】で募集
※4　【実技型】25人、【小論文型】6人で計31人
表記について：商二…商学部第二部の略
PGM…プログラムの略
INST…インスティテュートの略

スケジュール

出願期間
インターネット出願
12/20(土)～1/13(火)

試験日
2/3(火)、2/4(水)、2/5(木)
2/6(金)、2/11(水)
スポーツ科【実技型】
2/6(金)・2/7(土)
2/11(水)・2/12(木)
試験場は福岡のみ

合格発表
2/21(土)

入学手続締切日
入学申込金締切
2/27(金)
入学手続締切
3/6(金)

他大学等を併願している方に限り、3月23日(月)まで学費等納入金の振込(入学手続書類の提出含む)を延期することができます。

POINT

選考方法　3科目の総点(300点満点)で選考します。
3科目の総合力で勝負！

併願OK　複数の試験日を設定！ 各試験日に1学科出願できます。
試験日をかえて、同一学科や異なる学科を併願できます。
最大で5回の受験チャンス！

☑ チャンスが広がる「同一学科併願」

前期日程において、同一学科を2回受験することを「同一学科併願」と呼んでいます。
例えば、看護学科は2/6と2/11が試験日ですが、試験日が異なるので、両日とも受験することが可能です。
同一学科併願した場合は**総点の高い**方で合否判定します。

☑ 第一志望学科の同一学科併願を後押し！ 入学検定料割引「応援割」

前期日程の入学検定料は1学科(1日)につき32,000円ですが、同一学科を併願する場合(2月11日)に限り、**入学検定料割引「応援割」**が適用され、7,000円で併願することが可能です。
第一志望学科の合格を目指して、同一学科併願を希望する受験生を後押しします。

☑ 2/3～6は全国8会場、2/11は全国14会場で試験を実施

福岡・東京・大阪・高松・松山・広島・山口・北九州・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・那覇

試験場 ＞ P.130参照

注：東京・大阪・高松・松山・北九州・那覇は2/11のみ

☑ あわせてCHECK

入試成績優秀者奨学金「FUスカラシップ」 ＞ P.88参照
特別考慮 ＞ P.120参照

試験科目の詳細・時間・配点

学部	教科・科目 ＊の科目については注4)を参照してください。				時間(分)	配点
人文 法 経済 商 商二	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)			70	100
	国語	国語(現代の国語,言語文化*)			70	100
	選択科目	人文	文化,日本語日本文,教育・臨床心理,英語,ドイツ語,フランス語,東アジア地域言語学科	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)から1科目選択	70	100
			歴史学科	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究)から1科目選択		
		法		地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)から1科目選択		
		経済,商二		地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕),簿記・会計から1科目選択		
		商	商、経営、貿易学科			
			会計専門職プログラム(経営)	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕),簿記・会計から1科目選択		
理 注2)	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)			70	100
	数学	応用数学科		数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)	90	130
		物理科学科				100
		社会数理・情報インスティテュート,化,地球圏科学科		数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)		
	理科	応用数学科		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学)から1科目選択	70	70
		物理科学科		物理(物理基礎,物理)		100
		化学科		化学(化学基礎,化学)		
		地球圏科学科		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学)から1科目選択		
	選択科目	【2月4日】	社会数理・情報インスティテュート 注1)	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),国語(現代の国語,言語文化*)から1科目選択		
		【2月11日】		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学),地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済から1科目選択		
	外国語	【2月3日】物理重視型	物理科学科	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70	50
	数学			数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)	90	50
	理科			物理(物理基礎,物理)	70	200
	外国語	【2月3日】化学重視型	化学科	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70	50
	数学			数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)	90	50
	理科			化学(化学基礎,化学)	70	200
工	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)			70	100
	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)			90	100
	理科	機械工学科		物理(物理基礎,物理)	70	100
		電気工,電子情報工,社会デザイン工,建築学科		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学)から1科目選択		
		化学システム工学科		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択		
医	外国語	看護学科		英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70	100
	国語			国語(現代の国語,言語文化*)	70	100
	理科			化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択	70	100
薬 注3)	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)			70	100
	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)			90	100
	理科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択			70	100
	外国語	【2月5日】理科重視型	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		70	50
	数学		数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)		70	50
	理科		物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択		70	200
スポーツ科	外国語	【実技型】	スポーツ科学科	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70	100
	選択科目			国語(現代の国語,言語文化*)または数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)から1科目選択	70	100
	保健体育			体育実技(専門実技試験 注5)または体力・運動能力試験 注6))	―	100
	外国語	【小論文型】		英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70	100
	国語			国語(現代の国語,言語文化*)	70	100
	保健体育			小論文(調査書の評価を含む)	70	100
	外国語	健康運動科学科		英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	70	100
	国語			国語(現代の国語,言語文化*)	70	100
	保健体育			小論文(調査書の評価を含む)	70	100

注1) 社会数理・情報インスティテュートは、試験日によって選択できる科目が異なります。
注2) 理学部物理科学科および化学科は、試験日によって配点が異なります。
注3) 薬学部は、試験日によって入試科目の範囲および配点が異なります。
注4) 言語文化について、漢文の独立問題は出題しません。
注5) スポーツ科学部スポーツ科学科の実技型における専門実技試験の実施種目は以下の18競技種目です。18競技種目のうち1種目を選択して受験してください。なお、試験では専門競技の競技歴も考慮したうえ、専門競技の基礎力を評価します。(1)陸上競技、(2)体操競技、(3)水泳、(4)新体操、(5)柔道、(6)剣道(なぎなたを含む)、(7)レスリング、(8)バスケットボール、(9)バレーボール、(10)ハンドボール、(11)サッカー、(12)ラグビー、(13)バドミントン、(14)卓球、(15)硬式テニス、(16)ソフトテニス、(17)ソフトボール、(18)硬式野球
注6) スポーツ科学部スポーツ科学科の実技型における体力・運動能力試験の実施種目は「50m走、ハンドボール投、立ち幅跳、反復横跳、20mシャトルラン(往復持久走)」の5種目です。5種目すべてを受験してください。なお、評価の対象は5種目のうち記録上位の3種目とし、専門競技の競技歴についても考慮します。

試験日 2/3(火)、2/4(水)、2/5(木)、2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)　Keyword 併願可／各地受験　出願資格 P.120参照

試験日（学科別）

各試験日に1学科出願できます。[最大5併願]
※同一学科を併願する場合（2月11日）に限り、入学検定料割引「応援割」が適用され、割安な入学検定料にて併願できます。

学部	学科等	2月3日(火)	2月4日(水)	2月5日(木)	2月6日(金)	2月7日(土)	2月11日(水)	2月12日(木)
人文	文化				●		●*	
	歴史		●				●*	
	日本語日本文			●			●*	
	教育・臨床心理	●					●*	
	英語			●			●*	
	ドイツ語	●					●*	
	フランス語		●				●*	
	東アジア地域言語				●		●*	
法	法律		●				●*	
	経営法	●					●*	
経済	経済				●		●*	
	産業経済			●			●*	
商	商	●					●*	
	経営			●			●*	
	貿易		●				●*	
	会計専門職プログラム（経営）		○				○*	
商二	商				○		○*	
理	応用数	●					●*	
	物理科		●				●*	
	物理科［物理重視型］	○						
	化		●				●*	
	化［化学重視型］	○						
	地球圏科	●					●*	
	社会数理・情報インスティテュート		●				●*	
工	機械工			●			●*	
	電気工				●		●*	
	電子情報工			●			●*	
	化学システム工				●		●*	
	社会デザイン工			●			●*	
	建築				●		●*	
医	看護				●		●*	
薬	薬	●					●*	
	薬［理科重視型］			○				
スポーツ科	スポーツ科［実技型］※					●		●*
	スポーツ科［小論文型］※				●		●*	
	健康運動科			●			●*	

※ スポーツ科学科の実技型と小論文型の同一日受験は不可。実技型の試験地は本学（福岡）のみの1会場で実施。
*は入学検定料割引「応援割」対象
（同一学科を併願する場合（同じ学科を2回受験する際の2回目［2月11日］）に限り適用されます。ただし、物理科学科、化学科、薬学科、スポーツ科学科については、同一方式の併願が対象となります）

1. 同一学科を併願する場合に限り、入学検定料割引「応援割」が適用されます。
2. ●の学科は、「前期日程・共通テスト併用型」にも出願できます。

例 看護学科の出願パターンと入学検定料

前期日程 2月6日	前期日程 2月11日	前期日程・共通テスト併用型	
○ 32,000円	○ 7,000円（注1）	○ 10,000円	Aさん
○ 32,000円	○ 7,000円（注1）	×	Bさん
○ 32,000円	×	○ 10,000円	Cさん
○ 32,000円	×	×	Dさん

前期日程 2月6日	前期日程 2月11日	前期日程・共通テスト併用型	
×	○ 32,000円（注2）	○ 10,000円	Eさん
×	○ 32,000円（注2）	×	Fさん

注1:AさんとBさんの2月11日の入学検定料は「応援割」が適用されます。
注2:EさんとFさんは、2月11日のみの出願のため「応援割」は適用されません。

○…出願する　×…出願しない

入学検定料割引「応援割」の詳細は　P.89参照
前期日程・共通テスト併用型の詳細は　P.100参照

受験例と解説

例 異なる学科を併願する
～商学科と経営学科を希望しているAさんの場合～

1 「試験日」の確認

学部	学科	2月3日	2月5日	2月11日
商学部	商学科	●		●
	経営学科		●	●

1日1学科出願可能

解説
1日1学科出願可能です。よって、2月11日は、商学科と経営学科どちらか一方しか受験することができません。
注:試験日が異なれば試験問題も異なります。

Aさん　商学科（2月3日）と経営学科（2月11日）を受験

入学検定料は？
2月 3日：32,000円
2月11日：32,000円
} 64,000円

2 合否結果

	英語	国語	日本史	総点	合格最低点※	
2月3日 商学科	50点	60点	65点	175点	185点	不合格
2月11日 経営学科	70点	55点	65点	190点	183点	合格

解説
異なる学科（商・経営）を併願した場合は、それぞれの学科で合否判定します。

例 同一学科を併願する
～経済学科を希望しているBさんの場合～

1 「試験日」の確認

学部	学科	2月6日	2月11日
経済学部	経済学科	●	●

1日1学科出願可能

応援割対象

解説
試験日が異なるので、同一学科を併願することも可能です。

Bさん　経済学科（2月6日と2月11日）を受験

入学検定料（応援割）は？
2月 6日：32,000円
2月11日：7,000円
} 39,000円

2 合否結果

総点の高い方を判定に使用

	英語	国語	日本史	総点	合格最低点※	
2月6日 経済学科	52点	64点	71点	187点	174点	合格
2月11日 経済学科	59点	48点	65点	172点		

解説
同一学科を併願した場合は総点が高い方で合否判定します。
6日の総点（187点）が合格最低点（174点）を上回っているので合格です！

※合格最低点は一例であり、過去の実績点ではありません。

Keyword 共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格 P.120参照

前期日程・共通テスト併用型

試験日　前期日程 2/3(火)~2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)
共通テスト 1/17(土)・1/18(日)

入学検定料
1学科出願につき　10,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	10
	歴史	70	8
	日本語日本文	70	8
	教育・臨床心理	110	10
	英語	90	7
	ドイツ語	50	4
	フランス語	50	4
	東アジア地域言語	65	3
法	法律	430	37
	経営法	200	13
経済	経済	460	25
	産業経済	200	10

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	20
	経営	240	20
	貿易	180	15
理	応用数	65	2
	社会数理・情報INST		若干人
	物理科	60	2
	化	65	2
	地球圏科	60	2

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	8
	電気工	110	8
	電子情報工	150	13
	化学システム工	110	8
	社会デザイン工	110	13
	建築	110	13
医	看護	110	4
薬	薬	230	7
スポーツ科	スポーツ科	225	4
	健康運動科	70	4

表記について：INST…インスティテュートの略

スケジュール

出願期間
インターネット出願
12/20(土)~1/13(火)

試験日
前期日程
2/3(火)~2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)
共通テスト
1/17(土)・1/18(日)

合格発表
2/21(土)

入学手続締切日
入学申込金締切
2/27(金)
入学手続締切
3/6(金)

他大学等を併願している方に限り、3月23日(月)まで学費等納入金の振込（入学手続書類の提出含む）を延期することができます。

POINT

選考方法　「前期日程」と「共通テスト」を合計した総点で選考します。

「前期日程」と「共通テスト」両方を受験する人のみ出願可能！

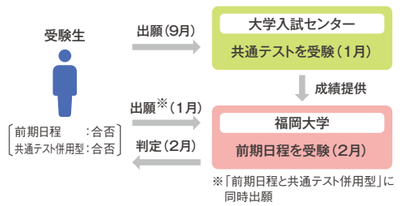
併願OK　「前期日程」に出願している学科については、「前期日程・共通テスト併用型」も併せて出願できます。

「前期日程」「共通テスト併用型」それぞれで合否判定！

☑ 共通テストとは？

独立行政法人大学入試センターが実施する「大学入学共通テスト」のことです。共通テストを受験するには、9月に出願手続き（検定料必要）を行う必要があります。

☑ 前期日程・共通テスト併用型の流れ



☑ 「前期日程」との同時併願で合格率UP

前期日程で不合格となった受験生（528人）は共通テスト併用型を併願していたことにより、合格を勝ち取っています！

■合格者の内訳（令和7年度）

☑ あわせてCHECK

英語の資格・検定試験活用制度　対象　P.89参照

試験科目・配点

「前期日程」では必ず3科目受験してください。
注：3科目とも受験しなければ「前期日程・共通テスト併用型」の選考の対象としません。

学部・学科等		入試制度	本学が指定する教科・科目				配点	総点
人文	文化	一般選抜 前期日程	外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）		高得点 2科目	200（各100）	400
			国語	国語（現代の国語,言語文化）				
			選択科目	地理（地理総合,地理探究）,日本史（日本史探究）,世界史（世界史探究）,公共、政治・経済,数学（数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕）から1科目選択				
		※1 共通テスト	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	（注1）	高得点 2科目	200（各100）	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）			
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
	歴史	一般選抜 前期日程	外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）		高得点 1科目	100	400
			国語	国語（現代の国語,言語文化）				
			選択科目	地理（地理総合,地理探究）,日本史（日本史探究）,世界史（世界史探究）から1科目選択		必須 科目	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	（注1）	高得点 1科目	100	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点 1科目	100	
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
	日本語日本文 教育・臨床心理 ドイツ語 フランス語 東アジア地域言語	一般選抜 前期日程	外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）		必須科目	100	400
			国語	国語（現代の国語,言語文化）		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	日本語日本文,ドイツ語,フランス語,東アジア地域言語学科 「英語（リーディング・リスニング）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 教育・臨床心理学科 「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	高得点 2科目	200（各100）	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）			
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						

試験日　前期日程　2/3(火)～2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)
共通テスト　1/17(土)・1/18(日)
Keyword　共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格　P.120参照

試験科目・配点

学部・学科等		入試制度	本学が指定する教科・科目				配点	総点
人文	英語	一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		必須科目	100	400
			国語	国語(現代の国語,言語文化)		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	
			国語	「国語」		高得点 1科目	100	
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
法		一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		必須科目	100	400
			国語	国語(現代の国語,言語文化)		高得点 1科目	100	
			選択科目	地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済,数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)から1科目選択				
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
経済		一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		必須科目	100	400
			国語	国語(現代の国語,言語文化)		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
商		一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		必須科目	100	400
			国語	国語(現代の国語,言語文化)		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						

学部・学科等		入試制度	本学が指定する教科・科目				配点	総点
理	応用数	一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)		必須科目	130	400
			理科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学)から1科目選択		〃	70	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 1科目	100	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)	必須科目	100	
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
	社会数理・情報インスティテュート	一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)		必須科目	100	400
			選択科目	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学),国語(現代の国語,言語文化),地理(地理総合,地理探究),日本史(日本史探究),世界史(世界史探究),公共、政治・経済から1科目選択		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 1科目	100	
			国語	「国語」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)	必須科目	100	
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。						
	物理科	※1 一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)		必須科目	100	400
			理科	物理(物理基礎,物理)		〃	100	
		※2 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　2月3日【物理重視型】のみに出願する者は前期日程・共通テスト併用型には出願できません。2月4日・11日のいずれか、または両日に出願する者に限ります。 ※2　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						
	化	※1 一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)		必須科目	100	400
			理科	化学(化学基礎,化学)		〃	100	
		※2 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　2月3日【化学重視型】のみに出願する者は前期日程・共通テスト併用型には出願できません。2月4日・11日のいずれか、または両日に出願する者に限ります。 ※2　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						
	地球圏科	一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)		必須科目	100	400
			理科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物),地学(地学基礎,地学)から1科目選択		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	
			理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目		〃	100 (各50)	
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「理科」については2科目とも各100点を50点に換算します。						

試験日　前期日程　2/3(火)～2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)
共通テスト　1/17(土)・1/18(日)
Keyword　共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格　P.120参照

試験科目・配点

学部・学科等		入試制度		本学が指定する教科・科目			配点	総点
工	機械工 電気工 化学システム工 社会デザイン工 建築	一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)		必須科目	100	400
			理科	機械工学科　物理(物理基礎,物理) 電気工,社会デザイン工,建築学科 物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学)から1科目選択 化学システム工学科 物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	機械工,電気工,建築学科　「物理」「化学」から1科目 化学システム工,社会デザイン工学科 「物理」「化学」「生物」から1科目	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						
	電子情報工	一般選抜 前期日程	数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕)		必須科目	100	400
			理科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学)から1科目選択		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	
			国語	「国語(近代以降の文章)」		高得点 1科目	100	
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理」「化学」から1科目	(注4)			
			情報	「情報Ⅰ」				
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						
医	看護	一般選抜 前期日程	国語	国語(現代の国語,言語文化)		必須科目	100	400
			理科	化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択		〃	100	
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)	〃	100	
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に換算します。						
薬		※1 一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		高得点 2科目	200 (各100)	600
			理科	物理(物理基礎,物理),化学(化学基礎,化学),生物(生物基礎,生物)から1科目選択				
			数学	数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕)				
		※2 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 1科目	100	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)	必須科目	100	
			理科	「物理」「化学」「生物」から1科目	(注4)	〃	200	
		※1　2月5日【理科重視型】のみに出願する者は前期日程・共通テスト併用型には出願できません。2月3日・11日のいずれか、または両日に出願する者に限ります。 ※2　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に、「理科」は100点を200点に換算します。						

学部・学科等		入試制度		本学が指定する教科・科目			配点	総点
スポーツ科	スポーツ科 一般選抜 前期日程 【実技型】	一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		高得点 2科目	200 (各100)	400
			選択科目	国語(現代の国語,言語文化),数学(数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕)から1科目選択				
			保健体育	体育実技(専門実技試験または体力・運動能力試験)				
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						
	スポーツ科 一般選抜 前期日程 【小論文型】	一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		高得点 2科目	200 (各100)	400
			国語	国語(現代の国語,言語文化)				
			保健体育	小論文(調査書の評価を含む)				
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						
	健康運動科	一般選抜 前期日程	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)		高得点 2科目	200 (各100)	400
			国語	国語(現代の国語,言語文化)				
			保健体育	小論文(調査書の評価を含む)				
		※1 共通テスト	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点 2科目	200 (各100)	
			国語	「国語(近代以降の文章)」				
			地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)			
			数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)			
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	(注4)			
		※1　「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。						

共通テストの成績利用方法に関する注意事項

112ページの「共通テストの成績利用方法に関する注意事項」を参照してください。

試験日　前期日程 2/3(火)～2/6(金)・2/7(土)、2/11(水)・2/12(木)
共通テスト 1/17(土)・1/18(日)
Keyword 共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格 P.120参照

受験例と解説

「共通テスト併用型」の得点採用例を確認してください。
※「前期日程」の得点採用例は99ページ参照

例 文化学科の場合

1 「指定科目・配点」の確認

前期日程		共通テスト		総点
英語　国語　選択科目 高得点 2教科2科目 [200点]	＋	外国語　国語　地歴・公民　数学　理科　情報 高得点 2教科2科目 [200点]	＝	400点 [満点]

解説
文化学科の場合、前期日程の高得点2教科2科目と共通テストの高得点2教科2科目の点数を共通テスト併用型の合否判定に使用します。

Aさん　前期日程(2月6日)と共通テスト併用型に出願

2 合否判定に使用する点数

前期日程		共通テスト		総点
2月6日 英語 75点　国語 65点　日本史 70点 145点	＋	英語 80点　国語 70点　歴総,日探 60点 数Ⅰ,A 65点　生物 60点　情報Ⅰ 60点 150点	＝	295点

解説
Aさんの場合、前期日程の高得点科目である「英語」「日本史」と共通テストの高得点科目である「英語」「国語」の点数が合否判定に採用されます。

例 法律学科(前期日程：同一学科併願)の場合

1 「指定科目・配点」の確認

前期日程		共通テスト		総点
英語　国語　選択科目 指定　高得点 1教科1科目	＋	外国語(英語)　国語　地歴・公民　数学　理科　情報 高得点 2教科2科目	＝	400点 [満点]

解説
法律学科の場合、前期日程の「英語(指定)」と「国語・選択科目」のうち高得点1教科1科目、共通テストの高得点2教科2科目の点数を共通テスト併用型の合否判定に使用します。

Bさん　前期日程(2月4日と11日)と共通テスト併用型に出願

2 合否判定に使用する点数

前期日程(同一学科併願)		共通テスト		総点
指定：英語 / 高得点1教科1科目：国語、地理 2月4日　英語 70点　国語 50点　地理 65点 2月11日　英語 60点　国語 75点　地理 55点 145点 試験日を問わず高得点科目を採用	＋	英語 75点　国語 80点　地総,地探 60点 数学・理科・情報(未受験) 155点	＝	300点

解説
Bさんは、法律学科を同一学科併願しているので、前期日程の点数は試験日を問わず高得点科目(2月4日の英語と2月11日の国語)が採用されます。共通テストの高得点科目である「英語」「国語」の点数を加えた総点(300点)で合否判定します。

例 機械工学科の場合

1 「指定科目・配点」の確認

前期日程		共通テスト		総点
数学　理科(物理) [指定] 2教科2科目	＋	外国語(英語)　国語　数学　理科　情報 高得点 2教科2科目	＝	400点 [満点]

解説
機械工学科の場合、前期日程の指定科目「数学」「理科(物理)」と共通テストの高得点2教科2科目を共通テスト併用型の合否判定に使用します。

Cさん　前期日程(2月11日)と共通テスト併用型に出願

2 合否判定に使用する点数

前期日程		共通テスト		総点
2月11日 英語 55点　数学 70点　物理 75点 145点 英語の点数は使用しない	＋	英語 50点　国語 60点 数Ⅱ,B,C 65点　物理 70点　情報Ⅰ 50点 135点	＝	280点

解説
Cさんの場合、前期日程の「数学」「物理」と共通テストの高得点科目である「数学」「物理」の点数が合否判定に採用されます。

例 看護学科(前期日程：同一学科併願)の場合

1 「指定科目・配点」の確認

前期日程		共通テスト		総点
国語　理科 [指定] 2教科2科目	＋	外国語(英語)　数学 [指定] 2教科2科目	＝	400点 [満点]

解説
看護学科の場合、前期日程の指定科目「国語」「理科」と共通テストの指定科目「英語」「数学」の点数を共通テスト併用型の合否判定に使用します。

Dさん　前期日程(2月6日、2月11日)と共通テスト併用型に出願

2 合否判定に使用する点数

前期日程(同一学科併願)		共通テスト		総点
2月6日　英語 50点　国語 60点　生物 80点 2月11日　英語 70点　国語 70点　生物 70点 150点 英語の点数は使用しない	＋	英語 70点　数Ⅰ,A 85点 国語 65点　公,政経 60点　生物 75点 155点 国語、公共,政治・経済、生物の点数は使用しない	＝	305点

解説
Dさんは、看護学科を同一学科併願しているので前期日程の点数は試験日を問わず高得点科目(2月6日の生物と2月11日の国語)が採用されます。共通テストの「英語」「数学」の点数を加えた総点(305点)で合否判定します。

Keyword 共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格 P.120参照

共通テスト利用型（Ⅰ期）

試験日 共通テスト 1/17(土)・1/18(日)

入学検定料　併願割
1学科出願につき 15,000円［医学科は27,000円］
2学科目以降 10,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	5
	歴史	70	4
	日本語日本文	70	4
	教育・臨床心理	110	3
	英語	90	4
	ドイツ語	50	3
	フランス語	50	3
	東アジア地域言語	65	3
法	法律	430	18
	経営法	200	8
経済	経済	460	17
	産業経済	200	8

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	4
	経営	240	4
	会計専門職PGM（経営）		2
	貿易	180	4
商二	商	165	5
	会計専門職PGM（商二）		若干人
理	応用数	65	2
	社会数理・情報INST		若干人
	物理科	60	2
	化	65	2
	地球圏科	60	2

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	4
	電気工	110	4
	電子情報工	150	5
	化学システム工	110	4
	社会デザイン工	110	4
	建築	110	4
医	医	110	10
	看護	110	3
薬	薬	230	7
スポーツ科	スポーツ科	225	5
	健康運動科	70	4

表記について：商二…商学部第二部の略
PGM…プログラムの略
INST…インスティテュートの略

スケジュール

出願期間
インターネット出願
12/20(土)～1/13(火)

試験日
共通テスト
1/17(土)・1/18(日)
医学科
一次選考 1/17(土)・1/18(日)
二次選考 2/14(土)

合格発表
2/21(土)
医学科
一次合格 2/9(月)
二次合格 2/21(土)

入学手続締切日
入学申込金締切 2/27(金)
入学手続締切 3/6(金)

他大学等を併願している方に限り、3月23日（月）まで学費等納入金の振込（入学手続書類の提出含む）を延期することができます。

POINT

選考方法
「共通テスト」の総点で選考します。
［医学科・スポーツ科学部除く］
※個別試験は課しません。

併願OK
複数の学部・学科を併願できます。
※各学科が指定する教科・科目を共通テストで受験する必要があります。

共通テストの成績を利用するので、福岡大学には出願のみで合否判定を受けることができます！

☑ 医学科は二段階選抜

一次選考 1/17(土)・1/18(日) 〉 共通テストの総点（700点満点）
二次選考 2/14(土) 〉 一次選考（700点満点） ＋ 面接（50点満点）

※調査書等の提出書類は、面接評価に活用します。
※面接の詳細は、P.63を参照してください。

☑ スポーツ科学部

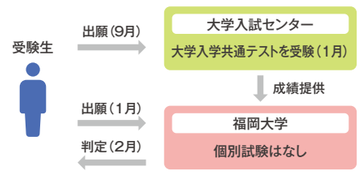
共通テストの総点（400点満点）と提出書類（100点満点）の総点で選考します。

☑ 共通テストとは？

〉 P.100参照

☑ 共通テスト実施前に出願締切

☑ 共通テスト利用型の流れ



☑ あわせてCHECK

入試成績優秀者奨学金「FUスカラシップ」 〉 P.88参照
英語の資格・検定試験活用制度 対象 〉 P.89参照

試験科目・配点

学部・学科等		本学が指定する教科・科目				配点	総点
人文	文化 日本語日本文 教育・臨床心理 英語 ドイツ語 フランス語 東アジア地域言語	外国語	文化,日本語日本文,教育・臨床心理,英語学科「英語（リーディング・リスニング）」 ドイツ語学科「英語（リーディング・リスニング）」「ドイツ語」から1科目 フランス語学科「英語（リーディング・リスニング）」「フランス語」から1科目 東アジア地域言語学科 「英語（リーディング・リスニング）」「中国語」「韓国語」から1科目	（注1）	必須科目	200	600
		国語	「国語」		〃	200	
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点2科目	200（各100）	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
		情報	「情報Ⅰ」				
	歴史	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
		国語	「国語」		〃	200	
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」から1科目	（注6）	〃	100	
			「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注5）	高得点1科目	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
		情報	「情報Ⅰ」				
		・「地理歴史・公民」を2科目受験している場合は、第1解答科目が「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」のいずれかであることを条件とします。（注5） ・「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」の中から2科目受験している場合は、第1解答科目を採用します。（注6）				
法		外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
		国語	「国語」		〃	200	
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点2科目	200（各100）	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
		情報	「情報Ⅰ」				
経済		外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	200	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		高得点2科目	200（各100）	
		国語	「国語」				
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
		情報	「情報Ⅰ」				
		・「数学（数学Ⅰ,数学A）」は100点を200点、「国語」は200点を100点に換算します。					
商 商二 （会計専門職プログラムを含む）		外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	100	400
		国語	「国語」		〃	100	
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点2科目	200（各100）	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
		情報	「情報Ⅰ」				
		・「外国語（英語）」は200点を100点、「国語」は200点を100点に換算します。					

試験日　共通テスト　1/17(土)・1/18(日)　Keyword　共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格　P.120参照

試験科目・配点

学部・学科等		本学が指定する教科・科目				配点	総点
理	応用数 社会数理・情報 インスティテュート	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	650
		国語	「国語(近代以降の文章)」		〃	100	
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)	〃	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
		理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	(注4)	〃	100	
		情報	「情報Ⅰ」		〃	50	
		・「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に、「情報Ⅰ」は100点を50点に換算します。					
	物理科	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	高得点2科目	200(各100)	500
		国語	「国語(近代以降の文章)」				
		情報	「情報Ⅰ」				
		理科	「化学」「生物」から1科目	(注7)			
			「物理」		必須科目	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
		・「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。 ・「理科(基礎を付していない科目)」を2科目受験している場合は、第1解答科目が「物理」であることを条件とします(注7)。					
	化	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	200	600
		国語	「国語(近代以降の文章)」		高得点1科目	100	
		情報	「情報Ⅰ」				
		理科	「物理」「生物」から1科目	(注8)			
			「化学」		必須科目	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
		・「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。 ・「理科(基礎を付していない科目)」を2科目受験している場合は、第1解答科目が「化学」であることを条件とします(注8)。					
	地球圏科	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	650
		国語	「国語(近代以降の文章)」		〃	100	
		理科	「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目		〃	200(各100)	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
		情報	「情報Ⅰ」		〃	50	
		・「外国語(英語)」は200点を100点に、「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に、「情報Ⅰ」は100点を50点に換算します。					

学部・学科等		本学が指定する教科・科目				配点	総点
工		外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	200	1000
		国語	「国語(近代以降の文章)」		〃	200	
		地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	(注2)	〃	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
		理科	機械工,電気工,電子情報工,建築学科　「物理」「化学」の2科目 化学システム工学科　「物理」「生物」から1科目と「化学」の2科目 社会デザイン工学科　「化学」「生物」から1科目と「物理」の2科目		〃	200(各100)	
		情報	「情報Ⅰ」		〃	100	
		・「国語(近代以降の文章)」は110点を200点に換算します。					
医	医	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	200	700
		国語	「国語(近代以降の文章)」		〃	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
			「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
		理科	「物理」「化学」「生物」から2科目		〃	200(各100)	
		・「国語(近代以降の文章)」は110点を100点に換算します。 ※一次選考合格者に対して面接を実施し、二次選考は一次選考の得点と面接の評価点(50点満点)により総合的に選考します。 ※調査書等の提出書類は、面接評価に活用します。					
	看護	外国語	「英語(リーディング・リスニング)」	(注1)	必須科目	100	420
		国語	「国語(近代以降の文章)」		〃	100	
		数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	(注3)	〃	100	
		理科	「化学」「生物」から1科目	(注4)	〃	100	
		情報	「情報Ⅰ」		〃	20	
		・「外国語(英語)」は200点を100点に「国語(近代以降の文章)」は110点を100点、「情報Ⅰ」は100点を20点に換算します。					

試験日　共通テスト　1/17(土)・1/18(日)　Keyword　共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格　P.120参照

試験科目・配点

学部・学科等	本学が指定する教科・科目				配点	総点
薬	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	100	650
	国語	「国語（近代以降の文章）」		〃	100	
	数学	「数学Ⅰ,数学A」		〃	100	
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
	理科	「物理」「生物」から1科目		〃	100	
		「化学」		〃	100	
	情報	「情報Ⅰ」		〃	50	
	・「外国語（英語）」は200点を100点に、「国語（近代以降の文章）」は110点を100点に、「情報Ⅰ」は100点を50点に換算します。					
スポーツ科	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	100	※400
	国語	「国語」		〃	100	
	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）	〃	100	
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点1科目	100	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
	情報	「情報Ⅰ」				
	・「外国語（英語）」は200点を100点に、「国語」は200点を100点に換算します。 ※書類審査（調査書100点）を加算し、500点満点で判定します。					

共通テストの成績利用方法に関する注意事項

「外国語」を指定教科・科目とする学部・学科において、成績利用方法は注1のとおりとする。
（注1）①大学入学共通テストの外国語（英語）の配点は、「リーディング（100点）」、「リスニング（100点）」の1:1となっているが、本学では、「リーディング（160点）」、「リスニング（40点）」の4:1の配点比率とする。
②外国語（英語）を指定教科・科目とする学部・学科において、英語の資格・検定試験活用制度を利用する場合は①の処理を行った後、加点表に基づいた点数を外国語（英語）の点数に加点したうえで各学部・学科の定める配点に換算する。なお、加点の結果、満点（200点）を超える場合は満点を上限とする。
また、「外国語」において英語以外の言語を指定科目として選択した場合でも英語の資格・検定試験活用制度を利用することができる。
③大学入試センターにより受験上の配慮としてリスニングを免除された者は、リーディングの得点を200点満点に換算し、さらに各学部・学科が定める配点に換算する。
「理科」において、「基礎を付した科目」とは、物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは物理・化学・生物・地学を指す。
「地理歴史・公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
「理科（基礎を付した科目）」については、2科目の受験で1科目とみなす。
「地理歴史・公民」「数学」「理科」を指定教科・科目とする学部・学科において、**指定する科目数を超えて受験している場合**の成績利用方法は注2～注8のとおりとする。
（注2）「地理歴史・公民」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注3）「数学」を2科目受験している場合は、高得点の1科目を採用する。
（注4）「理科」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注5）「地理歴史・公民」を2科目受験している場合は、第1解答科目が「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」のいずれかであること（歴史学科）。
（注6）「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」の中から2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する（歴史学科）。
（注7）「理科」において「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目が「物理」であること（物理科学科）。
（注8）「理科」において「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目が「化学」であること（化学科）。

受験例と解説

例　法律学科の場合

1　「指定科目・配点」の確認

指定		高得点の2教科2科目				総点
外国語（英語）200点	国語200点	地歴・公民100点	数学100点	理科100点	情報100点	600点［満点］
400点		200点				

＋　＝

解説
法律学科の場合、「英語・国語（指定）」と「地歴・公民」「数学」「理科」「情報」のうち高得点2教科2科目（計4科目）を合否判定に使用します。

2　得点採用例

4教科4科目受験したAさん

指定		高得点の2教科2科目				総点
英語150点	国語140点	歴総,日探75点	数Ⅰ,A60点	理科未受験	情報未受験	425点
290点		135点				

＋　＝

解説
共通テスト利用型は、科目のバリエーションが豊富なので、“得意科目”が活かせたり、複数科目を受験して“ベスト”な点数で合否判定を受けることが可能です。

4教科5科目受験したBさん

指定		高得点の2教科2科目					総点
英語175点	国語130点	歴総,世探80点	数Ⅰ,A60点	数Ⅱ,B,C65点	理科未受験	情報未受験	450点
305点			1教科2科目				
		145点					

＋　＝

数学を2科目受験しているので高得点の1科目（数Ⅱ,B,C）を採用

5教科6科目受験したCさん

指定		高得点の2教科2科目					総点
英語180点	国語150点	地総,地探70点	数Ⅰ,A60点	数Ⅱ,B,C65点	生物70点	情報未受験	470点
330点		140点					

＋　＝

3教科4科目受験しているので高得点の2教科2科目（地理総合,地理探究、生物）を採用

Keyword 共通テスト利用／併願可／英語の資格・検定試験活用　出願資格 P.120参照

共通テスト利用型（Ⅱ期）

試験日 共通テスト 1/17(土)・1/18(日)

入学検定料（併願割）
1学科出願につき 15,000円
2学科目以降 10,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	3
	歴史	70	3
	日本語日本文	70	3
	教育・臨床心理	110	3
	英語	90	3
	ドイツ語	50	2
	フランス語	50	2
	東アジア地域言語	65	2
法	法律	430	15
	経営法	200	5
経済	経済	460	10
	産業経済	200	5

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	5
	経営	240	5
	貿易	180	5
商二	商	165	5
理	応用数	65	2
	社会数理・情報INST		若干人
	物理科	60	2
	化	65	2
	地球圏科	60	2

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	3
	電気工	110	3
	電子情報工	150	4
	化学システム工	110	3
	社会デザイン工	110	3
	建築	110	3
医	看護	110	3
薬	薬	230	7
スポーツ科	スポーツ科	225	3
	健康運動科	70	3

表記について：商二…商学部第二部の略
INST…インスティテュートの略

スケジュール

出願期間
インターネット出願
12/20(土)～1/20(火)

試験日
共通テスト
1/17(土)・1/18(日)

合格発表
2/21(土)

入学手続締切日
入学申込金締切 3/6(金)
入学手続締切 3/6(金)

他大学等を併願している方に限り、3月23日(月)まで学費等納入金の振込（入学手続書類の提出含む）を延期することができます。

POINT

選考方法
「共通テスト」の総点で選考します。
※個別試験は課しません。

併願OK
複数の学部・学科を併願できます。
※各学科が指定する教科・科目を共通テストで受験する必要があります。

共通テストの成績を利用するので、福岡大学には出願のみで合否判定を受けることができます！

☑ 共通テストとは？
＞ P.100参照

☑ 共通テスト（1/17・18）実施後に出願締切

[出願期間]
12/20(土)　1/17(土)・1/18(日)　1/20(火)
共通テスト
自己採点後でも出願可能！

☑ 共通テスト利用型の流れ
＞ P.108参照

☑ Ⅰ期とⅡ期の違い

■共通テスト利用型

	出願締切	必要科目数
Ⅰ期 ＞	共通テスト前	多い
Ⅱ期 ＞	共通テスト（1/17・18）後	少ない

☑ あわせてCHECK
英語の資格・検定試験活用制度 対象 ＞ P.89参照

試験科目・配点

学部（学科）	本学が指定する教科・科目				配点	総点
人文（歴史学科を除く）法 経済 商 商二	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
	国語	「国語」		〃	200	
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点1科目	200	
	数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
	・「地理歴史・公民」「数学」「理科」は100点を200点に換算します。					
人文（歴史学科）	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
	国語	「国語」		〃	200	
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」から1科目	（注2）	〃	200	
	・「地理歴史・公民」は100点を200点に換算します。					
理 工	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	高得点1科目	100	500
	国語	「国語（近代以降の文章）」				
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）			
	情報	「情報Ⅰ」				
	数学	「数学Ⅰ,数学A」		必須科目	100	
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
	理科	物理科,機械工学科 「物理」 化学科 「化学」 電気工,電子情報工,化学システム工,建築学科 「物理」「化学」から1科目 社会デザイン工学科 「物理」「化学」「生物」から1科目 応用数,社会数理・情報インスティテュート,地球圏科学科 「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	（注4）	〃	200	
	・「外国語（英語）」は200点を100点に、「国語（近代以降の文章）」は110点を100点に、「理科」は100点を200点に換算します。					
医（看護学科）	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
	国語	「国語（近代以降の文章）」		高得点1科目	200	
	数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
	理科	「化学」「生物」から1科目	（注4）	必須科目	200	
	・「国語（近代以降の文章）」は110点を200点に、「数学」「理科」は100点を200点に換算します。					
薬	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	高得点1科目	100	500
	国語	「国語（近代以降の文章）」				
	数学	「数学Ⅰ,数学A」		必須科目	100	
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
	理科	「物理」「化学」「生物」から1科目	（注4）	〃	200	
	・「外国語（英語）」は200点を100点に、「国語（近代以降の文章）」は110点を100点に、「理科」は100点を200点に換算します。					
スポーツ科	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	必須科目	200	600
	国語	「国語（近代以降の文章）」		〃	200	
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）	高得点1科目	200	
	数学	「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	（注3）			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注4）			
	・「国語（近代以降の文章）」は110点を200点に、「地理歴史・公民」「数学」「理科」はそれぞれ100点を200点に換算します。					

共通テストの成績利用方法に関する注意事項

112ページの「共通テストの成績利用方法に関する注意事項」を参照してください。

共通テスト利用型（Ⅲ期）

試験日 共通テスト 1/17(土)・1/18(日)

入学検定料 併願割
1学科出願につき 15,000円
2学科目以降 10,000円

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
経済	経済	460	3
	産業経済	200	2
薬	薬	230	3

スケジュール

出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
インターネット出願 2/15(日)～2/25(水)	共通テスト 1/17(土)・1/18(日)［薬学部 一次選考 1/17(土)・1/18(日) 二次選考 3/9(月)］	3/14(土)［薬学部 一次合格 3/5(木) 二次合格 3/14(土)］	3/23(月)

POINT

選考方法 「共通テスト」の総点で選考します。
［薬学部除く］
※個別試験は課しません。

併願OK 複数の学部・学科を併願できます。
※各学科が指定する教科・科目を共通テストで受験する必要があります。

共通テストの成績を利用するので、福岡大学には出願のみで合否判定を受けることができます！

☑ 薬学部は二段階選抜

一次選考 1/17(土)・1/18(日) 〉 共通テストの総点（400点満点）

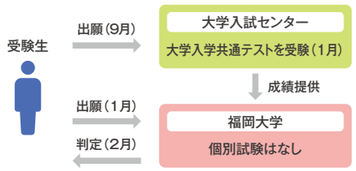
二次選考 3/9(月) 〉 一次選考（400点満点） ＋ 面接（50点満点）

※調査書等の提出書類は、面接評価に活用します。
※面接の詳細は、P.67を参照してください。

☑ 共通テストとは？

〉 P.100参照

☑ 共通テスト利用型の流れ



☑ あわせてCHECK

英語の資格・検定試験活用制度 対象 〉 P.89参照

試験科目・配点

学部・学科	本学が指定する教科・科目				配点	総点
経済	数学	「数学Ⅰ,数学A」		必須科目	100	300
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」		〃	100	
	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	高得点1科目	100	
	国語	「国語」				
	地理歴史・公民	「地理総合,地理探究」「歴史総合,日本史探究」「歴史総合,世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共,倫理」「公共,政治・経済」から1科目 ※「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲を選択解答	（注2）			
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲を選択解答	（注3）			
	情報	「情報Ⅰ」				
	・「外国語（英語）」「国語」はそれぞれ200点を100点に換算します。					
薬	外国語	「英語（リーディング・リスニング）」	（注1）	高得点2科目	200（各100）	400
	国語	「国語（近代以降の文章）」				
	数学	「数学Ⅰ,数学A」				
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」				
	理科	「物理」「化学」「生物」から1科目	（注5）			
		「物理」「化学」「生物」から1科目	（注4）	必須科目	200	
	・「外国語（英語）」は200点を100点に、「国語（近代以降の文章）」は110点を100点、「理科」の第1解答科目は100点を200点に換算します。 ・一次選考合格者に対して面接を実施し、二次選考は一次選考の得点と面接の評価点（50点満点）により総合的に選考します。 ・調査書等の提出書類は、面接評価に活用します。					

共通テストの成績利用方法に関する注意事項

「外国語」を指定教科・科目とする学部・学科において、成績利用方法は注1のとおりとする。
（注1） ①大学入学共通テストの外国語（英語）の配点は、「リーディング（100点）」、「リスニング（100点）」の1:1となっているが、本学では、「リーディング（160点）」、「リスニング（40点）」の4:1の配点比率とする。
②外国語（英語）を指定教科・科目とする学部・学科において、英語の資格・検定試験活用制度を利用する場合は①の処理を行った後、加点表に基づいた点数を外国語（英語）の点数に加点したうえで各学部・学科の定める配点に換算する。なお、加点の結果、満点（200点）を超える場合は満点を上限とする。
また、「外国語」において英語以外の言語を指定科目として選択した場合でも英語の資格・検定試験活用制度を利用することができる。
③大学入試センターにより受験上の配慮としてリスニングを免除された者は、リーディングの得点を200点満点に換算し、さらに各学部・学科が定める配点に換算する。
「理科」において、「基礎を付した科目」とは、物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは物理・化学・生物・地学を指す。
「地理歴史・公民」及び「理科」の試験時間において、2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
「理科（基礎を付した科目）」については、2科目の受験で1科目とみなす。
「地理歴史・公民」「理科」を指定教科・科目とする学部・学科において、**指定する科目数を超えて受験している場合**の成績利用方法は注2～5のとおりとする。
（注2）「地理歴史・公民」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注3）「理科」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注4） 理科において「基礎を付していない科目」の第1解答科目を採用する。
（注5） 理科において「基礎を付していない科目」の第2解答科目を採用する。

入学検定料
32,000円

後期日程

試験日 3/5(木)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
人文	文化	100	5
	歴史	70	2
	日本語日本文	70	2
	教育・臨床心理	110	3
	英語	90	3
	ドイツ語	50	2
	フランス語	50	2
	東アジア地域言語	65	3
法	法律	430	15
	経営法	200	7
経済	経済	460	12
	産業経済	200	6

学部	学科等	入学定員	募集人員
商	商	245	7
	経営	240	7
	会計専門職PGM（経営）		若干人
	貿易	180	7
商二	商	165	15
	会計専門職PGM（商二）		若干人
理	応用数	65	2
	社会数理・情報INST		若干人
	物理科	60	2
	化	65	2
	地球圏科	60	2

学部	学科	入学定員	募集人員
工	機械工	110	3
	電気工	110	3
	電子情報工	150	4
	化学システム工	110	3
	社会デザイン工	110	3
	建築	110	3
医	看護	110	3
薬	薬	230	7
スポーツ科	スポーツ科	225	3
	健康運動科	70	3

表記について：商二…商学部第二部の略
PGM…プログラムの略
INST…インスティテュートの略

スケジュール

出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
インターネット出願 2/15(日)～2/25(水)	3/5(木)	3/14(土)	3/23(月)

POINT

選考方法　2科目の総点（200点満点）で選考します。［スポーツ科学部除く］

併願NG　併願することはできません。
［共通テスト利用型Ⅲ期（P.116参照）、スポーツ科学部特別募集（P.123参照）との併願は可能です］

☑ スポーツ科学部
2科目の総点（200点満点）と提出書類（50点満点）の総合点により選考します。

☑ 福岡・広島・鹿児島で試験を実施
試験場 ＞ P.130参照

☑ あわせてCHECK
特別考慮 ＞ P.120参照

☑ 3月に実施する最後の入試です
系統別日程、前期日程、前期日程・共通テスト併用型、共通テスト利用型（Ⅰ期・Ⅱ期）の合格発表後に出願を締切りますので、第一志望学科に合格していない人はチャレンジすることができます。

［後期日程の出願期間］
2/15(日)　2/21(土)　2/25(水)
合格発表
合格発表後でも出願可能！

試験科目・時間・配点

学部	学科等	科目	試験時間	配点
人文	文化 教育・臨床心理	「外国語（英語）」「国語」「数学」から2科目選択	各科目70分	各科目100点
	日本語日本文	「国語」と「外国語（英語）または数学」		注1）
	英語	「外国語（英語）」と「国語または数学」		注2）
	ドイツ語 フランス語	「外国語（英語）」と「国語または数学」		各科目100点
	歴史 東アジア地域言語	「外国語（英語）」と「国語」		
法	法律 経営法	「外国語（英語）」「国語」「数学」から2科目選択		
経済	経済 産業経済			
商	商 経営	「外国語（英語）」「国語」「選択科目（数学または簿記・会計）」から2科目選択		
	会計専門職プログラム（経営）	「外国語（英語）または国語」と「選択科目（数学または簿記・会計）」		
	貿易	「外国語（英語）」「国語」「選択科目（数学または簿記・会計）」から2科目選択		
商二	商			
	会計専門職プログラム（商二）	「外国語（英語）または国語」と「選択科目（数学または簿記・会計）」		
理	応用数 社会数理・情報インスティテュート	「数学」と「外国語（英語）または国語」		
	物理科 化 地球圏科	「外国語（英語）」と「数学」		
工	機械工 電気工			
	電子情報工 化学システム工 社会デザイン工 建築	「数学」と「外国語（英語）または国語」		
医	看護	「外国語（英語）」と「国語」		
薬	薬	「外国語（英語）」と「理科（化学）」		
スポーツ科	スポーツ科 健康運動科	「外国語（英語）」と「国語または数学」		
		調査書	―	50点

注1）人文学部日本語日本文学科の配点は、「国語」（120点）、「外国語（英語）」（80点）、「数学」（80点）とします。
注2）人文学部英語学科の配点は、「外国語（英語）」（120点）、「国語」（80点）、「数学」（80点）とします。

科目の詳細

教科	学部	科目
外国語	共通	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）
国語	共通	国語（現代の国語,言語文化*）
数学	人文・法・経済・商・商二・スポーツ科学部	数学（数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕）
	理学部（社会数理・情報インスティテュート、化学科、地球圏科学科）	数学（数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕）
	理学部（応用数学科、物理科学科）・工学部	数学（数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕）
理科	薬学部	化学（化学基礎、化学）

*言語文化について、漢文の独立問題は出題しません。

共通事項

出願資格

次のいずれかに該当する者

1 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者

2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者

3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(1)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
(2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
(3)専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
(4)文部科学大臣の指定した者
(5)高等学校卒業程度認定試験（旧規程による大学入学資格検定を含む）に合格した者および令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
(6)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者（希望する者は、事前に本学入学センターに問い合わせること）

特別考慮

●前期日程において、下表の内容のいずれか一つを満たす者は、特別の考慮をします。

学部（学科）	内容
経済 商	• 高等学校の職業に関する専門学科（総合学科で職業に関する教科・科目を20単位以上履修している者を含む）からの志願者
商二	• 高等学校の職業に関する専門学科（総合学科で職業に関する教科・科目を20単位以上履修している者を含む）からの志願者 • 出願時に大学所定の「在職証明書」を提出する者（就職内定者を含む）
理	• 高等学校の職業に関する専門学科（総合学科で職業に関する教科・科目を20単位以上履修している者を含む）からの志願者

●後期日程において、商学部第二部志願者*で、出願時に大学所定の「在職証明書」を提出する者（就職内定者を含む）については、特別の考慮をします。

＊会計専門職プログラムは除きます。

特別選抜

スキルアップを目指す社会人、
海外の学校で学んだ人、
外国人留学生、新しい分野を学びたい人…
それぞれの環境で頑張る人に、
広く門戸を開放しています。

帰国生徒選抜 …… 122
社会人選抜 …… 123
スポーツ科学部特別募集 …… 123
学部留学生選抜 …… 124
編・転・学士選抜 …… 126

帰国生徒選抜

募集人員

○人文学部教育・臨床心理学科、医学部医学科を除く学部（学科）で募集します。
○募集人員は若干人です。

出願資格

日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、外国の学校（在外教育施設は除く）で学んだ者で、次のすべてに該当する者

1. 国の内外を問わず、通常の学校教育課程12年以上を修了（見込み）の者
2. (1)〜(7)のいずれかに該当する者
   (1)外国において、高等学校またはこれと同等の学校（在外教育施設は除く）に最終学年を含み継続して2年以上在学し、令和6年4月1日から令和8年3月31日までに卒業（見込み）の者
   (2)外国において、高等学校またはこれと同等の学校（在外教育施設は除く）に継続して2年以上在学し、帰国後、日本の高等学校または中等教育学校に編入学し、令和8年3月31日までに卒業（見込み）の者
   なお、外国の学校での最終在籍日が、令和6年4月1日以降であること
   (3)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を、令和6年4月1日以降授与された者
   (4)ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を、令和6年4月1日以降取得した者
   (5)フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を、令和6年4月1日以降取得した者
   (6)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を、令和6年4月1日以降取得した者
   (7)文部科学大臣の指定した者

入学検定料

入学検定料は32,000円です。
※受験生サイトで志願票や出願書類をダウンロードし、出願してください。

選考の方法

面接、以下の試験、提出書類により総合的に選考します。

学部・学科		教科・科目		時間（分）	配点
人文 法 経済 商 商二		外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ） ドイツ語学科は「ドイツ語」でも可 フランス語学科は「フランス語」でも可 東アジア地域言語学科は「中国語」または「朝鮮語」でも可	70	100
		小論文		70	100
理 工		外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）	70	100
		数学	数学（数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル,平面上の曲線と複素数平面〕）	50	100
薬		外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）	70	100
		数学	数学（数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕）	50	100
医（看護）		外国語	英語（英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ）	70	100
		小論文		70	100
スポーツ科	スポーツ科	体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）			100
	健康運動科	小論文（簡単な英文和訳を含む）		70	100

※人文学部英語学科は面接の一部として、聴解・口頭の問題を課すことがあります。
※理学部社会数理・情報インスティテュートの数学は、数学（数学Ⅰ,Ⅱ,数学A〔図形の性質,場合の数と確率〕,数学B〔数列〕,数学C〔ベクトル〕）を出題範囲とします。
※スポーツ科学部スポーツ科学科の体育実技における種目等については、一般選抜（前期日程）を参照してください。（P.97参照）

社会人選抜

募集人員

前期日程

○人文学部（教育・臨床心理学科を除く）、経済学部、商学部、商学部第二部、工学部（機械工、社会デザイン工学科）で募集します。
○募集人員は若干人です。ただし、商学部第二部は20人程度です。

後期日程

○法学部、商学部、商学部第二部、薬学部、スポーツ科学部で募集します。
○募集人員は若干人です。ただし、商学部第二部は20人程度です。

出願資格

次のすべてに該当する者

1. 令和8年4月1日までに満23歳に達する者
2. (1)〜(3)のいずれかに該当する者
   (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
   (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者
   (3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
3. 社会人としての活動や経験を有し、相応の実績を持つとともに、大学において学ぶ意欲と問題意識および具体的な学習計画を持つ者（社会人としての活動や経験とは、必ずしも定職についているなどの職業経験に限りません。実社会の様々な分野における社会人としての諸活動を含みます）
   ※薬学部は理系学士程度の学力を要します。

入学検定料

入学検定料は32,000円です。
※受験生サイトで志願票や出願書類をダウンロードし、出願してください。

選考の方法

面接、以下の試験、提出書類により総合的に選考します。

学部・学科		教科・科目		時間（分）	配点
人文・法		外国語	英語	70	100
		小論文		70	100
経済・商・商二		小論文		70	100
工（機械工・社会デザイン工）		基礎学力試験		70	100
		小論文		70	100
薬		化学		70	100
		小論文		70	100
		面接			100
スポーツ科	スポーツ科	体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）			100
	健康運動科	小論文（簡単な英文和訳を含む）		70	100

※人文学部の英語は、英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ,論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲを出題範囲とします。
※人文学部（英語学科を除く）・法学部の英語については、辞書（英和辞典1冊に限る）の持ち込みが可能です。
※工学部の「基礎学力試験」は、機械工学科が基礎的な「数学」「物理」を中心に一般常識問題、社会デザイン工学科が高校卒業程度の基礎的な「数学」の試験です。
※スポーツ科学部スポーツ科学科の体育実技における種目等については、一般選抜（前期日程）を参照してください。（P.97参照）

スポーツ科学部特別募集

募集人員

スポーツ科学科：若干人

出願資格

スポーツ科学部特別募集については、P.120の出願資格を満たし、さらに全国規模（選抜・インターハイ・国スポ等）の大会等で優秀な実績を示した者または日本代表として選抜された者で、次の1および2の各要件をすべて満たす者

1. 陸上競技、体操競技、水泳、新体操、柔道、剣道、レスリング、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球の16競技種目のうち1種目を専門とする者
2. 全体の学習成績の状況3.0以上の者

選考の方法

調査書、面接（50分程度の作文を含む）、体育実技（専門実技試験）（100点）により選考します。
※試験地は本学のみです。

入学検定料

入学検定料は32,000円です。

学部留学生選抜　前期日程

募集人員

○人文学部（日本語日本文学科、ドイツ語学科、フランス語学科）、経済学部、理学部、工学部で募集します。
○募集人員は若干人です。

出願資格

次の4項目をすべて満たす者

1. 外国の国籍を有する者。ただし、重国籍の場合、日本国籍を有する者は除く。
2. 以下の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、日本の学校教育法に基づく小学校、中学校、中等教育学校または高等学校における在学期間が通算して3年以内である者※

（※「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」に在学した場合は、その在学期間を日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等に在学したものと同様に扱います。）

(1)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(2)外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
(3)日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(4)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(5)外国において、高等学校に対応する学校の課程で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(6)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を有する者
(7)国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(8)日本の学校教育法に基づく中等教育学校または高等学校を卒業した者または令和8年3月31日までに卒業見込みの者
（注）12年未満の課程の場合は、文部科学大臣が指定した「我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程（準備教育課程）」を修了（令和8年3月31日までに修了見込みの者を含む）する必要があります。

3. 独立行政法人 日本学生支援機構が令和6年11月、令和7年6月に実施する「日本留学試験」の本学が指定する科目を受験した者で、その各科目の得点が、全て出願に必要な最低得点以上の者
なお、「日本留学試験」の出題言語は、「日本語」に限る。

（※本学が指定する科目および出願に必要な最低得点は、下表の**「■日本留学試験の本学が指定する試験科目および出願に必要な最低得点一覧表」**を参照すること。）

4. 願書受付開始日から遡って2年以内に英語外部試験（IELTS（Academic module）、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R・S&W、実用英語技能検定（英検））を受験した者

選考の方法

「日本留学試験の指定科目」、「本学が指定する英語外部試験」および書類審査により総合的に選考します。

POINT

・日本留学試験の成績を利用するので、福岡大学には出願のみで合否判定を受けることができます。
・英語外部試験の結果を活用します。

入学検定料

30,000円

注意・その他

①授業はすべて日本語で行われるので、十分な日本語能力が必要です。
②出願書類は種類が多く、中には母国から取り寄せる必要があり、日数がかかる書類もありますので、出願締切日に間に合うように早めに準備しておくことが必要です。

学部留学生選抜の問い合わせ先

福岡大学　国際センター事務室
〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL：092-871-6631（代表）
E-mail：kokusai@adm.fukuoka-u.ac.jp

■日本留学試験の本学が指定する試験科目および出願に必要な最低得点一覧表

学部	学科	日本留学試験の指定科目および各科目の最低得点（丸括弧内）	
人文	日本語日本文、ドイツ語、フランス語	日本語①（250） 日本語②（30）	総合科目（120）
経済	経済、産業経済		総合科目（125）・数学（コース1（95）またはコース2（110）のどちらかを選択）
理	応用数		数学（コース2（110））・理科（物理（50）・化学（50）・生物（50）から1科目選択）
	物理科		数学（コース2（120））・理科（物理（60））
	化		数学（コース2（100））・理科（化学（50））
	地球圏科		数学（コース2（100））・理科（物理（50）・化学（50）・生物（50）から1科目選択）
工	機械工		数学（コース2（120））・理科（物理（65））
	電気工		数学（コース2（140））・理科（物理（60））
	電子情報工		数学（コース2（140））・理科（物理（70））
	化学システム工		数学（コース2（100））・理科（物理（55）または化学（55）から1科目選択）
	社会デザイン工		数学（コース2（120））・理科（物理（65）または化学（65）から1科目選択）
	建築		数学（コース2（120））・理科（物理（65））

（注）1.いずれの科目も「日本留学試験」の出願言語は日本語に限る。
2.日本語①は、「読解、聴解・聴読解」の合計得点。
3.日本語②は、「記述」の得点。

学部留学生選抜　後期日程

試験日 2/9（月）

募集人員

○人文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、工学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部で募集します。
○募集人員は若干人です。

出願資格

次の3項目を全て満たす者

1. 外国の国籍を有する者。ただし、重国籍の場合、日本国籍を有する者は除く。
2. 以下の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、日本の学校教育法に基づく小学校、中学校、中等教育学校または高等学校における在学期間が通算して3年以内である者※

（※「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」に在学した場合は、その在学期間を日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等に在学したものと同様に扱います。）

(1)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(2)外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
(3)日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(4)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(5)外国において、高等学校に対応する学校の課程で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(6)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を有する者
(7)国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者
(8)日本の学校教育法に基づく中等教育学校または高等学校を卒業した者または令和8年3月31日までに卒業見込みの者
（注）12年未満の課程の場合は、文部科学大臣が指定した「我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程（準備教育課程）」を修了（令和8年3月31日までに修了見込みの者を含む）する必要があります。

3. 独立行政法人 日本学生支援機構が令和7年度に実施する「日本留学試験」の本学が指定する科目を受験した者で、そのうち日本語の「読解、聴解・聴読解」の得点が200点以上の者
なお、「日本留学試験」の出題言語は、「日本語」に限る。

（※本学が指定する科目は、下表の**「■日本留学試験の本学が指定する試験科目一覧表」**を参照すること。）

選考の方法

「日本留学試験の指定科目」、下記の試験および書類審査により総合的に選考します。

本学で実施する試験

①英語（商学部・スポーツ科学部以外の学部）
※法学部の「英語」については辞書（英和辞典1冊に限る）の持ち込みが可能です（電子辞書は不可）。
②面接
③面接の一部としての作文（医学部・薬学部以外の学部）
④小論文（医学部・薬学部）
⑤体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）（スポーツ科学部）
※体育実技における種目等については、一般選抜（前期日程）を参照してください。（P.97参照）

POINT

・本学で筆記試験・面接を実施します。
・商学部第二部以外の全学部・学科が実施します。

入学検定料

医学部医学科以外：30,000円
医学部医学科：　　50,000円

注意・その他

①授業はすべて日本語で行われるので、十分な日本語能力が必要です。
②出願書類は種類が多く、中には母国から取り寄せる必要があり、日数がかかる書類もありますので、出願締切日に間に合うように早めに準備しておくことが必要です。

学部留学生選抜の問い合わせ先

福岡大学　国際センター事務室
〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL：092-871-6631（代表）
E-mail：kokusai@adm.fukuoka-u.ac.jp

■日本留学試験の本学が指定する試験科目一覧表

学部	学科	日本留学試験の指定科目
人文	文化、歴史、教育・臨床心理、英語、ドイツ語、フランス語、東アジア地域言語	日本語・総合科目
	日本語日本文	日本語・総合科目・数学（「コース1」または「コース2」のどちらかを選択）
法	法律、経営法	
経済	経済、産業経済	
商	商、経営、貿易	
理	応用数	日本語・数学（コース2）・理科（物理・化学・生物から1科目選択）
	物理科	日本語・数学（コース2）・理科（物理）
	化	日本語・数学（コース2）・理科（化学）
	地球圏科	日本語・数学（コース2）・理科（物理・化学・生物から1科目選択）
工	機械工、電気工、電子情報工、化学システム工、社会デザイン工、建築	日本語・数学（コース2）・理科（物理または化学から1科目選択）
医	医	日本語・数学（コース2）・理科（物理・化学・生物から2科目選択）
	看護	日本語・数学（「コース1」または「コース2」のどちらかを選択）・理科（物理・化学・生物から1科目選択）
薬	薬	日本語・数学（コース2）・理科（物理・化学・生物から1科目選択）
スポーツ科	スポーツ科、健康運動科	日本語

（注）いずれの科目も「日本留学試験」の出願言語は日本語に限る。

編・転・学士選抜

募集人員

○人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、理学部、工学部、スポーツ科学部で募集します。
○募集人員は若干人です。

出願資格

次のいずれかに該当する者
1. 短期大学（高等専門学校を含む）を卒業（見込み）の者
2. 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る）
3. 他の大学に継続して2年以上在学したことのある者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の単位数（卒業単位として認める科目に限る）を取得（見込み）の者
   - 人文・法・経済・商・商二部は全体で60単位以上
   - 理学部応用数学科、社会数理・情報インスティテュートは全体で60単位以上、物理科学科、化学科、地球圏科学科は全体で70単位以上
   - 工学部は全体で60単位以上
   - スポーツ科学部は全体で65単位以上

   （注1）取得見込み者の合格の取扱いについて
   履修中の科目について単位の取得ができず、上記単位数を満たさなかった者は、合格を取り消します。
4. 学士の学位を有する者（見込みの者を含む）
   （注2）学士入学を希望する者（スポーツ科学部除く）は、試験科目等の決定のため、出願前（出願開始日の1ヶ月前まで）に以下の書類を入学センターに提出し、必要事項を確認してください。
   ■志望理由書（書式は任意）
   ■成績証明書（履修中の科目についても記載のこと）
   ■卒業（見込み）証明書
   ■履歴書（市販可、写真貼付のこと）

※卒業（修了）見込み者の合格の取扱いについて
上記<出願資格>の1.2.4.に該当する卒業（修了）見込み者のうち、令和8年3月までに卒業（修了）できなかった者は、合格を取り消します。
※上記1～4について、人文学部東アジア地域言語学科（中国コース、韓国コース）において、そのコースの言語を母語としている者の受験は認めません。
※外国の学校（大学、短期大学に相当する2年制以上の高等教育機関）の出身者については、出願資格の有無を審査します。出願前（出願開始日の1ヶ月前まで）に、本学入学センターに問い合わせてください。

入学年次

3年次を原則としていますが、認定単位数が少ない場合、2年次になることがあります。

入学検定料

入学検定料は32,000円です。
※受験生サイトで志願票や出願書類をダウンロードし、出願してください。

選考の方法

試験科目の成績、提出書類および面接により総合的に選考します。
なお、学士選抜については、事前提出資料（「出願資格」注2参照）に基づき、面接のほかに筆記試験等を課すことがあります。

出願上の注意

※出願書類としてシラバス等のコピー（授業内容がわかる資料）を必ず同封してください。なお、提出されない場合は単位認定を行えない可能性があります。
※成績証明書および履修中科目証明書を全員提出してください。
※書類が日本語以外の場合は、和訳を添付してください。
※外国の学校（大学、短期大学に相当する2年制以上の高等教育機関）の出身者については、卒業証明書および成績証明書を提出する際、出身学校・大使館等の公的機関で証明されたものをご提出ください。

試験科目・時間・配点

■編・転選抜

学部・学科等		教科	科目	時間（分）	配点
人文		外国語	文化、歴史、教育・臨床心理学科…英語 日本語日本文学科…英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択 東アジア地域言語学科…「中国コース」は中国語、「韓国コース」は朝鮮語	70	100
			英語学科…英語（10分程度のListening Testを含む） ドイツ語学科…ドイツ語 フランス語学科…フランス語	70	130
		共通教育科目	文化学科…哲学、社会学、心理学から1科目選択 歴史学科…歴史 日本語日本文学科…日本文学 教育・臨床心理、東アジア地域言語学科…小論文	70	100
			英語学科…哲学、歴史、社会学、心理学、ドイツ語、フランス語から1科目選択 ドイツ語学科…哲学、歴史、社会学、心理学、英語、フランス語から1科目選択 フランス語学科…哲学、歴史、社会学、心理学、英語、ドイツ語から1科目選択	70	70
		面接		―	―※
法		外国語	英語	70	100
		小論文		70	100
		面接		―	―
経済	経済	外国語	英語	70	100
		共通教育科目	経済学	70	100
		書類審査・面接		―	100
	産業経済	外国語	英語	70	100
		書類審査・面接		―	100
商		外国語	英語	70	100
		共通教育科目	商学	70	100
		面接		―	―
商二		外国語	英語	70	100
		小論文		70	100
		面接		―	―
理	応用数 社会数理・情報インスティテュート	外国語	英語	70	100
		数学	数学	70	100
		小論文		70	100
		面接		―	―
	物理科 化 地球圏科	外国語	英語	70	100
		数学	数学	70	100
		理科	物理科学科…物理学 化学科…化学 地球圏科学科…物理学、化学、生物学、地学から1科目選択	70	100
		面接		―	―
工		外国語	英語、ドイツ語から1科目選択	70	100
		数学	数学	70	100
		理科	物理学、ただし化学システム工学科は化学	70	100
		面接		―	―
スポーツ科		外国語	英語	70	100
		保健体育	スポーツ科…体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）	―	100
			健康運動科…体育理論	70	100
		面接		―	―

※人文学部の「面接」で外国籍の方については、「書類審査・面接」を100点とし、総点300点とします。
※法学部の英語については、辞書（英和辞典一冊に限る）の持ち込みが可能です。
※スポーツ科学部スポーツ科学科の体育実技における種目等については、一般選抜（前期日程）を参照してください。（P.97参照）

■学士選抜

学部	教科	科目	時間（分）	配　点
人文・法・経済・理・工	「筆記試験」を行うことがあります		―	―
	面接		―	―
商・商二	「小論文」を行うことがあります		70	100
	面接		―	―
スポーツ科	外国語	英語	70	100
	保健体育	スポーツ科…体育実技（専門実技試験または体力・運動能力試験）	―	100
		健康運動科…体育理論	70	100
	面接		―	―

※スポーツ科学部スポーツ科学科の体育実技における種目等については、一般選抜（前期日程）を参照してください。（P.97参照）

共 通 事 項

福岡大学を受験するすべての人に
知ってほしいことや受験生からの質問（Q&A等）を
まとめています。

出願の流れ …… 129
試験地と試験場 …… 130
受験上・修学上の配慮について …… 131
学費等納入金 …… 132
Q&A …… 133

出願の流れ

スマートフォンやタブレットからの出願は、機種によっては画面が表示されないことや、小さな画面での操作は、入力間違いを起こしやすいこと等から、パソコンでの出願を推奨します。

受験生サイト

STEP 1 入試要項の確認

受験生サイトより、入試要項を確認してください。
https://nyushi.fukuoka-u.ac.jp/

STEP 2 マイページの登録（個人情報登録）

メールアドレスや個人情報の登録を行ってください。受験生サイトよりアクセスしてください。

STEP 3 顔写真データの登録

顔写真データの登録（アップロード）を行ってください。

STEP 4 入試制度の選択・受験希望学部などの出願登録

マイページより出願登録します。画面の指示に従って、入試制度、希望学部学科、科目、受験地などを選択してください。

STEP 5 入学検定料の支払い

入学検定料の支払い方法を確認し、それぞれの手順に従い納入してください。
（入学検定料のほかにサービス利用料がかかります。）

STEP 6 出願確認票・宛名ラベルの印刷

検定料支払い後に、マイページより「出願確認票・宛名ラベル」を印刷してください。

STEP 7 出願書類の郵送（簡易書留・速達）

必要書類をそろえ、郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

出願手続完了

STEP 8 指定された期日以降に受験票を印刷

受験票は郵送されません。試験日当日は、必ず印刷した受験票を持参してください。

※詳しくは、入試要項をご確認ください。

試験地と試験場

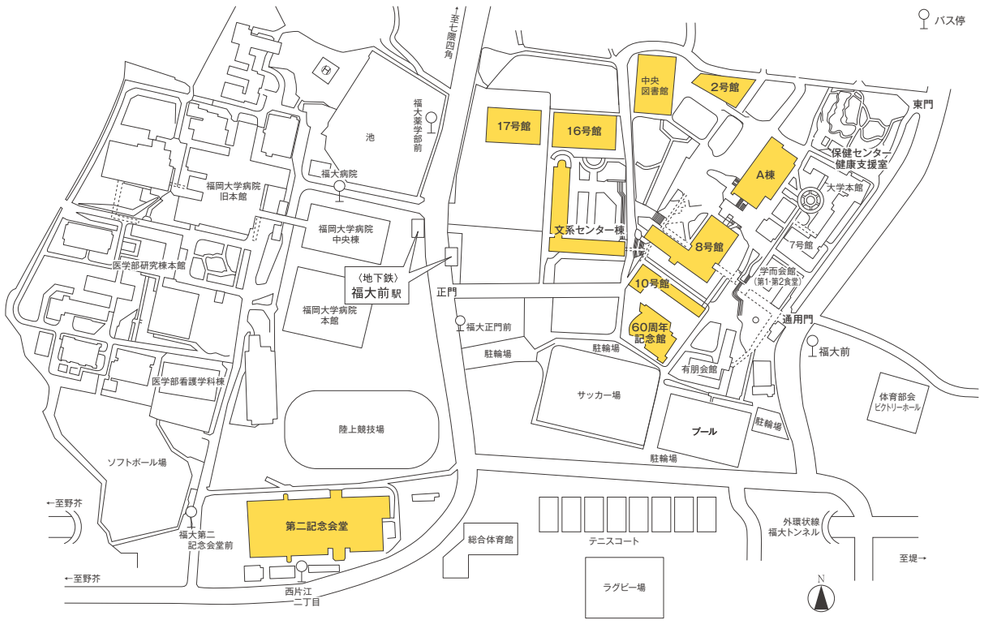
試験地と試験場

試験地	試験場	住所	総合型	学校推薦型	一般選抜								
			9月～	11月	2月								3月
					2日	3日	4日	5日	6日	7日	11日	12日	5日
福岡	福岡大学	福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東京	タイム24ビル	東京都江東区青海二丁目4番32号			●								
	TFT（東京ファッションタウン）ビル	東京都江東区有明三丁目6番11号									●		
名古屋	TKPガーデンシティPREMIUM 名古屋新幹線口	愛知県名古屋市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル			●								
大阪	TKP新大阪カンファレンスセンター	大阪府大阪市淀川区宮原四丁目3番39号 新大阪NKビル			●								
	TKPガーデンシティ大阪梅田	大阪府大阪市福島区福島五丁目4番21号 TKPゲートタワービル									●		
高松	サン・イレブン高松	香川県高松市松福町二丁目15番24号			●						●		
松山	ホテルマイステイズ松山	愛媛県松山市大手町一丁目10番10号			●								
	愛媛大学	愛媛県松山市文京町3番									●		
広島	広島工業大学専門学校	広島県広島市西区福島町二丁目1番1号			●	●	●	●	●				
	広島修道大学	広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号									●		
	広島経済大学	広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号											●
山口	中市コミュニティーホールNac	山口県山口市中市町3番13号			●								
	北九州予備校（山口校）	山口県山口市小郡御幸町1番39号				●	●	●	●				
	KDDI維新ホール	山口県山口市小郡令和一丁目1番1号									●		
北九州	毎日西部会館	福岡県北九州市小倉北区紺屋町13番1号			●								
	北九州メッセ（旧西日本総合展示場新館）	福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号									●		
長崎	北九州予備校（長崎校）	長崎県長崎市川口町4番5号			●	●	●	●	●				
	長崎大学	長崎県長崎市文教町1番14号									●		
熊本	北九州予備校（熊本校）	熊本県熊本市西区春日二丁目3番26号			●	●	●	●	●				
	熊本大学	熊本県熊本市中央区黒髪二丁目40番1号									●		
大分	北九州予備校（大分校）	大分県大分市金池町二丁目7番17号			●	●	●	●	●				
	ソレイユ	大分県大分市中央町四丁目2番5号									●		
宮崎	宮崎県婦人会館	宮崎県宮崎市旭一丁目3番10号			●	●	●	●	●				
	宮崎大学	宮崎県宮崎市学園木花台西一丁目1番地									●		
鹿児島	北九州予備校（鹿児島校）	鹿児島県鹿児島市西田一丁目7番3号			●	●	●	●	●				
	鹿児島大学	鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番30号									●		
	鹿児島高等予備校	鹿児島県鹿児島市高麗町15番10号											●
那覇	自治会館	沖縄県那覇市旭町116番地37			●						●		

※2月2日東京・名古屋・大阪の3会場に限り、希望する試験会場の収容人数を超えた場合、別会場での受験となります。必ず出願確認票および受験票で試験会場を確認してください。
※試験地および試験場は変更になることがあります。入試要項で必ず確認してください。　※医学部医学科（一次選考）の試験地は福岡・東京・名古屋・大阪の4会場です。
※スポーツ科学部スポーツ科学科【実技型】の試験地は福岡のみの1会場です。　※特別選抜の試験地は福岡のみの1会場です。

■本学試験場案内図

は、本学で受験する際に関係のある建物です。大学内および大学周辺には駐車場はありません。



受験上・修学上の配慮について

福岡大学では、身体等の障がい（視覚・聴覚障害、肢体不自由、発達障害、病弱等）により、「受験上の配慮」及び「入学後の修学上の配慮」を行っています。受験上の配慮を必要とする方は、下記期限までに入学センターへ必要書類を提出してください。申請内容に基づき、障がい等に応じた配慮を決定します。また、入学後の修学上の配慮を希望する方は、別途申請が必要です。出願検討段階でも構いませんのでお早めに障がい学生支援センターまでご相談ください。

【受験上の配慮について】

◎必要書類

- □　福岡大学入学試験における受験上の配慮申請書（※様式1）
- □　福岡大学入学志願者　健康診断書（※様式2-1、2-2）
- □　障害者手帳の写し（取得されている方のみ）
- □　大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書または配慮事項決定通知書の写し（大学入学共通テスト受験者のみ）

※上記所定様式は、受験生サイト＞「入学試験要項／出願書類・インターネット出願」＞「受験上・修学上の配慮」からダウンロードしてください。

◎申請方法

上記の必要書類を次の送付先に郵送してください。封筒には**「受験上の配慮申請書在中」**と朱書きして送付してください。
〒814-0180　福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 福岡大学　入学センター

◎提出期限

一般選抜（系統別日程、前期日程、後期日程）	令和7年12月5日	**必着**（期日厳守）
総合型選抜、学校推薦型選抜、その他の入試制度	出願受付開始日の1カ月前まで	

◎注意事項

- 試験時間の延長や別室受験の審査と準備には時間を要しますので、試験地を本学（福岡）に限らせていただきます。また、希望する配慮の内容によっては、試験地を本学（福岡）とさせていただく場合があります。
- 別室受験の配慮は個室ではなく、少人数教室等の対応となる場合があります。
- 申請から配慮決定までに1ヶ月程要しますので、**期日厳守**での申請をお願いします。また、上記期限後に大きな病気や不慮の事故等により、受験上の配慮が必要になった場合は、速やかに入学センターまでご相談ください。
- 申請内容の確認や配慮事項の検討のため、面談や追加書類の提出等をお願いすることがあります。なお、申請が入学試験の合否に影響することはありません。
- 審査の結果、ご希望の配慮に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
- 受験上の配慮の決定は、原則、出願期間開始前までに申請者へ通知します。

◎その他

- 配慮の内容によって対応に時間を要するため、予め期日に余裕をもって、必要書類をご提出ください。
- 申請書に記載されている個人情報は、「学校法人福岡大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱い、受験上の配慮や入学後の修学上の配慮等に関すること以外には使用しません。

◎受験上の配慮例

本学の配慮実績をもとに記載しています。

① 視覚に関する配慮
- 拡大文字問題冊子の配付
- 拡大鏡等の持参使用

② 聴覚に関する配慮
- 注意事項等の文書による伝達
- 補聴器や人工内耳の装着使用

③ 肢体不自由に関する配慮
- 歩行器や車椅子、杖等の持参使用

④ 発達障害に関する配慮
- 座席指定（最後列、出入口付近など）

⑤ その他の配慮
- 試験時間の延長
- 座席指定（前列や後列、トイレに近い、出入口付近など）や別室、少人数教室の設定
- 試験室のある建物までの車の乗り入れや試験室入り口までの付添者の同伴
- 持参薬や補食の摂取

相談窓口　福岡大学　入学センター　TEL 092-871-6631（代表）

【修学上の配慮等について】

入学後の修学上の配慮等に関することは、障がい学生支援センターまでご相談ください。

相談窓口　福岡大学　障がい学生支援センター　TEL 092-871-6631（代表）

学費等納入金

学費等納入金表（2026年度入学生）

（単位：円）

項目			学部（学科）	人文・法 経済・商	商二	理・工	医（医）	医（看）	薬	スポーツ科
1年次	入学時納入金	入学申込金（入学金）	①	200,000	100,000	200,000	1,000,000	200,000	200,000	200,000
		学費等納入金 第一期分	授業料	385,000	165,000	525,000	1,956,000	550,000	685,000	420,000
			特別教育充実費	—	—	—	3,000,000	—	—	—
			教育充実費	95,000	45,000	200,000	344,000	250,000	150,000	185,000
			委託徴収金	26,710	22,370	26,710	26,710	26,710	26,710	26,710
			第一期分 計②	506,710	232,370	751,710	5,326,710	826,710	861,710	631,710
		入学時納入金	計①+②	706,710	332,370	951,710	6,326,710	1,026,710	1,061,710	831,710
	第二期払込分	学費等納入金 第二期分	授業料	385,000	165,000	525,000	1,956,000	550,000	685,000	420,000
			教育充実費	95,000	45,000	200,000	344,000	250,000	150,000	185,000
		第二期分	計③	480,000	210,000	725,000	2,300,000	800,000	835,000	605,000
	初年度納入金（合計）		①+②+③	1,186,710	542,370	1,676,710	8,626,710	1,826,710	1,896,710	1,436,710
2年次	授業料（年間）			770,000	330,000	1,050,000	3,912,000	1,100,000	1,370,000	840,000
	教育充実費（年間）			190,000	90,000	400,000	688,000	500,000	735,000	370,000
	特別教育充実費			—	—	—	3,000,000	—	—	—
	委託徴収金（年間）			25,610	21,970	25,610	25,610	25,610	25,610	25,610
	合計			985,610	441,970	1,475,610	7,625,610	1,625,610	2,130,610	1,235,610
3年次	授業料（年間）			770,000	330,000	1,050,000	3,912,000	1,100,000	1,370,000	840,000
	教育充実費（年間）			190,000	90,000	400,000	688,000	500,000	735,000	370,000
	特別教育充実費			—	—	—	3,000,000	—	—	—
	委託徴収金（年間）			25,610	21,970	25,610	25,610	25,610	25,610	25,610
	合計			985,610	441,970	1,475,610	7,625,610	1,625,610	2,130,610	1,235,610
4年次	授業料（年間）			770,000	330,000	1,050,000	3,912,000	1,100,000	1,370,000	840,000
	教育充実費（年間）			190,000	90,000	400,000	688,000	500,000	735,000	370,000
	特別教育充実費			—	—	—	—	—	—	—
	委託徴収金（年間）			26,110	22,470	26,110	26,110	26,110	26,110	26,110
	合計			986,110	442,470	1,476,110	4,626,110	1,626,110	2,131,110	1,236,110
5及び6年次	授業料（年間）						3,912,000		1,370,000	
	教育充実費（年間）						688,000		735,000	
	特別教育充実費						—		—	
	委託徴収金（年間）						17,110		17,110	
	合計						4,617,110		2,122,110	
※入学から卒業までに必要な納入金（合計）				4,144,040	1,868,780	6,104,040	37,738,260	6,704,040	12,533,260	5,144,040

※上記の「入学から卒業までに必要な納入金」は、医学部医学科及び薬学部は6年間、その他の学部・学科は4年間の納入予定額です。
・授業料及び教育充実費は分納制で、初年度は第一期が入学時（半額）、第二期が10月下旬（半額）に納入していただきます。2年次以降の納入予定日は、第一期が5月下旬（半額）、第二期が10月下旬（半額）になります。
・医学部医学科の特別教育充実費については、入学初年度（1年次）・2年次・3年次において各300万円となります（上記表に含む）。納入時期は、第一期になります。
・薬学部の教育充実費については、初年度30万円、2年次以降においては年間735,000円となります（上記表に含む）。
・本学が委託されて徴収する「委託徴収金」は、在学中必要に応じて改定されることがあります。納入時期は、毎年第一期になります。

◎上記の学費等納入金の他、教科書代など授業に係る諸経費が必要となります。
（新入生の教科書代金の目安）医学部以外 3～5万円／医学部 8～10万円

Q&A

Q1 一般選抜で併願する場合、出願登録を複数回行う必要がありますか。

併願する場合、一度にまとめて出願登録できます。
ただし、複数の入試制度を同時に出願登録すると、出願期間は最も早い日程（締切日）が適用されます。

Q2 入学検定料はいつから納入できますか。

出願登録期間中のみ可能です。出願登録開始前は納入できません。インターネット出願登録後にコンビニや金融機関ATM、インターネットバンキング、クレジットカードを利用して納入することになります。

Q3 出願書類が大学に届いているか確認できますか。

日本郵便ホームページ「追跡サービス※」を利用し確認してください。
※速達簡易書留郵便で郵送した際に受け取った「受領証」に記載のお問い合わせ番号が必要です。

Q4 試験日や選択科目によって、有利不利はありますか。

■学校推薦型選抜（A方式）、一般選抜（系統別日程）、一般選抜（後期日程）
平均点が同じくらいになるように配慮していますので、選択科目による有利不利はありません。得意な科目で受験してください。

■一般選抜（前期日程）
試験日別に平均点が同じくらいになるように配慮しています。また、同様に選択科目の平均点も同じくらいになるように配慮しています。したがって、試験日や選択科目によって有利不利はありません。受験しやすい日程、得意な科目で受験してください。

Q5 追加合格について教えてください。

一般選抜（前期日程）では、入学申込金締切後と入学手続締切後に欠員が生じた学科について、追加合格者を決定します。事前に通知はしません。
なお、医学部医学科は、一般選抜（系統別日程）と共通テスト利用型（Ⅰ期）において、二次合格発表日に追加合格予定者へ郵送で通知し、追加合格予定者順に決定します。
詳細は入試要項をご覧ください。

Q6 合格して、入学するためにはどのような手続きがありますか。

入学時納入金の納入と手続書類の提出を、所定の期日までに完了した人に入学を許可します。
ただし、2月に合格発表を行う入試制度の合格者のうち、他大学等併願者に限り、2月27日〔共通テスト利用型（Ⅱ期）は3月6日〕までに入学申込金を納入し、3月6日正午（必着）までに延納願を提出した場合、入学申込金以外の納入と入学手続書類の提出を3月23日まで延期することができます。

入試カレンダー

			9月	10月	11月	12月	1月	3月
総合型選抜	総合型選抜	法学部	出願期間 9/1(月)~8(月) 1次選考 9/20(土)	1次合格 10/3(金) 2次選考 10/11(土)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		経済学部	出願期間 9/1(月)~8(月) 1次選考 9/20(土)	1次合格 10/3(金) 2次選考 10/11(土)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		商学部	出願期間 9/1(月)~8(月)	1次選考 10/1(水) 1次合格 10/3(金) 2次選考 10/11(土)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		商学部第二部	出願期間 9/1(月)~8(月)	1次選考 10/1(水) 1次合格 10/3(金) 2次選考 10/11(土)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		理学部	出願期間 9/1(月)~8(月) 1次選考 9/30(火)	1次合格 10/3(金) 2次選考 10/11(土)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		工学部	出願期間 9/1(月)~8(月) 1次選考 9/20(土)	1次合格 10/3(金) 2次選考 10/11(土)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		スポーツ科学部	出願期間 9/1(月)~8(月) 1次選考 9/24(水)	1次合格 10/1(水) 2次選考 10/10(金)	2次合格 11/1(土)	入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
	アスリート特別選抜		出願期間 9/22(月)~10/2(木)	1次選考 10/21(火) 1次合格 10/24(金)	2次選考 11/4(火) 2次合格 11/7(金)		入学申込金締切 1/5(月)	入学手続締切 3/6(金)
学校推薦型選抜	A方式	全学部			出願期間 11/1(土)~10(月) 試験日 11/23(日)	合格発表 12/5(金) 入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
		スポーツ科学部［実技型］			出願期間 11/1(土)~10(月) 試験日(実技・面接) 11/19(水)	合格発表 12/5(金) 入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)
	地域枠				出願期間 11/1(土)~10(月) 試験日 11/23(日)	合格発表 12/5(金) 入学申込金締切 12/19(金)		入学手続締切 3/6(金)

			12月	1月	2月	3月
一般選抜	系統別日程	医学科以外	出願期間 12/20(土)~1/13(火)		試験日 2/2(月) 合格発表 2/21(土) 入学申込金締切 2/27(金)	入学手続締切(※) 3/6(金)
		医学科	出願期間 12/20(土)~1/13(火)		1次選考 2/2(月) 1次合格 2/9(月) 2次選考 2/14(土) 2次合格 2/21(土) 入学申込金締切 2/27(金)	入学手続締切(※) 3/6(金)
	前期日程		出願期間 12/20(土)~1/13(火)		試験日 2/3(火)~2/6(金)・7(土)、11(水)・12(木) 合格発表 2/21(土) 入学申込金締切 2/27(金)	入学手続締切(※) 3/6(金)
	前期日程・共通テスト併用型		出願期間 12/20(土)~1/13(火)	大学入学共通テスト 1/17(土)・18(日)	試験日 2/3(火)~2/6(金)・7(土)、11(水)・12(木) 合格発表 2/21(土) 入学申込金締切 2/27(金)	入学手続締切(※) 3/6(金)
	共通テスト利用型（Ⅰ期）	医学科以外	出願期間 12/20(土)~1/13(火)	大学入学共通テスト 1/17(土)・18(日)	合格発表 2/21(土) 入学申込金締切 2/27(金)	入学手続締切(※) 3/6(金)
		医学科	出願期間 12/20(土)~1/13(火)	大学入学共通テスト 1/17(土)・18(日)	1次合格 2/9(月) 2次選考 2/14(土) 2次合格 2/21(土) 入学申込金締切 2/27(金)	入学手続締切(※) 3/6(金)
	共通テスト利用型（Ⅱ期）		出願期間 12/20(土)~1/20(火)	大学入学共通テスト 1/17(土)・18(日)	合格発表 2/21(土)	入学申込金締切 入学手続締切(※) 3/6(金)
	共通テスト利用型（Ⅲ期）	経済学部		大学入学共通テスト 1/17(土)・18(日)	出願期間 2/15(日)~25(水)	合格発表 3/14(土) 入学手続締切 3/23(月)
		薬学部		大学入学共通テスト 1/17(土)・18(日)	出願期間 2/15(日)~25(水)	1次合格 3/5(木) 2次選考 3/9(月) 2次合格 3/14(土) 入学手続締切 3/23(月)
	後期日程				出願期間 2/15(日)~25(水)	試験日 3/5(木) 合格発表 3/14(土) 入学手続締切 3/23(月)

(※)「入学手続締切」について、他大学等を併願している方に限り、延納願を提出した場合、入学申込金以外の納入と手続書類の提出を3月23日まで延期することができます。

データ

過去の入試データを
福岡大学受験の参考にしてください。

令和7年度　入試状況表 …… 136
令和6年度　入試状況表 …… 138
現浪別志願者・受験者・合格者数 …… 140
一般選抜（系統別日程）データ …… 142
一般選抜（前期日程）データ …… 143
令和7年度　学校推薦型選抜等状況表 …… 144
令和6年度　学校推薦型選抜等状況表 …… 145
特別選抜状況表 …… 146
都道府県別志願者・合格者状況／在学生の状況 …… 147

令和7年度 入試状況表

学部・学科等		一般選抜（系統別日程）								一般選抜（前期日程）								一般選抜（後期日程）				
		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	追加合格者	合格最高点	合格最低点	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	追加合格者	合格最高点	合格最低点	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
人文	文化	5	171	169	55	3.1		332	246	40	695	686	192	3.6		262	185	5	51	50	5	10.0
	歴史	5	166	165	52	3.2		361	273	30	469	461	129	3.6		260	191	2	10	10	1	10.0
	日本語日本文	4	142	140	52	2.7		342	252	30	365	350	115	3.0		253	173	2	13	13	2	6.5
	教育・臨床心理	5	145	141	39	3.6		354	250	45	659	644	189	3.4		267	186	3	27	27	2	13.5
	英語	7	197	195	47	4.1		366	261	42	755	746	191	3.9		247	185	3	39	37	3	12.3
	ドイツ語	3	105	105	43	2.4		321	236	20	304	299	103	2.9		236	167	2	19	19	2	9.5
	フランス語	3	101	101	39	2.6		321	234	20	260	256	84	3.0		243	163	2	21	21	2	10.5
	東アジア地域言語	3	90	89	28	3.2		321	238	29	251	249	70	3.6		259	170	3	30	30	3	10.0
法	法律	30	491	489	169	2.9		338	237	185	1,763	1,720	710	2.4		271	163	15	146	144	19	7.6
	経営法	17	400	397	140	2.8		330	243	85	554	543	215	2.5		264	165	7	19	19	7	2.7
経済	経済	25	637	629	185	3.4		355	245	225	2,520	2,465	790	3.1		278	178	12	95	92	18	5.1
	産業経済	10	357	352	88	4.0		310	239	90	880	867	289	3.0		255	175	6	20	20	6	3.3
商	商	23	541	539	154	3.5		355	242	110	1,326	1,299	317	4.1		256	186	7	35	33	7	4.7
	経営	16	576	571	167	3.4		361	249	110	1,006	991	254	3.9		281	187	7	49	47	7	6.7
	会計専門職プログラム（経営）		41	41	12	3.4		304	258		41	40	12	3.3		258	205		0	0	0	—
	貿易	14	376	374	95	3.9		338	238	83	838	826	○288	2.9		252	168	7	34	34	7	4.9
商二	商	15	162	160	66	2.4		306	222	85	292	277	○149	1.9		253	145	15	61	58	20	2.9
	会計専門職プログラム（商二部）		11	9	4	2.3		265	238										2	1	1	1.0
理	応用数	3	75	73	25	2.9		357	226	36	349	342	126	2.7		279	174	2	16	15	3	5.0
	社会数理・情報インスティテュート		37	37	14	2.6		325	221		109	104	34	3.1		243	172		2	2	1	2.0
	物理科	3	76	75	44	1.7		334	195	32	248	241	115	2.1		290	160	2	5	5	1	5.0
											物理重視型											
											56	54	34	1.6		271	159					
	化	5	71	71	24	3.0		378	227	35	455	439	178	2.5		291	172	2	10	10	2	5.0
											化学重視型											
											79	79	30	2.6		265	173					
	地球圏科	4	95	95	36	2.6		348	221	34	495	475	149	3.2		266	177	2	8	7	1	7.0
工	機械工	10	165	161	62	2.6		339	213	55	656	628	309	2.0		290	155	3	11	9	3	3.0
	電気工	10	151	148	61	2.4		306	194	55	487	473	257	1.8		277	144	3	6	6	3	2.0
	電子情報工	14	229	223	77	2.9		338	220	75	1,097	1,041	420	2.5		280	170	4	23	18	4	4.5
	化学システム工	10	128	126	65	1.9		314	180	55	522	511	259	2.0		266	144	3	12	12	3	4.0
	社会デザイン工	10	161	157	44	3.6		356	210	50	483	474	215	2.2		287	153	3	19	18	3	6.0
	建築	10	144	141	40	3.5		364	228	50	774	759	224	3.4		275	183	3	26	25	3	8.3
医	医	60	2,593	2,468	一次 ※1 400 二次 119	20.7	51	※2 370	※2 281													
	看護	8	80	77	22	3.5		364	278	70	557	537	128	4.2		250	183	3	37	36	3	12.0
薬	薬	15	305	294	107	2.7		365	255	105	953	915	295	3.1		288	193	7	91	85	7	12.1
											理科重視型											
											102	97	37	2.6		267	194					
スポーツ科	スポーツ科	6	93	92	31	3.0		305	240	37	実技型							4	18	17	4	4.3
											187	184	63	2.9		253	189					
											小論文型											
											85	84	32	2.6		230	183					
	健康運動科	3	74	74	25	3.0		328	238	20	159	158	59	2.7		242	183	2	9	7	2	3.5
合計		356	9,186	8,978	2,231	4.0	51			1,938	20,831	20,314	7,061	2.9				141	964	927	155	6.0

競争率＝受験者÷合格者（第二志望合格者を除く）
※1は合計に含まない。
※2は一次選考（400点満点）の点数を示す。

一般選抜（系統別日程）は合計400点満点、一般選抜（前期日程）は合計300点満点。
○欄は職業教育を主とする学科からの志願者で特別に考慮したもの（合計2人）を含む。

学部・学科等		前期日程・共通テスト併用型					共通テスト利用型（Ⅰ期）						共通テスト利用型（Ⅱ期）					共通テスト利用型（Ⅲ期）				
		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	追加合格者	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
人文	文化	10	329	327	129	2.5	5	114	113	64	1.8		3	73	72	27	2.7					
	歴史	8	235	232	67	3.5	4	127	120	58	2.1		3	55	54	23	2.3					
	日本語日本文	8	174	172	69	2.5	4	90	87	57	1.5		3	35	35	14	2.5					
	教育・臨床心理	10	281	281	89	3.2	3	125	119	58	2.1		3	61	61	26	2.3					
	英語	7	346	342	114	3.0	4	156	154	74	2.1		3	61	61	23	2.7					
	ドイツ語	4	118	118	45	2.6	3	42	38	18	2.1		2	25	25	13	1.9					
	フランス語	4	77	77	25	3.1	3	30	28	18	1.6		2	16	16	7	2.3					
	東アジア地域言語	3	100	100	54	1.9	3	34	32	18	1.8		2	28	28	12	2.3					
法	法律	37	736	726	410	1.8	18	359	354	210	1.7		15	145	145	88	1.6					
	経営法	13	206	204	104	2.0	8	60	59	31	1.9		5	46	46	26	1.8					
経済	経済	25	1,012	1,003	315	3.2	20	397	387	165	2.3		10	162	160	77	2.1					
	産業経済	10	276	273	122	2.2	10	77	72	26	2.8		5	63	63	25	2.5					
商	商	20	478	473	120	3.9	4	175	172	81	2.1		5	100	99	50	2.0					
	経営	20	370	363	102	3.6	6	138	133	57	2.3		5	66	65	35	1.9					
	会計専門職プログラム（経営）							37	37	15	2.5											
	貿易	15	249	248	114	2.2	4	58	56	23	2.4		5	63	63	33	1.9					
商二	商						5	38	33	19	1.7		5	27	26	18	1.4					
	会計専門職プログラム（商二部）							6	6	2	3.0											
理	応用数	2	173	171	91	1.9	2	67	65	39	1.7		2	44	43	21	2.0					
	社会数理・情報インスティテュート		63	61	26	2.3		32	31	19	1.6			17	17	6	2.8					
	物理科	2	136	135	111	1.2	2	94	89	66	1.3		2	36	35	22	1.6					
	化	2	224	216	99	2.2	2	141	101	61	1.7		2	44	30	11	2.7					
	地球圏科	2	193	183	70	2.6	2	108	108	54	2.0		2	68	68	23	3.0					
工	機械工	8	305	300	182	1.6	4	164	163	101	1.6		3	74	65	31	2.1					
	電気工	8	265	260	186	1.4	4	79	76	50	1.5		3	44	38	15	2.5					
	電子情報工	13	506	490	256	1.9	5	245	240	124	1.9		4	118	114	55	2.1					
	化学システム工	8	281	279	212	1.3	4	130	129	94	1.4		3	42	38	17	2.2					
	社会デザイン工	13	264	262	174	1.5	4	100	98	68	1.4		3	41	40	16	2.5					
	建築	13	402	395	153	2.6	4	195	193	82	2.4		3	74	70	25	2.8					
医	医						10	587	579	一次 ※1 187 二次 43	13.5	13										
	看護	4	194	191	67	2.9	3	126	113	48	2.4		3	68	67	31	2.2					
薬	薬	7	342	333	122	2.7	7	236	231	74	3.1		7	138	138	35	3.9	3	26	25	一次 ※1 10 二次 4	6.3
スポーツ科	スポーツ科	5	実技型 70	69	28	2.5	7	72	71	37	1.9		4	44	44	21	2.1					
			小論文型 33	33	16	2.1																
	健康運動科	3	71	71	48	1.5	3	41	41	25	1.6		2	31	31	12	2.6					
合計		284	8,509	8,388	3,720	2.3	167	4,480	4,328	1,979	2.2	13	119	1,909	1,857	838	2.2	3	26	25	4	6.3

競争率＝受験者÷合格者（第二志望合格者を除く）
※1は合計に含まない。

令和6年度 入試状況表

学部・学科等		一般選抜（系統別日程）								一般選抜（前期日程）								一般選抜（後期日程）				
		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	追加合格者	合格最高点	合格最低点	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	追加合格者	合格最高点	合格最低点	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
人文	文化	5	124	123	56	2.2		328	241	40	578	562	203	2.8		269	173	5	20	17	11	1.5
	歴史	5	137	135	54	2.5		327	256	30	438	428	139	3.1		268	184	2	8	8	2	4.0
	日本語日本文	4	125	124	55	2.3		352	248	30	386	380	131	2.9		262	172	2	12	12	3	4.0
	教育・臨床心理	5	126	123	36	3.4		339	244	45	715	700	181	3.9		262	189	3	26	24	10	2.4
	英語	7	132	132	47	2.8		322	240	42	611	591	216	2.7		249	170	3	22	19	5	3.8
	ドイツ語	3	92	91	45	2.0		316	200	20	211	204	101	2.0		235	150	2	12	12	7	1.7
	フランス語	3	95	95	48	2.0		289	200	20	203	198	90	2.2		237	148	2	12	11	5	2.2
	東アジア地域言語	3	92	91	30	3.0		310	229	29	237	234	73	3.2		253	171	3	12	10	5	2.0
法	法律	30	306	305	145	2.1		325	214	185	1,697	1,646	763	2.2		274	156	15	90	86	38	2.3
	経営法	17	356	354	109	3.2		325	228	85	803	787	258	3.1		249	173	7	18	18	7	2.6
経済	経済	25	522	517	160	3.2		345	231	225	2,460	2,400	○809	3.0		278	175	12	126	115	27	4.3
	産業経済	10	284	281	85	3.3		345	220	90	780	760	285	2.7		259	167	6	31	29	6	4.8
商	商	23	440	434	137	3.2		333	229	110	1,153	1,129	357	3.2		264	178	7	31	31	7	4.4
	経営	16	465	462	173	2.7		366	223	110	813	800	○267	3.0		264	175	7	37	33	7	4.7
	会計専門職プログラム（経営）		36	35	8	4.4		366	258		39	37	13	2.8		259	201		1	1	0	—
	貿易	14	259	258	92	2.8		333	213	83	809	796	313	2.5		271	162	7	30	28	8	3.5
商二	商	15	116	113	51	2.2		314	195	85	271	263	○142	1.9		236	141	15	21	21	12	1.8
	会計専門職プログラム（商二部）		21	19	6	3.2		282	245										1	1	0	—
理	応用数	3	82	79	32	2.5		361	214	38	346	330	153	2.2		282	150	2	9	7	4	1.8
	社会数理・情報インスティテュート		69	65	17	3.8		361	236		134	130	35	3.7		248	171		6	6	2	3.0
	物理科	3	75	74	51	1.5		338	175	34	248	237	127	1.9		278	150	2	7	7	3	2.3
											物理重視型											
											56	55	39	1.4		278	156					
	化	5	61	58	24	2.4		320	215	37	475	461	195	2.4		294	164	2	13	13	2	6.5
											化学重視型											
											97	96	52	1.8		282	173					
	地球圏科	4	70	69	25	2.8		331	213	36	435	421	192	2.2		272	163	2	13	13	2	6.5
工	機械工	10	167	163	57	2.9		335	200	55	693	667	333	2.0		289	152	3	20	17	4	4.3
	電気工	10	180	176	65	2.7		335	195	55	517	492	261	1.9		272	141	3	9	7	3	2.3
	電子情報工	14	269	261	83	3.1		335	206	75	1,325	1,263	490	2.6		285	174	4	27	25	7	3.6
	化学システム工	10	145	144	72	2.0		335	178	55	453	442	224	2.0		278	143	3	20	19	10	1.9
	社会デザイン工	10	158	157	62	2.5		318	190	50	423	404	194	2.1		269	145	3	16	14	9	1.6
	建築	10	131	129	34	3.8		310	204	50	713	687	256	2.7		284	179	3	18	16	3	5.3
医	医	65	2,071	1,905	一次 ※1 453 二次 131	14.5	14	※2 362	※2 269													
	看護	8	85	82	17	4.8		325	278	70	633	606	139	4.4	17	261	181	3	27	26	5	5.2
薬	薬	15	282	271	98	2.8		349	260	105	1,003	937	291	3.2		297	191	7	90	82	17	4.8
											理科重視型											
											121	116	53	2.2		268	193					
スポーツ科	スポーツ科	6	77	75	31	2.4		337	232	42	実技型							5	19	17	6	2.8
											194	186	74	2.5		240	176					
											小論文型											
											77	76	27	2.8		225	183					
	健康運動科	3	63	61	27	2.3		299	229	20	141	137	56	2.4		243	170	2	5	5	2	2.5
合計		361	7,713	7,461	2,163	3.4	14			1,951	20,288	19,658	7,532	2.6	17			142	809	750	239	3.1

競争率＝受験者÷合格者（第二志望合格者を除く）
※1は合計に含まない。
※2は一次選考（400点満点）の点数を示す。

一般選抜（系統別日程）は合計400点満点、一般選抜（前期日程）は合計300点満点。
○欄は職業教育を主とする学科からの志願者で特別に考慮したもの（合計3人）を含む。

学部・学科等		前期日程・共通テスト併用型					共通テスト利用型（Ⅰ期）						共通テスト利用型（Ⅱ期）					共通テスト利用型（Ⅲ期）				
		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	追加合格者	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
人文	文化	10	286	279	141	2.0	5	95	90	54	1.7		3	44	44	20	2.2					
	歴史	8	213	211	73	2.9	4	80	75	50	1.5		3	50	50	26	1.9					
	日本語日本文	8	170	169	72	2.3	4	75	74	48	1.5		3	34	34	19	1.8					
	教育・臨床心理	10	273	270	67	4.0	3	109	106	53	2.0		3	64	64	27	2.4					
	英語	7	257	252	128	2.0	4	102	96	60	1.6		3	48	48	20	2.4					
	ドイツ語	4	58	56	44	1.3	3	34	30	17	1.8		2	26	25	13	1.9					
	フランス語	4	60	59	46	1.3	3	31	27	12	2.3		2	14	14	7	2.0					
	東アジア地域言語	3	102	102	61	1.7	3	41	39	23	1.7		2	28	28	14	2.0					
法	法律	37	696	681	437	1.6	18	278	263	172	1.5		15	140	140	80	1.8					
	経営法	13	274	269	93	2.9	8	58	52	29	1.8		5	33	33	15	2.2					
経済	経済	25	916	901	297	3.0	20	306	290	136	2.1		10	153	153	75	2.0					
	産業経済	10	231	229	100	2.3	10	65	62	32	1.9		5	32	32	19	1.7					
商	商	20	431	426	147	2.9	4	119	113	64	1.8		5	68	68	36	1.9					
	経営	20	307	303	129	2.3	6	83	78	45	1.7		5	60	60	36	1.7					
	会計専門職プログラム（経営）							23	23	14	1.6											
	貿易	15	210	207	113	1.8	4	39	35	21	1.7		5	67	67	34	2.0					
商二	商						5	23	22	13	1.7		5	28	28	21	1.3					
	会計専門職プログラム（商二部）							8	8	4	2.0											
理	応用数	2	136	131	95	1.4	2	64	63	40	1.6		2	42	42	22	1.9					
	社会数理・情報インスティテュート		65	64	22	2.9		28	27	16	1.7			20	20	8	2.5					
	物理科	2	111	108	90	1.2	2	64	61	44	1.4		2	40	39	27	1.4					
	化	2	222	219	133	1.6	2	124	97	74	1.3		2	43	35	18	1.9					
	地球圏科	2	148	147	84	1.8	2	87	86	53	1.6		2	46	46	28	1.6					
工	機械工	8	306	298	215	1.4	4	132	132	90	1.5		3	70	59	39	1.5					
	電気工	8	259	249	191	1.3	4	71	71	47	1.5		3	46	37	23	1.6					
	電子情報工	13	586	574	299	1.9	5	237	237	129	1.8		4	114	113	61	1.9					
	化学システム工	8	223	222	198	1.1	4	94	94	69	1.4		3	32	31	12	2.6					
	社会デザイン工	13	232	222	185	1.2	4	73	71	50	1.4		3	31	31	16	1.9					
	建築	13	346	339	146	2.3	4	140	139	85	1.6		3	48	47	24	2.0					
医	医						5	451	447	一次 ※1 145 二次 22	20.3	31										
	看護	4	193	188	64	2.9	3	86	78	37	2.1		3	70	66	30	2.2					
薬	薬	7	353	337	115	2.9	7	255	251	74	3.4		7	140	140	42	3.3	3	12	12	一次 ※1 6 二次 6	2.0
スポーツ科	スポーツ科	5	実技型				7	59	58	31	1.9		5	45	45	17	2.6					
			58	57	26	2.2																
			小論文型																			
			34	33	19	1.7																
	健康運動科	3	71	68	49	1.4	3	53	52	27	1.9		3	29	29	8	3.6					
合計		284	7,827	7,670	3,879	2.0	162	3,587	3,447	1,735	2.0	31	121	1,705	1,668	837	2.0	3	12	12	6	2.0

競争率＝受験者÷合格者（第二志望合格者を除く）
※1は合計に含まない。

現浪別志願者・受験者・合格者数　令和7年度

（注）合格者には追加合格者を含まない

学部・学科等		一般選抜（系統別日程）						一般選抜（前期日程）						前期日程・共通テスト併用型					
		志願者		受験者		合格者		志願者		受験者		合格者		志願者		受験者		合格者	
		現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
人文	文化	162	9	162	7	51	4	657	38	651	35	186	6	315	14	313	14	123	6
	歴史	151	15	151	14	48	4	429	40	422	39	122	7	215	20	213	19	64	3
	日本語日本文	133	9	132	8	48	4	345	20	334	16	112	3	166	8	164	8	65	4
	教育・臨床心理	133	12	130	11	35	4	605	54	593	51	174	15	261	20	261	20	81	8
	英語	183	14	182	13	43	4	726	29	719	27	184	7	337	9	333	9	114	0
	ドイツ語	95	10	95	10	38	5	283	21	281	18	92	11	113	5	113	5	41	4
	フランス語	91	10	91	10	35	4	236	24	236	20	77	7	73	4	73	4	22	3
	東アジア地域言語	83	7	83	6	25	3	243	8	241	8	65	5	95	5	95	5	50	4
法	法律	450	41	448	41	152	17	1,630	133	1,599	121	656	54	693	43	683	43	386	24
	経営法	377	23	374	23	131	9	516	38	506	37	198	17	195	11	194	10	99	5
経済	経済	583	54	576	53	166	19	2,341	179	2,300	165	733	57	957	55	949	54	295	20
	産業経済	330	27	325	27	81	7	824	56	814	53	268	21	260	16	258	15	114	8
商	商	505	36	503	36	141	13	1,237	89	1,220	79	297	20	458	20	455	18	115	5
	経営	538	38	533	38	158	9	920	86	909	82	241	13	354	16	348	15	99	3
	会計専門職プログラム（経営）	33	8	33	8	9	3	38	3	37	3	9	3						
	貿易	349	27	347	27	86	9	778	60	768	58	263	25	233	16	232	16	104	10
商二	商	138	24	137	23	60	6	245	47	236	41	125	24						
	会計専門職プログラム（商二部）	7	4	6	3	3	1												
理	応用数	66	9	64	9	19	6	327	22	323	19	120	6	160	13	159	12	83	8
	社会数理・情報インスティテュート	35	2	35	2	12	2	93	16	89	15	28	6	56	7	55	6	23	3
	物理科	71	5	70	5	41	3	218	30	212	29	97	18	117	19	116	19	93	18
								物理重視型											
								50	6	49	5	32	2						
	化	68	3	68	3	23	1	407	48	393	46	156	22	207	17	200	16	92	7
								化学重視型											
								74	5	74	5	30	0						
	地球圏科	87	8	87	8	31	5	425	70	417	58	122	27	163	30	157	26	57	13
工	機械工	146	19	143	18	49	13	584	72	561	67	267	42	271	34	267	33	159	23
	電気工	136	15	134	14	53	8	460	27	449	24	238	19	251	14	247	13	176	10
	電子情報工	204	25	199	24	64	13	980	117	938	103	372	48	454	52	444	46	228	28
	化学システム工	117	11	116	10	60	5	478	44	469	42	237	22	260	21	259	20	195	17
	社会デザイン工	151	10	148	9	41	3	432	51	425	49	189	26	244	20	243	19	162	12
	建築	131	13	128	13	35	5	689	85	678	81	190	34	359	43	354	41	136	17
医	医	607	1,986	586	1,882	16	103												
	看護	65	15	64	13	19	3	516	41	498	39	118	10	177	17	174	17	59	8
薬	薬	165	140	161	133	60	47	696	257	685	230	208	87	266	76	263	70	88	34
								理科重視型											
								74	28	71	26	25	12						
スポーツ科	スポーツ科	87	6	86	6	29	2	実技型						実技型					
								183	4	181	3	62	1	67	3	67	2	27	1
								小論文型						小論文型					
								82	3	81	3	32	0	32	1	32	1	16	0
	健康運動科	70	4	70	4	23	2	151	8	150	8	57	2	68	3	68	3	45	3
合　計		6,547	2,639	6,467	2,511	1,885	346	18,972	1,859	18,609	1,705	6,382	679	7,877	632	7,789	599	3,411	309

（注）合格者には追加合格者を含まない

学部・学科等		一般選抜（後期日程）						共通テスト利用型（Ⅰ期）						共通テスト利用型（Ⅱ期）						共通テスト利用型（Ⅲ期）					
		志願者		受験者		合格者		志願者		受験者		合格者		志願者		受験者		合格者		志願者		受験者		合格者	
		現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
人文	文化	41	10	40	10	5	0	105	9	104	9	62	2	62	11	61	11	20	7						
	歴史	8	2	8	2	1	0	118	9	111	9	55	3	47	8	46	8	21	2						
	日本語日本文	10	3	10	3	2	0	84	6	81	6	55	2	32	3	32	3	13	1						
	教育・臨床心理	23	4	23	4	1	1	119	6	113	6	56	2	53	8	53	8	22	4						
	英語	37	2	35	2	3	0	144	12	143	11	70	4	56	5	56	5	21	2						
	ドイツ語	16	3	16	3	0	2	37	5	34	4	16	2	21	4	21	4	9	4						
	フランス語	18	3	18	3	2	0	28	2	26	2	17	1	13	3	13	3	4	3						
	東アジア地域言語	28	2	28	2	3	0	34	0	32	0	18	0	26	2	26	2	10	2						
法	法律	126	20	124	20	13	6	320	39	315	39	184	26	121	24	121	24	74	14						
	経営法	16	3	16	3	6	1	50	10	50	9	24	7	34	12	34	12	20	6						
経済	経済	83	12	80	12	16	2	351	46	343	44	143	22	138	24	137	23	65	12						
	産業経済	18	2	18	2	6	0	65	12	60	12	24	2	55	8	55	8	20	5						
商	商	29	6	28	5	6	1	155	20	152	20	73	8	78	22	78	21	41	9						
	経営	39	10	38	9	3	4	121	17	117	16	52	5	56	10	56	9	32	3						
	会計専門職プログラム（経営）	0	0	0	0	0	0	32	5	32	5	11	4												
	貿易	31	3	31	3	6	1	53	5	52	4	21	2	51	12	51	12	29	4						
商二	商	45	16	45	13	13	7	33	5	30	3	18	1	22	5	21	5	15	3						
	会計専門職プログラム（商二部）	0	2	0	1	0	1	5	1	5	1	1	1												
理	応用数	15	1	15	0	3	0	61	6	59	6	35	4	33	11	32	11	16	5						
	社会数理・情報インスティテュート	0	2	0	2	0	1	23	9	22	9	12	7	13	4	13	4	3	3						
	物理科	5	0	5	0	1	0	67	27	63	26	44	22	27	9	26	9	14	8						
	化	9	1	9	1	2	0	117	24	89	12	52	9	38	6	27	3	9	2						
	地球圏科	6	2	6	1	1	0	73	35	73	35	34	20	61	7	61	7	18	5						
工	機械工	9	2	8	1	2	1	119	45	118	45	71	30	64	10	57	8	30	1						
	電気工	5	1	5	1	2	1	63	16	60	16	37	13	40	4	34	4	14	1						
	電子情報工	21	2	17	1	3	1	203	42	200	40	98	26	102	16	98	16	47	8						
	化学システム工	10	2	10	2	3	0	109	21	108	21	79	15	31	11	29	9	9	8						
	社会デザイン工	15	4	15	3	2	1	85	15	83	15	56	12	33	8	32	8	14	2						
	建築	21	5	20	5	2	1	153	42	151	42	59	23	60	14	56	14	18	7						
医	医							209	378	207	372	16	27												
	看護	34	3	33	3	3	0	110	16	101	12	42	6	60	8	59	8	27	4						
薬	薬	63	28	60	25	2	5	157	79	154	77	50	24	103	35	103	35	25	10	18	8	17	6	2	2
スポーツ科	スポーツ科	16	2	15	2	3	1	64	8	64	7	33	4	38	6	38	6	19	2						
	健康運動科	8	1	6	1	2	0	38	3	38	3	22	3	27	4	27	4	10	2						
合　計		805	159	782	145	117	38	3,505	975	3,390	938	1,640	339	1,595	314	1,553	304	689	149	18	8	17	6	2	2

一般選抜（系統別日程）データ　令和７年度 入試科目別状況

（注1）合格者平均点の下段の数は各科目の満点を示す。
（注2）医学部医学科は理科2科目選択であり、一次選考の点数・合格率を示す。
（注3）スポーツ科学部は受験科目のうち最高得点の1科目を200点に換算する為、記載していない。

文系学部

学部・学科等		総受験者数	英語		国語		数学文系			政治・経済			日本史			世界史			地理			簿記・会計		
			合格者平均点	合格率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率
人文	文化	169	83.1/150	32.5%	116.3/150	32.5%	4.1%	60.0/100	28.6%	23.1%	69.7/100	30.8%	43.2%	67.3/100	35.6%	21.3%	69.8/100	30.6%	8.3%	64.0/100	28.6%			
人文	歴史	165	54.5/100	31.5%	78.4/100	31.5%							68.5%	164.8/200	25.7%	27.9%	175.0/200	50.0%	3.6%	—/200	0.0%			
人文	日本語日本文	140	51.7/100	37.1%	164.0/200	37.1%	2.9%	82.7/100	75.0%	21.4%	63.1/100	26.7%	53.6%	63.6/100	38.7%	15.7%	62.0/100	40.9%	6.4%	62.0/100	33.3%			
人文	教育・臨床心理	141	87.6/150	27.7%	115.9/150	27.7%	8.5%	80.0/100	50.0%	24.1%	67.9/100	20.6%	48.2%	68.8/100	32.4%	12.1%	57.3/100	17.6%	7.1%	71.0/100	10.0%			
人文	英語	195	137.9/200	24.1%	77.7/100	24.1%	7.2%	76.0/100	42.9%	24.6%	74.1/100	16.7%	38.5%	74.4/100	22.7%	18.5%	76.9/100	25.0%	11.3%	80.3/100	31.8%			
人文	ドイツ語	105	84.9/150	41.0%	109.3/150	41.0%	2.9%	62.0/100	66.7%	30.5%	62.3/100	37.5%	46.7%	67.1/100	40.8%	14.3%	70.5/100	40.0%	5.7%	63.0/100	50.0%			
人文	フランス語	101	83.0/150	38.6%	107.6/150	38.6%	5.0%	62.0/100	40.0%	31.7%	64.7/100	34.4%	38.6%	63.9/100	43.6%	16.8%	69.3/100	35.3%	7.9%	71.3/100	37.5%			
人文	東アジア地域言語	89	85.3/150	31.5%	108.1/150	31.5%	3.4%	—/100	0.0%	24.7%	68.3/100	40.9%	48.3%	67.9/100	27.9%	18.0%	61.8/100	37.5%	5.6%	74.0/100	20.0%			
法	法律	489	81.3/150	34.6%	112.6/150	34.6%	10.8%	81.8/100	39.6%	26.2%	68.1/100	22.7%	41.9%	69.0/100	41.0%	13.9%	72.0/100	38.2%	7.2%	67.9/100	25.7%	0.0%	—/100	—
法	経営法	397	48.4/100	35.3%	109.4/150	35.3%	7.6%	119.7/150	43.3%	26.2%	101.5/150	25.0%	42.1%	109.3/150	39.5%	15.1%	113.0/150	40.0%	9.1%	113.3/150	30.6%	0.0%	—/150	—
経済	経済	629	84.8/150	29.4%	71.8/100	29.4%	21.1%	125.8/150	39.8%	21.9%	103.5/150	16.7%	36.7%	113.3/150	31.6%	11.9%	111.8/150	30.7%	8.3%	110.8/150	25.0%	0.0%	—/150	—
経済	産業経済	352	83.0/150	25.0%	69.7/100	25.0%	14.8%	121.7/150	36.5%	25.0%	99.1/150	17.0%	36.1%	115.0/150	21.3%	13.9%	108.4/150	36.7%	10.2%	104.9/150	25.0%	0.0%	—/150	—
商	商	539	85.6/150	28.6%	72.2/100	28.6%	13.9%	129.3/150	30.7%	22.8%	101.7/150	22.0%	41.7%	113.4/150	30.7%	14.7%	113.9/150	26.6%	6.5%	103.0/150	37.1%	0.4%	90.0/150	50.0%
商	経営	571	50.9/100	29.2%	110.3/150	29.2%	12.8%	127.1/150	38.4%	25.0%	105.5/150	17.5%	38.4%	110.7/150	29.7%	15.2%	116.4/150	36.8%	7.5%	113.9/150	34.9%	1.1%	109.0/150	33.3%
商	会計専門職プログラム（経営）	41	52.4/100	29.3%	103.8/150	29.3%	24.4%	140.6/150	50.0%	22.0%	88.5/150	22.2%	19.5%	97.5/150	25.0%	19.5%	105.5/150	25.0%	2.4%	—/150	0.0%	12.2%	128.0/150	20.0%
商	貿易	374	81.0/150	25.4%	70.8/100	25.4%	11.5%	115.5/150	30.2%	27.5%	98.6/150	17.5%	35.6%	114.1/150	21.1%	15.8%	113.0/150	42.4%	9.4%	108.7/150	31.4%	0.3%	—/150	0.0%
商二	商	160	46.0/100	41.3%	100.9/150	41.3%	9.4%	117.3/150	46.7%	22.5%	96.2/150	33.3%	38.8%	101.6/150	38.7%	18.1%	100.8/150	48.3%	9.4%	105.5/150	53.3%	1.9%	128.0/150	33.3%
商二	会計専門職プログラム（商二部）	9	46.8/100	44.4%	99.0/150	44.4%	0.0%	—/150	—	22.2%	98.0/150	100.0%	44.4%	113.0/150	25.0%	22.2%	98.0/150	50.0%	0.0%	—/150	—	11.1%	—/150	0.0%

理系学部

学部・学科等		総受験者数	英語		数学		物理			化学			生物			地学		
			合格者平均点	合格率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率
理	応用数	73	49.8/100	34.2%	145.7/200	34.2%	67.1%	75.5/100	34.7%	21.9%	62.3/100	43.8%	11.0%	67.0/100	12.5%	0.0%	—/100	—
理	社会数理・情報インスティテュート	37	48.4/100	37.8%	136.0/200	37.8%	75.7%	66.4/100	39.3%	18.9%	54.3/100	42.9%	5.4%	—/100	—	0.0%	—/100	—
理	物理科	75	43.2/100	58.7%	57.2/100	58.7%	100.0%	151.8/200	58.7%									
理	化	71	54.5/100	33.8%	68.0/100	33.8%				100.0%	153.2/200	33.8%						
理	地球圏科	95	51.3/100	37.9%	60.4/100	37.9%	29.5%	164.2/200	46.4%	29.5%	138.0/200	25.0%	41.1%	150.8/200	41.0%	0.0%	—/200	—
工	機械工	161	77.2/150	38.5%	99.2/150	38.5%	100.0%	78.5/100	38.5%									
工	電気工	148	71.3/150	41.2%	91.8/150	41.2%	86.5%	71.1/100	39.8%	13.5%	63.9/100	50.0%						
工	電子情報工	223	78.3/150	34.5%	103.7/150	34.5%	75.3%	78.3/100	34.5%	24.7%	67.9/100	34.5%						
工	化学システム工	126	67.5/150	51.6%	82.6/150	51.6%	38.9%	68.9/100	51.0%	50.0%	64.5/100	55.6%	11.1%	70.6/100	35.7%			
工	社会デザイン工	157	78.8/150	28.0%	99.1/150	28.0%	75.8%	76.0/100	30.3%	17.8%	72.4/100	25.0%	6.4%	73.0/100	10.0%	0.0%	—/100	—
工	建築	141	86.9/150	28.4%	106.5/150	28.4%	83.7%	84.9/100	28.8%	16.3%	75.3/100	26.1%						
医	医	2468	69.4/100	16.2%	65.2/100	16.2%	61.0%	91.1/100	20.9%	99.5%	79.7/100	16.2%	39.3%	81.3/100	8.9%			
医	看護	77	65.1/100	28.6%	92.5/100	28.6%				44.2%	148.9/200	38.2%	55.8%	155.8/200	20.9%			
薬	薬	294	59.7/100	36.4%	76.3/100	36.4%	23.8%	172.6/200	52.9%	54.1%	147.0/200	28.9%	22.1%	151.2/200	36.9%			

一般選抜（前期日程）データ　令和７年度 入試科目別状況

（注1）合格者には第二志望合格者・追加合格者を含まない。
（注2）理学部応用数学科の数学は130点満点、理科は70点満点。
（注3）理学部物理科学科（物理重視型）の英語は50点満点、数学は50点満点、理科は200点満点。
（注4）理学部化学科（化学重視型）の英語は50点満点、数学は50点満点、理科は200点満点。
（注5）薬学部薬学科（理科重視型）の理科は2科目選択。

文系学部（理学部　社会数理・情報インスティテュート含む）

学部・学科等		総受験者数	英語		国語		数学文系			政治・経済			日本史			世界史			地理			簿記・会計		
			合格者平均点	合格率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率
人文	文化	686	68.5	28.0%	69.0	28.0%	7.6%	72.1	36.5%	20.4%	75.2	26.4%	43.6%	70.1	27.4%	19.7%	72.7	31.1%	8.7%	67.5	20.0%			
人文	歴史	461	68.5	28.0%	72.1	28.0%							68.3%	73.7	27.0%	29.5%	74.6	32.4%	2.2%	—	0.0%			
人文	日本語日本文	350	59.5	32.8%	70.7	32.9%	8.6%	80.7	43.3%	20.6%	64.1	26.4%	53.4%	66.5	32.6%	13.7%	68.3	37.5%	3.7%	62.8	30.8%			
人文	教育・臨床心理	644	67.9	29.3%	68.9	29.3%	18.2%	79.5	42.7%	22.4%	74.9	22.2%	39.4%	69.3	27.6%	14.4%	73.9	29.0%	5.6%	72.6	27.8%			
人文	英語	746	67.7	25.6%	63.9	25.6%	12.1%	79.5	25.6%	24.8%	71.3	23.8%	33.2%	71.5	27.4%	21.3%	75.3	24.5%	8.6%	69.8	26.6%			
人文	ドイツ語	299	64.2	34.4%	56.9	34.4%	5.7%	58.4	29.4%	23.7%	72.4	33.8%	41.1%	66.9	30.1%	22.4%	70.9	43.3%	7.0%	71.9	38.1%			
人文	フランス語	256	65.2	32.8%	56.4	32.8%	9.0%	70.1	52.2%	31.6%	68.8	38.3%	34.4%	58.3	25.0%	15.6%	68.4	30.0%	9.4%	67.0	29.2%			
人文	東アジア地域言語	249	65.9	28.1%	61.6	28.1%	8.8%	79.2	27.3%	24.9%	67.8	32.3%	36.5%	69.4	28.6%	22.5%	70.5	26.8%	7.2%	62.0	16.7%			
法	法律	1,720	61.8	41.3%	61.9	41.3%	10.5%	78.3	47.5%	26.5%	66.3	39.9%	43.1%	67.5	40.3%	13.8%	66.8	45.1%	6.0%	67.1	34.6%	0.0%	—	—
法	経営法	543	61.1	39.6%	61.8	39.6%	9.0%	73.6	44.9%	29.7%	64.4	35.4%	37.2%	66.6	40.1%	18.6%	69.0	44.6%	5.5%	61.9	33.3%	0.0%	—	—
経済	経済	2,465	64.9	32.0%	64.0	32.0%	29.5%	81.1	36.1%	19.0%	73.9	31.0%	32.5%	70.2	31.0%	11.6%	73.5	30.1%	7.4%	67.5	26.8%	0.1%	—	0.0%
経済	産業経済	867	63.4	33.3%	63.3	33.3%	16.3%	78.6	31.9%	24.5%	68.4	34.9%	37.3%	69.0	31.3%	14.6%	70.2	40.2%	7.4%	69.1	28.1%	0.0%	—	—
商	商	1,299	66.0	24.4%	66.9	24.4%	17.5%	78.9	25.6%	18.2%	72.9	22.9%	41.6%	72.5	24.1%	15.2%	73.9	29.4%	7.1%	65.1	18.5%	0.5%	—	0.0%
商	経営	991	66.9	25.6%	67.5	25.6%	22.5%	80.6	29.6%	24.7%	73.2	20.0%	35.1%	73.1	25.9%	10.8%	71.3	32.7%	6.4%	72.5	20.6%	0.5%	77.0	20.0%
商	会計専門職プログラム（経営）	40	66.9	30.0%	70.6	30.0%	87.5%	88.1	31.4%													12.5%	88.0	20.0%
商	貿易	826	63.2	34.9%	62.3	34.9%	8.8%	79.1	27.4%	28.3%	69.9	32.5%	38.3%	68.0	35.8%	17.3%	72.6	41.3%	7.1%	67.2	32.2%	0.1%	42.0	100.0%
商二	商	277	56.8	53.8%	58.1	53.8%	13.7%	67.4	52.6%	24.5%	66.4	51.5%	36.1%	63.5	55.0%	14.8%	61.8	61.0%	8.7%	61.1	41.7%	2.2%	55.5	66.7%
理	社会数理・情報インスティテュート	104	58.7	32.7%	71.3	20.0%				1.9%	56.0	100.0%	0.0%	—	—	0.0%	—	—	6.7%	60.0	42.9%			

理系学部

学部・学科等		総受験者数	英語		数学			国語			物理			化学			生物			地学			体育実技		小論文	
			合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	科目選択率	合格者平均点	合格率	合格者平均点	合格率	合格者平均点	合格率
理	応用数	342	63.3	36.7%	100.0%	96.7	36.8%				62.6%	50.9	36.0%	30.4%	48.8	38.5%	6.7%	46.1	39.1%	0.3%	—	0.0%				
理	社会数理・情報インスティテュート	104	58.7	32.7%	100.0%	77.0	32.7%	19.2%	71.3	20.0%	48.1%	68.1	34.0%	20.2%	72.7	33.3%	3.8%	67.0	25.0%	0.0%	—	—				
理	物理科	241	59.5	47.7%	100.0%	72.8	47.7%				100.0%	74.6	47.7%													
理	物理科（物理重視型）	54	21.7	63.0%	100.0%	27.2	63.0%				100.0%	159.2	63.0%													
理	化	439	66.0	40.5%	100.0%	72.2	40.5%							100.0%	71.4	40.5%										
理	化（化学重視型）	79	27.0	38.0%	100.0%	30.8	38.0%							100.0%	143.7	38.0%										
理	地球圏科	475	65.9	31.4%	100.0%	73.9	31.4%				23.2%	77.3	35.5%	22.5%	68.5	30.8%	53.5%	68.8	29.9%	0.8%	71.0	25.0%				
工	機械工	628	60.5	49.2%	100.0%	68.3	49.2%				100.0%	73.1	49.2%													
工	電気工	473	57.6	54.3%	100.0%	61.4	54.3%				82.7%	67.4	54.7%	17.3%	67.6	52.4%										
工	電子情報工	1,041	63.1	40.3%	100.0%	71.9	40.3%				72.5%	76.4	40.8%	27.5%	71.3	39.2%										
工	化学システム工	511	58.5	50.7%	100.0%	63.4	50.7%				31.3%	70.4	53.1%	60.7%	68.1	51.0%	8.0%	65.5	39.0%							
工	社会デザイン工	474	59.7	45.4%	100.0%	65.4	45.4%				74.9%	71.7	45.9%	25.1%	66.7	43.7%										
工	建築	759	62.8	29.5%	100.0%	73.0	29.5%				78.5%	74.8	29.0%	21.5%	75.3	31.3%										
医	看護	537	66.7	23.8%				100.0%	64.3	23.8%				27.9%	71.8	32.0%	72.1%	73.7	20.7%							
薬	薬	915	69.0	32.2%	100.0%	81.9	32.2%				19.0%	78.8	42.5%	59.9%	77.4	31.8%	21.1%	72.5	24.4%							
薬	薬（理科重視型）	97	75.8	38.1%							32.0%	81.1	45.2%	100.0%	71.9	38.1%	68.0%	73.1	34.8%							
スポーツ科	スポーツ科（実技型）	184	58.8	34.2%	37.0%	74.4	35.3%	63.0%	60.3	33.6%													87.9	34.2%		
スポーツ科	スポーツ科（小論文型）	84	60.2	38.1%				100.0%	62.8	38.1%															84.0	38.1%
スポーツ科	健康運動科	158	60.6	37.3%				100.0%	60.2	37.3%															80.6	37.3%

※理系学部の数学は必須科目、スポーツ科学部の数学は選択科目。

令和7年度 学校推薦型選抜等状況表

学部・学科等		学校推薦型選抜（A方式）					総合型選抜					アスリート特別選抜				
		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	募集人員	志願者	一次合格者	合格者	競争率	募集人員	志願者	一次合格者	合格者	競争率
人文	文化	14	76	75	25	3.0						4程度	1	1	1	1.0
	歴史	7	40	40	13	3.1							1	1	1	1.0
	日本語日本文	8	31	31	○16	1.9							0	0	0	—
	教育・臨床心理	16	65	64	23	2.8							2	2	2	1.0
	英語	14	67	67	○26	2.6							2	2	2	1.0
	ドイツ語	3	10	10	6	1.7							0	0	0	—
	フランス語	3	5	5	4	1.3							0	0	0	—
	東アジア地域言語	10	33	33	9	3.7							0	0	0	—
法	法律	40	106	106	68	1.6	15	57	19	19	3.0	7程度	5	5	5	1.0
	経営法	10	33	33	14	2.4	7	30	10	10	3.0		2	2	2	1.0
経済	経済	22	162	162	45	3.6	10	126	62	24	5.3	7程度	9	9	9	1.0
	産業経済	8	55	55	19	2.9	5	54	28	11	4.9		3	3	3	1.0
商	商	14	107	107	27	4.0	5	59	21	19	3.1	7程度	8	7	7	1.1
	経営	14	69	69	16	4.3	5	44	18	15	2.9		3	3	3	1.0
	会計専門職プログラム（経営）						3	23	14	12	1.9					
	貿易	11	43	43	26	1.7	3	19	★13	☆10	2.7		0	0	0	—
商二	商	12	16	16	13	1.2	5	11	★◆14	☆◇12	1.4		0	0	0	—
	会計専門職プログラム（商二部）						2	6	4	4	1.5					
理	応用数	6	12	12	6	2.0	2	3	2	2	1.5	2程度	0	0	0	—
	社会数理・情報インスティテュート	2	2	2	2	1.0	若干人	0	0	0	—					
	物理科	9	12	12	10	1.2	2	2	2	2	1.0		0	0	0	—
	化	9	12	12	9	1.3	2	2	2	2	1.0		0	0	0	—
	地球圏科	8	26	26	12	2.2	2	11	7	4	2.8		1	1	1	1.0
工	機械工	14	28	28	17	1.6	2	4	4	3	1.3	3程度	0	0	0	—
	電気工	14	15	15	14	1.1	3	4	3	3	1.3		0	0	0	—
	電子情報工	19	49	49	29	1.7	2	11	6	2	5.5		0	0	0	—
	化学システム工	12	5	5	5	1.0	3	5	5	5	1.0		0	0	0	—
	社会デザイン工	14	22	22	17	1.3	2	9	6	6	1.5		0	0	0	—
	建築	14	43	43	21	2.0	2	11	5	4	2.8		0	0	0	—
医	医学科	40	143	143	27	5.3										
	医学科（地域枠）		44	44	10	4.4										
	看護	13	80	80	30	2.7										
薬	薬	25	81	80	36	2.2										
スポーツ科	スポーツ科	66	実技型				37	124	46	37	3.4	45	50	50	50	1.0
			111	111	59	1.9										
			科目型													
			30	30	7	4.3										
	健康運動科	18	実技型				5	14	10	5	2.8	5	1	1	1	1.0
			14	14	☆10	2.0										
			科目型													
			24	24	☆12	2.4										
合　計		489	1,671	1,668	683	2.5	124	629	301	211	3.1		88	87	87	1.0

競争率＝受験者÷合格者（第二志望合格者を除く）
（総合型選抜、アスリート特別選抜は志願者÷合格者）

※医学部医学科のA方式推薦の募集人員（40人）は、地域枠推薦（10人）と附属校推薦（最大8人）の募集人員を含む。
※スポーツ科学部スポーツ科学科のA方式推薦の募集人員（66人）は、実技型（62人）の募集人員を含む。
※スポーツ科学部健康運動科学科のA方式推薦の募集人員（18人）は、実技型（10人）の募集人員を含む。

○欄は職業教育を主とする学科からの志願者で特別に考慮したもの（合計2人）を含む。
☆欄は第二志望合格者（学校推薦型選抜で5人、総合型選抜で5人）を含む。
◇欄は第三志望合格者（総合型選抜で2人）を含む。
★欄は第二志望合格者（合計6人）を含む。
◆欄は第三志望合格者（合計2人）を含む。

令和6年度 学校推薦型選抜等状況表

学部・学科等		学校推薦型選抜（A方式）					総合型選抜					アスリート特別選抜				
		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	募集人員	志願者	一次合格者	合格者	競争率	募集人員	志願者	一次合格者	合格者	競争率
人文	文化	14	42	42	24	1.8						4程度	0	0	0	—
	歴史	7	26	26	9	2.9							0	0	0	—
	日本語日本文	8	27	27	16	1.7							1	1	1	1.0
	教育・臨床心理	16	66	66	22	3.0							2	2	2	1.0
	英語	14	58	56	25	2.2							3	3	3	1.0
	ドイツ語	3	4	4	4	1.0							0	0	0	—
	フランス語	3	6	6	4	1.5							0	0	0	—
	東アジア地域言語	10	43	42	10	4.2							0	0	0	—
法	法律	40	83	83	62	1.3	15	52	22	22	2.4	7程度	2	2	2	1.0
	経営法	10	28	28	22	1.3	7	26	12	12	2.2		2	2	2	1.0
経済	経済	22	121	120	45	2.7	10	97	50	25	3.9	7程度	12	10	10	1.2
	産業経済	8	47	47	23	2.0	5	33	21	12	2.8		2	2	2	1.0
商	商	14	74	74	23	3.2	5	69	21	20	3.5	7程度	9	9	9	1.0
	経営	14	84	83	○27	3.1	5	31	★20	☆19	2.1		1	1	1	1.0
	会計専門職プログラム（経営）						3	22	17	12	1.8					
	貿易	11	32	32	23	1.4	3	17	★15	☆11	2.4		0	0	0	—
商二	商	12	22	22	○15	1.5	5	15	★◆17	☆◇16	1.7		0	0	0	—
	会計専門職プログラム（商二部）						2	7	4	4	1.8					
理	応用数	6	5	5	○4	1.3						2程度	0	0	0	—
	社会数理・情報インスティテュート	2	9	9	2	4.5										
	物理科	9	7	7	5	1.4							0	0	0	—
	化	9	26	26	13	2.0							0	0	0	—
	地球圏科	8	15	15	9	1.7							0	0	0	—
工	機械工	14	20	20	11	1.8	2	4	2	2	2.0	3程度	0	0	0	—
	電気工	14	12	12	6	2.0	3	7	4	4	1.8		0	0	0	—
	電子情報工	19	44	44	22	2.0	2	3	2	2	1.5		0	0	0	—
	化学システム工	12	8	8	5	1.6	3	4	4	4	1.0		0	0	0	—
	社会デザイン工	14	17	17	10	1.7	2	11	6	6	1.8		0	0	0	—
	建築	14	40	40	22	1.8	2	8	5	4	2.0		0	0	0	—
医	医	40	A方式													
			122	121	26	4.7										
			地域枠													
			50	50	9	5.6										
	看護	13	86	86	23	3.7										
薬	薬	25	86	86	34	2.5										
スポーツ科	スポーツ科	64	実技型				32	104	50	31	3.4	45	46	45	45	1.0
			93	93	58	1.6										
			科目型													
			23	23	7	3.3										
	健康運動科	17	実技型				5	19	3	☆5	6.3	5	4	3	3	1.3
			13	12	☆10	1.7										
			科目型													
			20	20	8	2.5										
合　計		486	1,459	1,452	638	2.3	111	529	275	211	2.7		84	80	80	1.1

競争率＝受験者÷合格者（第二志望合格者を除く）
（総合型選抜、アスリート特別選抜は志願者÷合格者）

※医学部医学科のA方式推薦の募集人員（40人）は、地域枠推薦（10人）と附属校推薦（最大8人）の募集人員を含む。
※スポーツ科学部スポーツ科学科のA方式推薦の募集人員（64人）は、実技型（60人）の募集人員を含む。
※スポーツ科学部健康運動科学科のA方式推薦の募集人員（17人）は、実技型（10人）の募集人員を含む。

○欄は職業教育を主とする学科からの志願者で特別に考慮したもの（合計3人）を含む。
☆欄は第二志望合格者（学校推薦型選抜で3人、総合型選抜で13人）を含む。
◇欄は第三志望合格者（総合型選抜で4人）を含む。
★欄は第二志望合格者（合計15人）を含む。
◆欄は第三志望合格者（合計4人）を含む。

特別選抜状況表

スポーツ科学部特別募集

学科	令和7年度			令和6年度		
	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者
スポーツ科	3	3	3	3	3	1
健康運動科	0	0	0	1	1	0
合計	3	3	3	4	4	1

社会人選抜

学部・学科		令和7年度			令和6年度		
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者
商	商（前期）	1	1	1	0	0	0
	商（後期）	0	0	0	1	1	1
	経営（前期）	0	0	0	1	1	1
商二	商（前期）	2	2	2	2	2	2
	商（後期）	1	1	1	1	1	1
合計		4	4	4	5	5	5

帰国生徒選抜

学部・学科		令和7年度			令和6年度		
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者
人文	英語	0	0	0	1	1	0
法	法律	0	0	0	1	1	1
商	商	0	0	0	1	1	1
	経営	1	1	1	0	0	0
合計		1	1	1	3	3	2

学部留学生選抜

学部・学科		令和7年度			令和6年度		
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者
人文	文化	1	1	1	2	2	1
	歴史	1	1	0	0	0	0
	日本語日本文	0	0	0	1	1	1
	教育・臨床心理	3	2	0	0	0	0
	英語	2	1	0	1	0	0
	東アジア地域言語	1	1	1	0	0	0
法	法律	0	0	0	2	2	1
	経営法	0	0	0	1	1	1
経済	経済	3	3	3	1	1	0
	産業経済	0	0	0	1	0	0
商	商	3	3	2	1	1	0
	経営	8	6	4	5	5	5
	貿易	2	2	1	2	0	0
理	応用数	1	1	1	0	0	0
	物理科	0	0	0	1	1	1
	化	0	0	0	1	1	1
	地球圏科	1	0	0	0	0	0
工	機械工	4	2	1	0	0	0
	電気工	1	0	0	0	0	0
	電子情報工	6	4	2	7	6	3
	化学システム工	0	0	0	3	1	1
	建築	1	0	0	1	1	1
医	医	1	1	0	3	2	0
スポーツ科	健康運動科	1	0	0	0	0	0
合計		40	28	16	33	25	16

編・転・学士選抜

■編・転選抜

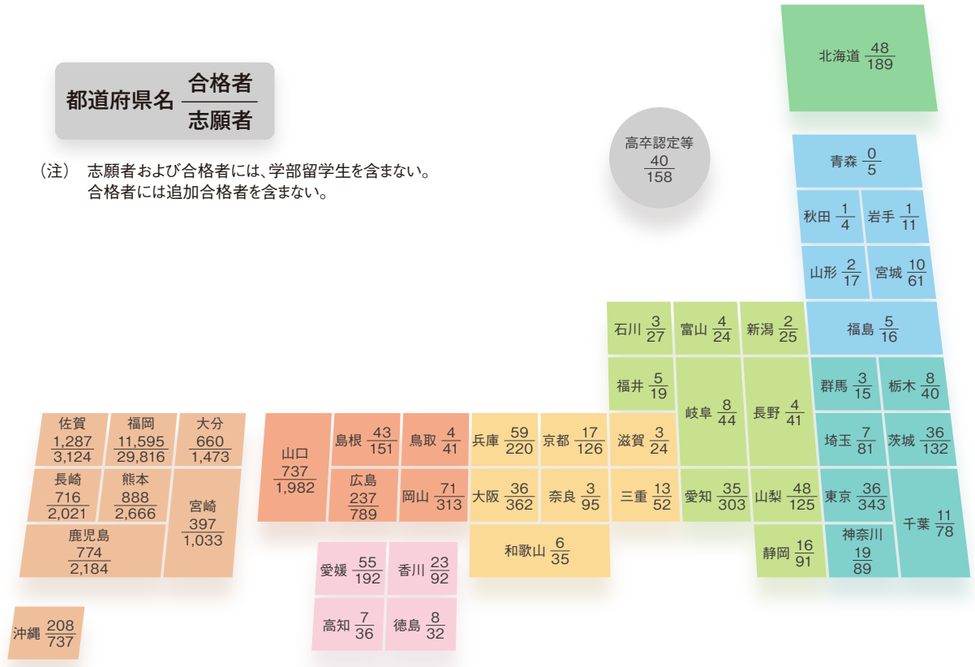
学部・学科等		令和7年度			令和6年度		
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者
人文	文化	0	0	0	1	1	1
	日本語日本文	1	0	0	0	0	0
	教育・臨床心理	2	1	0	0	0	0
	英語	1	1	0	1	1	0
	東アジア地域言語	3	3	2	1	1	1
法	法律	1	1	0	3	2	1
	経営法	1	1	0	1	1	1
経済	経済	4	4	2	0	0	0
	産業経済	8	8	2	4	4	2
商	商	1	1	0	1	1	0
	経営	1	1	0	0	0	0
	貿易	0	0	0	0	0	0
商二	商	4	4	1	1	1	1
理	社会数理・情報INST	0	0	0	1	1	1
	地球圏科	0	0	0	2	2	2
工	電子情報工	0	0	0	2	2	0
	建築	1	1	1	0	0	0
スポーツ科	スポーツ科	0	0	0	1	1	0
合計		28	26	8	19	18	10

■学士選抜

学部・学科		令和7年度			令和6年度		
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者
経済	産業経済	1	1	1	0	0	0
商	経営	1	0	0	1	1	1
理	地球圏科	1	1	1	0	0	0
スポーツ科	健康運動科	1	1	1	0	0	0
合計		4	3	3	1	1	1

都道府県別志願者・合格者状況／在学生の状況

令和7年度　都道府県別志願者・合格者状況



在学生の状況

■学部・学科別在学生数

（令和7年5月1日現在）

学部	学科	男子	女子	計
人文	文化	135	311	446
	歴史	193	117	310
	日本語日本文	78	226	304
	教育・臨床心理	128	338	466
	英語	139	254	393
	ドイツ語	95	120	215
	フランス語	69	151	220
	東アジア地域言語	27	260	287
法	法律	1,118	737	1,855
	経営法	515	343	858
経済	経済	1,434	553	1,987
	産業経済	671	228	899
商	商	581	545	1,126
	経営	646	415	1,061
	貿易	435	335	770
商二		472	197	669

学部	学科	男子	女子	計
理	応用数	204	66	270
	物理科	199	38	237
	化	151	115	266
	地球圏科	161	108	269
工	機械工	437	16	453
	電気工	431	7	438
	電子情報工	612	64	676
	化学システム工	306	124	430
	社会デザイン工	388	77	465
	建築	331	155	486
医	医	406	282	688
	看護	13	423	436
薬	薬	401	1,025	1,426
スポーツ科	スポーツ科	641	282	923
	健康運動科	165	143	308
合計		11,582	8,055	19,637

一般選抜「受験プラン」ワークシート

【合格発表：2/21】

ワークシートを作成し、一般選抜の受験プランを考えよう

記入例

一般選抜 系統別日程 P.90〜

試験日	系統	学科	科目・配点			入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
2/2	社会科学	経済	150点	100点	150点	32,000円	3.4倍	・出願期間：12/20〜1/13 ・同一系統の学科であれば併願可 ・特定科目の配点が高い ・2併願以降割引（10,000円）
			英語	国語	（日本史）			
		商	150点	100点	150点	10,000円	3.5倍	

同一系統の学科なので、併願可能

併願割

一般選抜 前期日程 P.96〜 試験日はP.98

試験日	学科	科目・配点			入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
2/6	経済	英語 100点	国語 100点	（日本史）100点	32,000円	3.1倍	・出願期間：12/20〜1/13 ・1日1学科出願可能 ・同一学科併願割引（7,000円）
2/3	商	英語 100点	国語 100点	（日本史）100点	32,000円	4.1倍	
2/11	商	英語 100点	国語 100点	（日本史）100点	7,000円		

応援割

同一学科併願をしている商学科の前期日程・共通テスト併用型における前期日程の2科目（英語・国語）については、試験日を問わず高得点が採用される

前期日程・共通テスト併用型 P.100〜

学科		科目・配点		入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
経済	前期日程（2科目）	英語 100点〔2/6〕	国語 100点〔2/6〕	10,000円	3.2倍	・出願期間：12/20〜1/13 ・前期日程に出願した学科に限り共通テスト併用型に出願可能
	共通テスト	英語・国語・地歴公民・数学・理科・情報から高得点2科目 各100点				
商	前期日程（2科目）	英語 100点〔2/3 or 2/11〕	国語 100点〔2/3 or 2/11〕	10,000円	3.9倍	
	共通テスト	英語・国語・地歴公民・数学・理科・情報から高得点2科目 各100点				

同一学科併願の場合、総点の高い方で合否判定

共通テストで2教科2科目以上受験した場合は、高得点科目が採用される

共通テスト利用型（Ⅰ期） P.108〜

試験日	学科	科目・配点	入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
1/17・18	経済	英語200点・数学（数Ⅰ, A）200点 ＋数学（数Ⅱ, B, C）・国語・地歴公民・理科・情報から高得点2科目 各100点	15,000円	2.3倍	・出願期間：12/20〜1/13 （共通テスト実施前に出願締切） ・2併願以降割引（10,000円）
	商	英語100点・国語100点 ＋地歴公民・数学・理科・情報から高得点2科目 各100点	10,000円	2.1倍	

併願割

共通テスト利用型（Ⅱ期） P.114〜

試験日	学科	科目・配点	入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
1/17・18	経済	英語200点・国語200点 ＋地歴公民・数学・理科から高得点1科目 200点	15,000円	2.1倍	・出願期間：12/20〜1/20 （共通テスト実施後に出願締切） ・2併願以降割引（10,000円）
	商	英語200点・国語200点 ＋地歴公民・数学・理科から高得点1科目 200点	10,000円	2.0倍	

併願割

一般選抜「受験プラン」ワークシート

【合格発表：2/21】

ワークシートを作成し、一般選抜の受験プランを考えよう

第二志望学科まで記入可能

一般選抜 系統別日程 P.90〜

試験日	系統	学科	科目・配点			入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
2/2								・出願期間：12/20〜1/13 ・同一系統の学科であれば併願可 ・特定科目の配点が高い ・2併願以降割引（10,000円）

一般選抜 前期日程 P.96〜 試験日はP.98

試験日	学科	科目・配点			入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
							・出願期間：12/20〜1/13 ・1日1学科出願可能 ・同一学科併願割引（7,000円）

前期日程・共通テスト併用型 P.100〜

学科		科目・配点		入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
	前期日程（2科目）					・出願期間：12/20〜1/13 ・前期日程に出願した学科に限り共通テスト併用型に出願可能
	共通テスト					
	前期日程（2科目）					
	共通テスト					

共通テスト利用型（Ⅰ期） P.108〜

試験日	学科	科目・配点	入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
1/17・18					・出願期間：12/20〜1/13 （共通テスト実施前に出願締切） ・2併願以降割引（10,000円）

共通テスト利用型（Ⅱ期） P.114〜

試験日	学科	科目・配点	入学検定料	前年度競争率	出願上の注意 / 特徴
1/17・18					・出願期間：12/20〜1/20 （共通テスト実施後に出願締切） ・2併願以降割引（10,000円）

資料請求・入試要項

大学パンフレットについて

以下の資料は無料で閲覧、資料請求ができます。

大学案内

学部の特色・学生生活・就職情報などを掲載した福岡大学の総合案内です。

学部ガイド

各学科の特長や在学生、卒業生の声および所属教員の専門分野などを紹介しています。

資料請求方法

資料送付を希望する方は福岡大学受験生サイトから「資料請求」にアクセスし、必要事項を入力してください。
また、「資料請求」へのアクセスは以下のQRコードからも可能です。

■資料請求サイト
https://request.admission-logi.jp/form/doc/9015/1/6932/

資料請求

個人情報の保護について

資料請求にあたってお知らせいただいた住所、氏名、その他の個人情報は、資料の発送、進学説明会の案内など大学からの情報発信のために利用します。これらの業務は、その一部を福岡大学入学センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、個人情報の全部または一部を提供することがあります。予めご了承ください。

過去問題について

過去の入学試験問題は、福岡大学受験生サイトで閲覧できます。

過去問題

入試要項について

福岡大学受験生サイトにアクセスし、入試要項をダウンロードしてください。
入試要項には出願・受験の際に必要な情報のほか、合格発表や入学手続に関する情報を掲載しています。
※入試要項の販売・配布は行いません。
※イメージ画像は、実際の画面と異なる場合があります。

■受験生サイト
https://nyushi.fukuoka-u.ac.jp/

入試制度	掲載時期
総合型選抜 アスリート特別選抜	8月上旬
学校推薦型選抜（A方式・地域枠）	9月中旬
帰国生徒選抜 社会人選抜 編・転・学士選抜	9月下旬
一般選抜 〔系統別、前期、前期日程・共通テスト併用型、共通テスト利用型（Ⅰ期・Ⅱ期）〕	11月上旬
一般選抜〔後期・共通テスト利用型（Ⅲ期）〕 スポーツ科学部特別募集	11月下旬

●受験生サイト

受験生サイト

入試情報、進学説明会・オープンキャンパスなどのイベント情報を発信します。

LINE　X

スマホやパソコンで「プッシュ通知」を設定いただくと本学の入試に関連する情報をいち早く取得することができます。

福岡大學
FUKUOKA UNIVERSITY

福岡大学 入学センター 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL 092-871-6631 FAX 092-861-9865 E-mail nyushi@adm.fukuoka-u.ac.jp
受付時間［平日］8:50～16:50 ※大学休業日を除く ※至急回答が必要な場合は、電話でお問い合わせください。